

令和 3 年 度  
事 業 報 告 書

社会福祉法人 恵泉会

## 目 次

① 恵泉会法人本部	1	～	8	ページ
② 障害者支援施設若草園	9	～	13	ページ
③ 障害者支援施設若生園	14	～	19	ページ
④ 生活介護事業所パルめぐみ	20	～	24	ページ
⑤ 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所	25	～	31	ページ
⑥ 恵泉会地域生活支援センター	32	～	36	ページ
⑦ 多機能型事業所若葉園	37	～	41	ページ
⑧ 就労継続支援B型さくらワークス	42	～	44	ページ
⑨ 多機能サポートセンターこじか	45	～	52	ページ
⑩ 南方保育所	53	～	55	ページ
⑪ 事業所内保育所キッズつぼみ	56	～	58	ページ
⑫ 特別養護老人ホーム光風園	59	～	63	ページ
⑬ 特別養護老人ホーム松風園	64	～	70	ページ
⑭ 豊里デイサービスセンター百楽荘	71	～	75	ページ
⑮ 特別養護老人ホーム萩風園	76	～	79	ページ
⑯ 中田デイサービスセンター菊風荘	80	～	83	ページ
⑰ 特別養護老人ホーム迫風園	84	～	89	ページ
⑱ 迫デイサービスセンター翠風荘	90	～	94	ページ
⑲ 特別養護老人ホーム南風園	95	～	100	ページ
⑳ 南方デイサービスセンター南寿荘	101	～	105	ページ
㉑ 地域密着型特別養護老人ホーム東和	106	～	110	ページ
㉒ 東和高齢者福祉施設デイサービス	111	～	114	ページ
㉓ 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	115	～	117	ページ
㉔ 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷	118	～	122	ページ
㉕ 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷	123	～	127	ページ
㉖ 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘	128	～	131	ページ
㉗ 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか	132	～	135	ページ
㉘ 恵泉会ヘルパーステーション	136	～	138	ページ
㉙ 恵泉会介護支援センターいきいき	139	～	142	ページ
㉚ 恵泉会介護支援センターらくらく	143	～	146	ページ
㉛ 恵泉会東和介護支援センター	147	～	150	ページ
㉜ 恵泉会とよま介護支援センター	151	～	154	ページ
㉝ 登米市迫地域包括支援センター	155	～	157	ページ
㉞ 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと	158	～	160	ページ
【事故報告関係】				
㉟ ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告	161			ページ

# 令和3年度 恵泉会法人本部 事業報告

## 【 概 要 】

### 1. 基本理念の実現に向けた取り組み

社会福祉諸制度をめぐる大きな変革の中、当法人の役職員が、社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、法人の基本理念を指標にして利用者・地域社会に施設・事業所の姿勢を表明することに努めました。

### 2. 利用者のサービス向上に向けた取り組み

福祉サービスの提供にあたっては、利用者の人権と人格を最大限に尊重し、「利用者に選ばれるサービスとは何か」「望まれるサービスの質とは何か」「利用者本位のサービスとは何か」を常に念頭に置き、利用者のサービス向上に向けた各種の取り組みを行いました。

- (1) 各施設・事業所において、サービス自己評価及び恵泉会第三者委員による評価を実施し、抽出された要改善事項について十分検討し、改善に努めました。
- (2) 各施設・事業所の苦情解決責任者及び恵泉会第三者委員出席のもと、苦情処理・サービス向上委員会を開催し、令和2年度に発生した苦情・介護事故等の分析・検討を行い、提供するサービスの質の向上を図りました。
- (3) 情報開示、広報活動の取り組みとして、恵泉会会報誌（1回）を発行しました。また、法人の公益性と経営の透明性を高めるため、情報公開の手段としてワムネット（財務諸表等電子開示システム）とホームページを活用し、恵泉会基本理念や財務諸表、事業報告書、監事監査報告書等を公表しました。
- (4) サービスの質の向上のために、職員の意識改革に取り組む研修や会議等を行いました。
- (5) 光風園、迫風園、南風園、ほたるの郷において、新たなナースコールシステムを導入し、ベッドセンサーやマットセンサーとの連動、タブレットを用いた夜間見守り強化など、利用者サービスの向上につなげました。

### 3. 経営管理における取り組み

経営管理においては、各種事業でのプラスの収支差額を目標とし、経常活動による事業で獲得した収支差額の範囲内で、施設整備等による計画を樹立することに努めました。

- (1) 令和3年度に計画された施設整備、設備整備、高額物品の取得等については、複数者による見積合わせを実施し、執行額の削減に努めました。
- (2) 日常要する経費については、漫然と延長的に捉えるのではなく、無駄を排除し、共同購入を推進するなど、効率性を追求しました。
- (3) LPガス、灯油、重油、ガソリン等の燃料価格の高騰に伴い、宮城県の「原油価格高騰対策事業補助金」を申請し、補助金を財源として経費の負担軽減を図りました。
- (4) インターネット回線を用いたIP電話を複数の施設・事業所で導入し、各拠点間の通話を内線化することで、電話料の削減を図りました。

### 4. 職員の経営参加に対する取り組み

職員の経営参加を積極的に推進し、各種計画の立案に際して広く職員から提案を求め、集約することに努めました。また、法人内各事業間の連携を意識して広い見地から計画を練るため、統括施設長・施設長・管理者が参加する経営者会議を延べ7回開催しました。

### 5. 職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

資格種類や役職、経験年数に応じた基礎的・専門的知識と素養を身に付けた人材を養成するため、職員研修計画に基づく各種研修や職種毎の専門部会等を、ウェブ会議システムを活用しながら実施しました。

## 6. 地域貢献事業の取り組み

法人が持つ人的資源や物的資源、これまで培ってきた知識や技術などを活用し、多様化・複雑化する福祉ニーズを充足させる地域貢献事業に積極的に取り組みました。

- 1) 講師等派遣事業の実施
- 2) 社会福祉法人による利用者負担軽減対策事業の実施

※オレンジカフェ（認知症カフェ）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しませんでした。

## 7. 恵泉会介護職員初任者研修の実施

働きながら介護の基礎を学び、仕事の原理・原則、基本を身につけ、研修終了後も資格取得や専門性の更なる向上に自ら取り組める土台形成を目的として、恵泉会介護職員初任者研修を開講し、令和3年度は6名が研修を修了しました。

## 8. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に感染すると重症化リスクが高いといわれている高齢者や基礎疾患を有する者が多く利用する社会福祉施設等においては、感染者が発生すると重大な事態となるおそれがあります。

このため、恵泉会では、職員それぞれが新型コロナウイルス感染症について正しい理解を持ち、国や自治体からの通知・通達に基づき、適切な感染症対策を実施しました。

- (1) 感染の疑いについてより早期に把握できるよう、施設長・管理者が中心となり、利用者及び職員について毎日の検温を実施するなど、健康状態の把握に努めました。
- (2) 感染経路の遮断という観点から、業者との物品の受け渡し等は玄関など施設の限られた場所で行いました。また、緊急やむを得ない場合を除き面会を制限する等の対応を行い、各施設において、パソコンやタブレットを用いたオンライン面会ができる環境を構築しました。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和3年4月から9月末日まで基本報酬0.1%上乗せの対象となっていた施設・事業所について、感染防止対策を継続的に行うため、宮城県の「障害福祉サービス施設・事業所等における感染防止対策支援事業補助金」、「介護サービス事業所・施設における感染症対策支援事業補助金」を活用して、感染対策経費の財源としました。

※上記補助金は、0.1%上乗せに代わる措置として令和3年10月から12月分の感染対策に要する経費について、宮城県からの補助金という形でサービス事業所・施設を支援する事業です。

【行事・研修・会議・委員会等】

1. 行事

(1) 会務

年月日	内 容
R3.04.01	辞令交付式
R3.04.30	辞令交付式
R3.05.18	登米総合産業高校進路ガイダンス（登米総合産業高校）主任
R3.05.31	辞令交付式
R3.06.02	令和2年度決算に関する法人監事・監査法人打合せ（ウェブ会議） 恵泉会監事2名・理事長・常務理事・参事・総括主任
R3.07.01	辞令交付式
R3.07.30	辞令交付式
R3.08.21	恵泉会介護職員初任者研修開講式（迫風園）受講者6名
R3.08.30	辞令交付式
R3.08.30	令和3年度定年退職者再雇用説明会（対象7名）
R3.11.26	合同企業説明会（迫公民館）主任
R3.11.30	萩風園普通浴室改修工事完成検査（萩風園）常務理事・総括主任
R3.12.01	辞令交付式
R3.12.18	恵泉会介護職員初任者研修閉講式（迫風園）修了者6名
R3.12.28	仕事納め 辞令交付式
R4.01.04	仕事始め
R4.01.31	辞令交付式
R4.02.28	処遇改善支援補助金に関する社会保険労務士・監査法人との打合せ（ウェブ会議） 理事長・常務理事・参事・総括主任・主任
R4.03.07	令和4年4月1日付け採用内定者入職説明会（対象者11名）
R4.03.16	福島県沖を震源とする震度6強の地震発生（23時36分） 恵泉会災害対策本部設置
R4.03.23	登米市障害者相談支援事業委託業務見積合わせ（登米市南方庁舎）事務員 登米市迫地域包括支援センター運営事業委託業務見積合わせ（登米市南方庁舎）総括主任 登米市委託事業（支援ハウス・生きがいデイサービス）見積合わせ（登米市南方庁舎）総括主任
R4.03.31	辞令交付式

※恵泉会福祉旗登米市招待少年野球大会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 採用・登用関係

年月日	内 容
R3.04.05	職員採用試験（随時試験-事務員）〈書類審査〉受験者6名
R3.04.23	職員採用試験（随時試験-介護職員）〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R3.05.07	職員採用試験（随時試験-事務員）〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R3.05.24	職員採用試験（随時試験-作業療法士・事務員）〈筆記試験・人物審査〉受験者3名
R3.05.28	職員採用試験（随時試験-事務員）〈書類審査〉受験者7名
R3.06.10	職員採用試験（随時試験-事務員）〈書類審査〉受験者1名
R3.06.15	職員採用試験（随時試験-事務員）〈書類審査〉受験者3名
R3.06.18	職員採用試験（随時試験-事務員）〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R3.07.01	職員採用試験（随時試験-事務員）〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
R3.08.30	令和4年4月1日付け職員採用一次試験（看護職員・保育士・介護職員・事務員）〈書類審査〉受験者7名
R3.09.10	令和4年4月1日付け職員採用二次試験（看護職員・保育士・介護職員・事務員）〈筆記試験・人物審査〉受験者7名
R3.09.17	令和4年4月1日付け職員採用試験（高校新卒の部-介護職員）〈筆記試験・人物審査〉受験者6名
R3.12.24	職員採用試験（随時試験-看護職員・介護職員・事務員）〈筆記試験・人物審査〉受験者3名
R4.01.14	正職員登用一次試験〈書類選考〉受験者6名
R4.02.18	令和4年4月1日付け職員採用一次試験（介護職員・事務員）〈書類審査〉受験者3名
R4.02.25	正職員登用二次試験〈筆記試験・人物審査〉受験者4名 令和4年4月1日付け職員採用二次試験（介護職員・事務員）〈書類審査〉受験者1名
R4.03.14	令和4年4月1日付け職員採用試験（看護職員）〈筆記試験・人物審査〉受験者1名

2. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R3.04.07	WJUSポット研修 (2021介護報酬改定研修)	ウェルフェア・J・コイト 専務取締役 鈴木真一氏	対象職員10名
R3.04.19	人事考課者研修	理事長 常務理事 参事	対象職員12名
R3.08.05	新任職員研修	理事長 常務理事 統括施設長 施設長	対象職員21名
R3.10.04	第42回恵泉会職員研修大会 ○永年勤続者表彰 表彰対象者6名（在宅サービス支援棟を会場として実施） ○職員発表はインターネット環境を活用し、録画映像を各拠点に配信	新型コロナウイルス感染症対策のため、講演の部は中止	—
R3.10.6～ R3.10.8	人事考課規程改正研修	CSアビリティ 代表取締役 鈴木真一氏  経営企画会議 バー	対象職員100名
R4.02.18	職員フォローアップ研修 (ウェブ研修)	理事長 統括施設長	対象職員20名
随時	ケアマネジャー試験対策講習会 全12回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ40名
随時	介護福祉士試験対策講習会 全16回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ61名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3.05.18	安全運転管理者講習会	宮城県公安委員会	石巻市	参事
R3.06.03	安全運転管理者講習会	宮城県公安委員会	石巻市	参事
R3.06.15	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	仙台市	常務理事
R3.07.08	宮城県社会福祉法人経営者協議会 定期総会	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	仙台市	常務理事
R3.10.12	北海道・東北ブロックセミナーin 宮城	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	ウェブ会議	常務理事
R3.12.22	福祉サービスの苦情解決に関する 研修会（第三者委員対象）	宮城県社会福祉 協議会	ウェブ会議	第三者委員
R4.01.19	給食業務人手不足解消セミナー	ホシザキ東北	ウェブ会議	常務理事 総括主任
R4.1.26～ R4.1.27	監事専門講座	全国社会福祉法人 経営者協議会	ウェブ会議	法人監事
R4.02.16	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	ウェブ会議	常務理事
R4.03.10	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法人 経営者協議会	仙台市	常務理事

### 3. 会議開催状況

#### (1) 定例会議

会議名	内容	開催数	参加者
経営者会議	施設・事業所経営に関する検討、その他	7回	理事長・常務理事 参事・統括施設長 施設長・法人本部

#### (2) 理事会

開催日	内容
R3.06.10	<p>第1回 (出席者：理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項            令和2年度 恵泉会事業報告及び収支決算の承認について審議            監査報告            定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議            新たな期間の理事、監事候補者の選定について審議            評議員選任・解任委員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議            新たな期間の評議員候補者の選定について審議            基本財産の処分について審議            令和3年度 恵泉会収支補正予算(第1号)について審議</p> <p>報告事項            理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について            社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)            寄付金の報告について</p>
R3.06.28	<p>第2回 (出席者：理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項            理事長の互選について審議            常務理事の互選について審議</p>
R3.07.12	<p>第3回 (出席者：理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項            令和3年度 恵泉会収支補正予算(第2号)について審議            業績手当の支給について審議            評議員選任・解任委員について審議</p> <p>報告事項            社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)</p>
R3.09.22	<p>第4回 (出席者：理事6名/6名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項            令和3年度 恵泉会収支補正予算(第3号)について審議            社会福祉法人恵泉会地震防災対策要綱の一部改正について審議            社会福祉法人恵泉会経理規程の一部改正について審議            社会福祉法人恵泉会臨時職員就業規則の一部改正について審議            第三者委員の選任について審議</p> <p>報告事項            理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について</p>
R3.12.14	<p>第5回 (出席者：理事6名/5名 監事2名/2名)</p> <p>決議事項            社会福祉法人恵泉会人事考課規程の一部改正について審議            令和3年度 恵泉会収支補正予算(第4号)について審議            業績手当の支給について審議</p> <p>報告事項            中間監査の報告について            理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について            寄付金の報告について            社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)</p>

開催日	内 容
R4. 02. 04	第6回 (出席者：理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 恵泉会定款の一部変更について審議 評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R4. 03. 09	第7回 (出席者：理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和4年度 恵泉会各種事業計画及び収支予算について審議 恵泉会各施設・事業所給食業務委託の更新(随意契約)について審議
R4. 03. 17	第8回 (出席者：理事6名/5名 監事2名/2名) 決議事項 社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会再雇用職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会臨時職員就業規則の一部改正について審議 令和3年度 恵泉会収支補正予算(第5号)について審議 施設長の任免及び配置換えについて審議
R4. 03. 28	第9回 (出席者：理事6名/6名 監事2名/2名) 決議事項 令和3年度 恵泉会収支補正予算(第6号)について審議 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会経理規程の一部改正について審議 役員賠償責任保険契約について審議

(3) 評議員会

開催日	内 容
R3. 06. 25	定時評議員会 (出席者：評議員8名/8名 理事6名/6名 監事2名/2名) 報告事項 令和2年度恵泉会事業報告について 令和2年度恵泉会会計決算(計算書類及び財産目録)について 令和2年度宮城県指導監査の指摘事項及び改善状況について 決議事項 理事の選任について審議 監事の選任について審議 基本財産の処分について審議
R4. 02. 17	第2回評議員会 (出席者：評議員8名/8名 理事6名/6名 監事1名/2名) 決議事項 社会福祉法人恵泉会定款の一部変更について審議

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日	内 容
R3. 06. 23	(出席者：委員3名/3名) 評議員の選任について審議



## (5) 監査会

実施日	実施施設・事業所	監査員等
【令和2年度決算監査】		
R3.05.10	南風園・南寿荘	恵泉会監事
R3.05.11	恵泉会地域生活支援センター パルめぐみ 南方保育所	〃
R3.05.13	光風園・ゆりの郷	〃
R3.05.14	迫風園・翠風荘	〃
R3.05.17	松風園・百楽荘	〃
R3.05.18	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
R3.05.19	ほたるの郷 こじか	〃
R3.05.21	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション	〃
R3.05.24	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 遠山荘 恵はあと キッズつぼみ	〃
R3.05.25	若草園・若生園・さくらワークス・若葉園	〃
R3.05.26	法人本部・取りまとめ	〃

実施日	実施施設・事業所	監査員等
【令和3年度中間監査】		
R3.11.16～ R3.11.17	全施設・事業所	恵泉会監事

※令和3年度中間監査は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、在宅サービス支援棟研修室にて書面監査を実施

## (6) 会計監査人監査

開催日	内容	実施拠点区分	会計監査人
R3.09.01	あすの監査法人による監査（ウェブ会議） 令和3年度監査計画打合せ 令和3年度会計監査人監査（第1回）	法人本部	あすの監査法人 公認会計士
R3.12.09	あすの監査法人による監査 令和3年度会計監査人監査（第2回）	〃	〃
R3.12.10			

## (7) 内部監査

開催日	内容	実施拠点区分	内部監査人
無			

## (8) 入札会

開催日	件名	立会人（役職名等）
無		

## (9) 各種工事等打合せ

開催日	内 容	場 所	出 席 者
<b>【萩風園普通浴室改修工事】</b>			
R3.09.28	工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 総括主任

## (10) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
随時	障害事業施設長等会議 (全10回)	在宅サービス支援棟	常務理事 他、障害 サービス事業施設長
随時	経営企画会議 (全9回)	在宅サービス支援棟	常務理事、グループ ホーム施設長、光風園 施設長、松風園施設 長、東和高齢者福祉施 設施設長、他職員3名

## 4. 委員会開催状況

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R3.06.04	第1回地震防災対策委員会	ウェブ会議	理事長・常務理事 参事 委員18名・法人本部2名
R3.06.04	第1回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部4名
R3.06.07	第1回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事 グループホーム施設長
R3.06.16	国家資格取得対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事 参事 若草園統括施設長・松風園施設長 南風園施設長・ほたるの郷施設長
R3.08.11	第1回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 グループホーム施設長 委員11名・法人本部3名
R3.09.07	第2回恵泉会職員研修大会実行委員会	ウェブ会議	グループホーム施設長 委員5名・法人本部3名
R3.10.11	苦情処理・サービス向上委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 第三者委員3名 法人本部2名 委員18名(ウェブ出席)
R4.01.26	第2回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事・若草園統括施設長 グループホーム施設長

## 5. 各種サービス評価実施状況

実施日	実 施 施 設	評 価 員 等
<b>【令和3年度施設サービス評価】</b>		
R3.11.15	東和・東和デイサービス	恵泉会第三者委員
R3.11.19	松風園・百楽荘	〃
R3.11.24	迫風園・翠風荘	〃
R3.11.25	光風園・ゆりの郷	〃
R3.11.30	萩風園・菊風荘	〃
R3.12.02	恵泉会グループホーム・遠山荘	〃
R3.12.03	ほたるの郷・ほんわか	〃
R3.12.06	南風園・南寿荘	〃
R3.12.07	南方保育所・キッズつぼみ	〃
R3.12.13	さくらワークス・若草園	〃
R3.12.14	若生園・若葉園	〃
R3.12.17	こじか・パルめぐみ・取りまとめ	〃

# 令和3年度 障害者支援施設若草園 事業報告

## 【施設概要】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米川字町裏120番地1
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開設年月日 平成23年 4月 1日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
生活介護・施設入所	60名
短期入所	4名
計	64名

## 【基本方針】

恵泉会の基本理念並びに、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所」と「生活介護」の事業を一体的に行う障害者支援施設として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権の尊重を基本とし、その人がその人らしく充実した生活を安心・安全に営むことができるよう支援しました。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携・協働し、法令遵守のもと、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、健全な運営に努めるようにしました。また、地域で生活している障害（児）者や家族の福祉ニーズの把握に努め、多様な福祉サービスの機会に応えるべく、施設機能と専門性を活かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たしました。

## 【重点項目】

- ・高齢等による身体機能低下や病状の進行などにより、日常生活動作のリスクが高くなるとともに、医療的な支援を必要とされる方が多くなりました。また、情緒面が落ち着かない方も多く、それに応じて入院される方も多くなりました。疾病を抱えた利用者やそのご家族のニーズを確認し、そのニーズにできる限り対応し、併せて医療機関との連携をこれまで以上に深めながら支援を行い、生活の質を維持出来るようにしました。
- ・利用者の高齢化が進む一方、障害の影響により若年齢から心身の機能低下や様々な生活習慣病、認知症のリスクも考えられる為、常に身体・行動変化の確認・記録を行い、専門職員・医療機関との連携の他、ご家族への報告も密にしました。また、個々の身体状況の変化に対し、適した方法で支援できるよう、その都度話し合いを持ち、支援方法を変更し対応しました。
- ・衛生面の向上を目指し、毎日の入浴を実施しました。利用者によっては毎日の入浴を希望しない方もいましたので、その場合には本人の希望を尊重しました。入浴によって、清潔保持の他、肌の疾患や外傷などを早期発見することが出来ました。
- ・新型コロナウイルスの感染防止のため、利用者が楽しみにされている外泊・面会・外出の機会が減少してしまいました。利用者のストレス軽減の為、人混みを避けてのドライブや出前昼食など気分転換になることを企画し参加して頂きました。
- ・地域で生活されている障害（児）者の方々が、生活サイクルの安定及び情緒面の安定を図るため短期入所・日中一時支援をご利用できるように努めました。これまで同様、介護負担軽減を目的に利用されるご家族もおり、地域生活を営む上でのセーフティーネットとしての役割を果たすよう努力しました。
- ・コロナ禍で、地域の行事や学校行事の縮小に伴い、参加する機会がありませんでした。
- ・新型コロナウイルス感染症に対する予防対応（ワクチン接種等）や感染対策（消毒や換気、抗原検査等）を徹底、安心して生活できる環境を整えました。また、感染症に関するBCP（業務継続計画）を作成しました。
- ・利用者に安心・安全なサービスを提供するため、職員間で権利擁護委員会や会議等で障害者虐待防止法の周知や障害者虐待防止策を検討し、「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、虐待防止に関する基本的支援姿勢の確認と接遇の確認をくり返し行い周知徹底を図りました。運営規程を変更し、人権の擁護及び虐待の防止の為の措置として責任者の選定や検討委員会の設置、研修の実施等を盛り込みました。合わせて関連するマニュアルの見直しを行いました。
- ・地震や土砂、風水害等の自然災害を想定したBCP（業務継続計画）を作成、危機管理意識を高め、実際に発生した場合に、どのように対応すべきかを検討しました。今後は、見直しを図りながら、より具体的で実践に即した計画にし、訓練にも活かしたいと思えます。
- ・恵泉会障害（児）者支援ワーキンググループ会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図りました。また、オンラインによる共同行事（プチフェスティバル）を計画し実施しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 21,261 名 (施設入所支援) 15,135 名 (生活介護)
2. 年間稼働率 97.08 % (施設入所支援) 93.77 % (生活介護)  
(目標稼働率 98.00 % 96.00 %)
3. 年間平均障害程度区分 区分 4.62 (施設入所支援) 区分 4.64 (生活介護)
4. 月別利用状況

施設入所支援事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	210	217	210	186	186	150	155	150	155	155	140	155	2,069
区分4	660	682	614	643	653	714	775	750	771	769	700	775	8,506
区分5	485	496	480	527	527	510	527	510	527	527	476	527	6,119
区分6	342	361	361	403	403	374	376	390	403	403	361	390	4,567
計	1,697	1,756	1,665	1,759	1,769	1,748	1,833	1,800	1,856	1,854	1,677	1,847	21,261

生活介護事業 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	154	161	161	148	138	110	115	110	115	115	100	115	1,542
区分4	447	462	414	442	454	483	515	492	515	514	445	515	5,698
区分5	355	368	352	391	391	374	391	374	391	391	340	391	4,509
区分6	251	271	264	302	299	275	282	290	299	299	260	294	3,386
計	1,207	1,262	1,191	1,283	1,282	1,242	1,303	1,266	1,320	1,319	1,145	1,315	15,135

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
退所者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月末入所者数	58	58	58	58	59	59	60	60	60	60	60	60	+1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
令和3年4月8日 令和3年4月12日	お花見	満開の桜を見て春の訪れを感じていただき、行事を通して職員、利用者様方の親交を深めていただきました。	利用者 56名 職員 8名
令和3年5月7日	端午の節句	端午の節句について説明を行い歌やこいのぼり釣りゲームをして体を動かし、季節を感じつつ健康への祈念しています。	利用者 55名 職員 10名
令和3年6月18日 令和3年6月25日	レクリエーション大会	ご家族との交流目的ではありましたが新型コロナウイルス感染防止のため、利用者、職員での競技大会となり楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 55名 家族 0名 職員 9名
令和3年8月24日 ～8月26日	夏祭り週間	3日間にわたり、かき氷や水ヨーヨー釣り大会、射的ゲームやダンス大会、最終日は夕食後に花火大会と夏の季節感を味わっていただきました。	利用者 55名 職員 7名
令和3年8月26日	花火会	夏の夜の花火にて季節を感じていただきながら、楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 55名 職員 4名
令和3年9月13日 令和3年9月17日	歌合戦	歌自慢者を募り、自慢ののどを披露していただき、みんなで歌ったり、踊ったりしながら過ごして頂きました。	利用者 58名 職員 6名
令和3年10月15日	ハロウィン	ハロウィンを通じて季節を感じて頂き、皆さんで楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 60名 職員 7名
令和3年10月29日	プチフェスティバル	パルめぐみ/こじか/GH/若草園・若生園・若葉園・さくらワークス/地域生活支援センター合同のオンライン形式での交流会を実施。抽選会も実施。	利用者 58名 職員 17名

令和3年11月17日	焼き芋会	秋の味覚（サツマイモ）を味わいながらカラオケ大会も行い気分転換を図っていただき皆さんで楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 57名 職員 7名
令和3年12月21日	クリスマス忘年会	クリスマス行事と一年間の労を労い、ケーキバイキングやプレゼント交換を行い楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 58名 職員 9名
令和4年1月12日	新年会	新年を健康で迎えられた事に感謝し、会食し楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 57名 職員 9名
令和4年2月3日	節分・年祝い	今年は節分・豆まきを行うことで季節を感じて頂いています。	利用者 57名 職員 9名
令和4年3月3日	ひなまつり	ひなまつりを通じて季節を感じて頂き楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 57名 職員 12名

【短期入所事業サービス、他】

- 年間延べ利用人員 577 名
- 年間稼働率 39.52 %  
(目標稼働率 40.00 %)
- 年間平均障害程度区分 4.06
- 月別利用状況【短期入所事業】(年間延べ利用人員 577 名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
区分3	11	21	47	13	8	6	6	6	6	6	9	9	148
区分4	18	24	27	33	31	36	29	23	25	17	17	16	296
区分5	1	7	3	2	6	2	5	13	2	8	7	10	66
区分6	4	7	3	14	5	0	8	8	7	0	0	6	62
計	34	59	80	62	50	44	48	55	40	31	33	41	577

- その他の障害福祉サービス  
月別利用状況【日中一時支援事業】(年間延べ利用人員 108 名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市	2	2	4	2	0	1	1	2	3	1	1	1	20
南三陸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼市	9	9	8	8	5	7	8	9	7	7	6	5	88
計	11	11	12	10	5	8	9	11	10	8	7	6	108

【利用者サービスの向上】

- 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
令和3年4月19日	新型コロナウイルス感染症について	統括施設長	職員5名
令和3年4月28日	コンプライアンスについて	統括施設長	職員6名
令和3年5月7日	新任職員研修	統括施設長	職員1名
令和3年5月10日	個人防護具の取扱い	准看護師	職員12名
令和3年5月12日	個人防護具の取扱い	准看護師	職員7名
令和3年5月14日	個人防護具の取扱い	准看護師	職員3名
令和3年5月20日	個人防護具の取扱い	准看護師	職員1名
令和3年5月25日	コンプライアンスについて	統括施設長	職員6名
令和3年5月26日	コンプライアンスについて	統括施設長	職員6名
令和3年5月31日	コンプライアンスについて	統括施設長	職員5名
令和3年6月22日	食中毒予防について	管理栄養士	職員4名
令和3年6月24日	食中毒予防について	管理栄養士	職員4名
令和3年8月5日	令和3年度恵泉会新任職員研修	理事長/常務理事他	職員1名
令和3年8月25日	熱中症について	准看護師	職員3名
令和3年8月26日	熱中症について	准看護師	職員1名

令和3年9月16日	権利擁護（不適切ケア）	生活支援員	職員10名
令和3年10月6日	人事考課規程改正研修	法人本部職員	職員1名
令和3年10月7日	人事考課規程改正研修	法人本部職員	職員2名
令和3年10月8日	人事考課規程改正研修	法人本部職員	職員2名
令和3年11月17日	利用者小遣い管理と処理について	生活支援員	職員1名
令和4年1月16日	個別支援計画、個人記録について	生活支援員	職員1名
令和4年2月10日	感染症対応（ノロウイルス他）について	准看護師	職員5名
令和4年2月18日	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長/統括施設長	職員1名

(2) 外部研修

年月日	内容	主催者	開催地	参加者
令和3年9月28日	令和3年度登米市障害福祉従事者等人材育成研修会	登米市	登米市	職員1名
令和3年10月26日	令和3年度登米市障害福祉サービス事業所等研修会	登米市	登米市	職員1名
令和3年11月10日	登米・気仙沼・石巻保健所管内給食従事者等研修会	宮城県	登米市	職員1名
令和3年11月10日	令和3年度リスクマネジメント研修～管理・監督者編～	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
令和3年11月18日	権利擁護・虐待防止セミナー	全国社会福祉協議会	オンライン	職員1名
令和3年12月17日	障害福祉サービス事業所のICT活用による業務改善研修会	宮城県	オンライン	職員1名
令和4年2月15日	サービス管理責任者更新研修	宮城県	オンライン	職員1名
令和4年2月16日	サービス管理責任者更新研修	宮城県	オンライン	職員1名
令和4年3月3日	施設長研修会	県知的障害者福祉協会	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	各種行事・各部署・委員会等申し送り及び検討等	月1回	施設長・管理者・事務員・サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
支援会議	利用者の生活状況及び活動班状況の検討等	月1回	施設長・管理者・サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
給食会議	給食について委託業者と評価・検討及び情報交換等	月1回	管理者・管理栄養士・看護師・生活支援員・利用者様

(2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
ケア会議 (随時開催)	利用者様の日常生活における本人からの要望や課題・改善点等について協議・検討を図る。	スタッフルーム・相談室	管理者・サビ管・生活支援員 看護職員・管理栄養士
障害児者支援 ワーキング部会 (月1回)	8施設の共有事項について検討	若草園	管理者・サービス管理 責任者・各担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故報告を分析し、事故再発防止及び発生時の対応を検証して改善策検討する。また、感染症の予防と改善に取り組む。マニュアルの見直し。	月1回	管理者・サビ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上に資するための過程や結果の分析・検討を行う。自己評価及び第三者評価による改善への取組みと対応。利用者・家族アンケート実施し、サービス向上に係る改善について検討。	月1回	管理者・サビ管・管理 栄養士・生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束「セロ」の取り組みや検討。	月1回	管理者・サビ管・生活 支援員
感染症・褥瘡予防対策委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡発生メカニズムの基本知識習得や発生及び防止に対する体制の整備。	随時	看護師・管理者・サビ管・管理 栄養士・生活支援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る。	随時	管理者・事務員・生活 支援員・管理栄養士
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備改修等	随時	管理者・サビ管・事務員・看 護師・管理栄養士・生活支 援員

(2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
各月	障害児者支援施設ワーキング部会	施設持ち回り	施設長・サービス管理責任者
各月	事務担当者部会	施設持ち回り	事務員
各月	看護師部会	施設持ち回り	准看護師
隔月	給食部会	施設持ち回り	管理栄養士
年2回	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	事務員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
令和3年6月17日	気仙沼支援学校高等部2年～6/30まで	施設実習	2名
令和3年7月28日	本吉響高校	施設見学	2名
	気仙沼支援学校教員	施設見学	2名

(2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
計			0名	0名

【今後の取り組み】

<高齢と障害が重く医療的ケアのニーズが高い利用者支援>

・高齢等による身体機能低下が進み、介護度が高まるとともに、病状の進行などにより、年々医療支援対象者が多くなってきています。疾病を抱えた利用者やそのご家族のニーズを確認し、そのニーズにできる限り即しながら支援し、生活の質を高められるようにします。

・利用者様の平均年齢は59歳であり、65歳以上の方も約3分の1と高齢化が進んでいます。また、障害のため一般の方々より若年齢から心身の機能低下や様々な生活習慣病を原因としたリスクが高く、早い段階からの認知症や老化に伴う体力の低下、疾病になることも考えられます。常に身体・行動変化の確認・記録を行い、家族・専門職員・医療機関との連携を密にします。さらに認知症ケアや個別ケア等の支援には機能訓練や運動を通して、高齢化、機能低下している利用者に対し個に応じた支援を行い、安全で安心した生活を送ることができるようになります。

<地域での連携及び交流>

・地域で生活されている障害(児)者の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所・日中一時支援等)を果たすようにします。

・地域住民や地域の学校及び事業所等との交流活動を通し、地域に根ざした施設運営を目指します。

<安心・安全なサービスの提供>

・新型コロナウイルス感染症に対する、感染対応を行い、安心して生活できる環境を整えます。感染症発生時においてもBCP(事業継続計画)に沿って、利用者様へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。

・職員間で権利擁護委員会や会議等で障害者虐待防止法の周知や虐待防止策を検討し、「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、また、身体拘束に関して再教育にて正しく認識し、虐待防止に関する基本的支援姿勢の確認をくり返し周知徹底を図ります。さらに、接遇の再確認を行うとともに、行動障害に対する専門的な支援力を高め、サービス提供面からも利用者の権利擁護に積極的に取り組みます。

・火災、土砂災害、不審者の侵入等万一に備え、施設整備を進めるとともに、常に点検・整備し、危機管理意識を高めるための研修や教育に努めるとともに、必要に応じて、警察や警備会社等の協力も得つつ、防犯講習や防犯訓練を実施し、利用者の安全確保に努めます。非常災害発生時においてもBCP(事業継続計画)に沿い利用者様へ必要なサービスを継続的に提供できる体制を整備します。

<職員間の連携及び協働>

・恵泉会障害(児)者支援ワーキング会議を通し職員間で連携し、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じ利用者支援に関する共通認識を図ります。

・安心・安全な生活環境を整え、社会資源など活用しながら共同行事を計画し実施出来るよう取り組みます。

# 令和3年度 障害者支援施設若生園 事業報告

## 【施設概要】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米川字西綱木24  
若生園居住棟：宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経営主体 ”
- 4) 開設年月日 平成23年4月1日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
施設入所支援、生活介護	50名
短期入所支援	4名
計	54名

恵泉会の基本理念並びに、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所支援」と「生活介護」の事業を一体的に行う「障がい者支援事業所」として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営めるよう支援します。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深めながら、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めていきます。また、地域で生活している障がい者（児）や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を生かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たします。

## 【重点項目】

- 《利用者満足度の向上》
  - ・全室個室のユニット型となった生活の場(居住棟)において、利用者様が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じ安心して暮らせる空間・その人らしい生活を創り、利用者様に常に寄り添い、利用者様の満足度へ繋がります。
  - ・利用者様の要望を確認する機会(自治会・利用者・家族アンケート等)を定期的実施し、利用者満足度の向上に努めます。
  - ・利用者様の日中活動として、創作活動・レクリエーション・行事・機能訓練等楽しみながら自立支援の向上や残存機能の維持や一人ひとりの感性を引き出し、日々意欲的に取り組めるよう援助します。
- 《利用者の尊重と権利擁護》
  - ・利用者個々の意向を尊重しながら、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書を作成、質の高いサービスを提供し、その人らしい自立した生活を送ることが出来るよう支援します。
  - ・関係機関と連携を図りながら、安心・安全なサービスを利用していただけるよう事故防止に努め、また障がい者虐待防止法を遵守し、利用者様の人権擁護に努めます。
- 《重度・高齢化課題解決》
  - ・重度・高齢化が進んでいる現状をふまえ、利用者様一人ひとりの課題と方向性を確認し、本人の状態にあったサービス提供やサービスの移行(介護保険への移行等)を、ご家族や関係機関(計画相談・医療機関・行政等)と検討し、利用者様にとってよりよい福祉サービスを提供できるよう努めます。
- 《地域との連携と交流》
  - ・地域住民や地域の公共施設(学校・保育所等)との交流や実習・ボランティアの受け入れなどをおし、地域に根ざした施設運営を目指します。
  - ・地域で生活されている障がい児(者)の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たします。
- 《感染症や災害対策の強化》
  - ・利用者様・職員ともに感染予防を徹底することで感染拡大を防止し、利用者様の安心・安全の確保に努め、各種サービスが継続的に提供できるよう努めます。
  - ・自然災害時における利用者様の安全確保のために『防災計画書』『避難確保計画書～土砂災害～』に沿って対策・訓練を実施し、利用者様・職員ともに防災意識を喚起する機会を設定し、利用者様の安全確保に努めます。
- 《職員の資質・専門性の向上》
  - ・OJT・OFF-JTの研修体制を実践し、職員の人材育成とスキルアップを図ります。
  - ・専門職としてのスキルアップを図り、多職種協働のもと、重度高齢化への介護支援体制を整えます。



【 利 用 状 況 】

- |             |          |        |          |        |
|-------------|----------|--------|----------|--------|
| 1. 年間延べ利用人員 | 17,841 名 | (施設入所) | 13,143 名 | (生活介護) |
| 2. 年間稼働率    | 97.76 %  | (施設入所) | 97.72 %  | (生活介護) |
| (目標稼働率)     | 98.00 %  | (施設入所) | 98.00 %  | (生活介護) |
| 3. 年間平均障害程度 | 4.63     |        | 4.64     |        |
| 4. 月別利用状況   |          |        |          |        |

施設入所支援事業

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	210	217	210	217	217	210	217	210	217	195	146	155	2,421
区分4	540	558	540	558	558	540	558	540	528	529	504	558	6,511
区分5	360	372	360	362	341	330	341	343	337	341	308	341	4,136
区分6	390	403	390	403	403	370	372	360	422	434	392	434	4,773
計	1,500	1,550	1,500	1,540	1,519	1,450	1,488	1,453	1,504	1,499	1,350	1,488	17,841

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	154	161	154	161	161	154	161	154	161	143	105	115	1,784
区分4	387	404	387	405	404	387	404	387	380	384	354	406	4,689
区分5	264	276	264	293	276	264	276	264	250	253	220	253	3,153
区分6	286	299	286	299	299	271	276	264	313	322	280	322	3,517
計	1,091	1,140	1,091	1,158	1,140	1,076	1,117	1,069	1,104	1,102	959	1,096	13,143

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退所者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3
月末入所者数	50	50	50	49	49	49	49	50	50	49	48	48	-2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事他

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 4. 15	お花見会	利用者の皆様と一緒に、居住棟ベランダにてカラオケを楽しみながら桜を眺め、お花見気分を味わいながら楽しいひとときを過ごされました。	利用者 50名 職員 12名
R3. 7. 8	七夕交流会	新型コロナの感染対策により小学生との交流会を中止し、居住棟で、利用者のみで短冊を制作し、ゲームを組み合わせ楽しい時間を過ごされました。	利用者 49名 職員 13名
R3. 11. 4	線香花火大会	新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴って延期となり、焼き芋会と一緒にに行っています。歓声も聞かれて、よい気分転換となっています。	利用者 49名 職員 13名
R3. 9. 21	お月見会	居住棟の玄関ホール等にススキや活動時に作ったお供え団子等を飾り月に向かって手を合わせて十五夜の雰囲気を楽しまれました。	利用者 30名 職員 5名
R3. 10. 29	恵泉会プチフェスティバル	新型コロナ感染対策のため、オンラインによる視聴で行いました。モニターに集中して職員の余興や各拠点ごとの発表、抽選会などを楽しんでいます。	利用者 50名 職員 14名
R3. 11. 4	焼き芋会	居住棟駐車場にて行いました。「おいしい」「甘い」と喜ぶ声が聞かれ、おかわりしている利用者もいました。音楽に合わせて歌ったり、踊ったりして盛り上がっています。	利用者 49名 職員 13名

R3. 12. 23	クリスマス忘年会	利用者全員でサンタの帽子をかぶり、赤鼻のトナカイの歌をうたいました。統括施設長の楽器演奏や風船バレーを楽しんでいます。	利用者 49名 職員 12名
R4. 1. 13	新年会	行事食を楽しみ、獅子舞に頭を噛んでもらいました。書き初めを行い、絵馬に願い事を書いています。成人になった利用者を祝い、プレゼントを渡しています。	利用者 48名 職員 14名
R4. 2. 3	節分豆まき	職員が変装した鬼へ新聞紙で作った豆をぶつけて、外へ追い払いました。年男・年女、厄年の利用者は、居住棟正面玄関で鬼と一緒に記念撮影をしています。	利用者 49名 職員 16名
R4. 3. 3	ひなまつり会	うれしいひなまつりの歌をうたったり、甘酒を楽しんでいます。イラスト探しゲームを行ったり、夕食時には菱餅型のゼリーを食べています。	利用者 48名 職員 15名

【短期入所者・日中一時サービス】

- 年間延べ利用人員 413 名
- 年間稼働率 28.29 %  
(目標稼働率 40.00 %)
- 年間平均障害程度 4.46
- 月別利用状況 (短期入所)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	3	15	11	4	4	4	5	4	4	4	6	0	64
区分4	4	4	6	5	4	4	8	4	4	4	10	12	69
区分5	26	31	30	31	31	30	31	17	0	0	0	0	227
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
計	33	50	47	40	39	38	44	25	10	8	16	12	362

- (1) 短期入所 (年間延べ利用人員) 362 名 (稼働率) 24.79 %  
(2) 日中一時支援事業 (年間延べ利用人員) 51 名 (稼働率) 3.49 %

【利用者サービスの向上】

- 職員研修実施状況
  - 内部研修

年月日	内 容	講師 (講演者)	参加者
R3. 4/6. 4/7. 4/9	預り金規程改正に伴う利用者小遣い管理と処理についての研修	サービス管理責任者	職員16名
R3. 4. 26	感染症対策研修	統括施設長	職員10名
R3. 4. 7	防災機器の取り扱い講習会	迫防災	職員5名
R3. 5/11. 5/17.	コンプライアンス研修	統括施設長	職員20名
R3. 5/28. 5/31. 6/2. 6/3	ガウンテクニック・バイタルサインについての研修(新型コロナ感染症対策・脱着訓練)	准看護師	職員19名
R3. 6. 30	食中毒研修	管理栄養士	利用者45名
R3. 6. 30	〃	管理栄養士	職員7名
R3. 9/16. 9/21. 9/22. 9/24	権利擁護研修(身体拘束・虐待防止)	サービス管理責任者	職員21名
R3. 10/17. 10/24	介護基礎研修(排泄介助について)	生活支援員兼サビ管	職員7名
R3. 11. 22. 11/24	感染症・感染対策研修	准看護師	職員16名
R3. 12. 2	リーダー研修	統括施設長	職員7名
R3. 12. 21	リスクマネジメント研修(介護施設のリスク管理)	生活支援員	職員20名
R4. 1. 16 1. 22	車椅子移乗研修	生活支援員兼サビ管	職員6名
R4. 1. 23	車椅子移乗研修	生活支援員兼サビ管	職員2名

<法人内研修>			
R3. 4. 19	人事考課者研修(法人で開催)	法人内職員	職員1名
R3. 10. 6	人事考課規程改正研修会(法人で開催)	C Sアメニティ-鈴木氏と法人内職員	職員1名
R3. 10. 7	人事考課規程改正研修会(法人で開催)	C Sアメニティ-鈴木氏と法人内職員	職員2名
R3. 10. 8	人事考課規程改正研修会(法人で開催)	C Sアメニティ-鈴木氏と法人内職員	職員1名
R3. 10. 22	恵泉会研修大会 オンライン発信	オンライン	全職員
R4. 2. 18	フォローアップ研修会(法人で開催)	法人内職員	職員1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 7/26. 7/28. 7/29	宮城県サービス管理責任者基礎研修	宮城県・県社協	e-ラーニング	職員1名
R3. 8/16. 8/19	〃	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R3. 9. 28	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(基本のき)	登米市他	登米市南方庁舎	職員1名
R3. 9. 29	宮城県社会福祉施設職員研修『業務改善研修』	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R3. 10. 26	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会(虐待防止関係)	登米市他	登米市南方庁舎	職員1名
R3. 11. 22	宮城県発達障害者支援センター運営事業『アセスメント技術を高める研修会』	宮城県発達障害者支援センター『えくぼ』	オンライン研修	職員1名
R3. 11. 26	登米・気仙沼・石巻保健所管内給食従事者研修会	宮城県登米保健所	オンライン研修	職員1名
R3. 11. 29	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	県社協他	オンライン研修	職員1名
R3. 12. 10	地域生活支援スタッフ研修(障がい者への支援を振り返る～補装具の申請と相談ルート)	宮城県リハビリ支援センター	オンライン研修	職員1名
R4. 2. 14	サービス管理責任者等更新研修	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R4. 2. 15	サービス管理責任者等更新研修	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名
R4. 2. 17	サービス管理責任者等更新研修	宮城県・県社協	オンライン研修	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	施設運営全般に関する協議	毎月第3火曜日	全職種
支援会議	サービス全般に関する協議	毎月第2火曜日	全職種
ケア会議	利用者の支援に関する協議	随時	本人・行政・地域生活支援センター・施設職員等
給食会議	利用者の食事に関する協議	毎月第4木曜日	管理者・栄養士・准看護師・生活支援員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
連絡会議	管理職・専門職でよりよい施設運営や福祉サービスの向上に向けて協議します。	若生園	管理職・専門職
恵泉会防災会議	恵泉会防災計画の立案等(年2回)	恵泉会法人本部	防火管理者
入所検討会議	入所待機者の中から入所受け入れについて協議します。	若生園	統括施設長・管理者・副主任・サビ管・栄養士・准看護師・生活支援員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	施設内事故の検証・分析、事故予防・対応策立案等	年6回	管理者、サビ管、栄養士、准看護師、生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上分析・サービス評価の自己評価、集計、報告等	年8回	管理者、サビ管、栄養士、准看護師、生活支援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図ります	年8回	管理者、サビ管、栄養士、准看護師、生活支援員
権利擁護委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束ゼロの取り組み・研修等	年9回	管理者、サビ管、栄養士、准看護師、生活支援員
感染症・褥瘡予防委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡予防対策、研修や訓練企画等	年15回	管理者、サビ管、栄養士、准看護師、生活支援員
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備点検等	年5回	管理者、サビ管、栄養士、准看護師、生活支援員

(2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出席者
R3. 6. 4	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	防火管理者
R3. 7. 20	障害児者支援ワーキング第1回	法人本部	主任
R3. 8. 12	障害児者支援ワーキング第2回	若生園	主任
R3. 8. 11	恵泉会研修大会実行委員会	法人本部	生活支援員
R3. 9. 7	恵泉会研修大会実行委員会	(リモート会議)	生活支援員
R3. 9. 15	障害児者支援ワーキング第3回	若生園	主任
R3. 11. 18	障害児者支援ワーキング第4回	若生園	主任
R3. 12. 21	障害児者支援ワーキング第5回	若生園	主任
R4. 1. 20	障害児者支援ワーキング第6回	法人本部	主任
R4. 3. 3	障害児者支援ワーキング第7回	(リモート会議)	主任

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R3. 4. 27	登米市の方	利用目的による施設見学	2名
R3. 8. 5	気仙沼市の方	〃	4名
R3. 9. 24	登米市の方	〃	4名
R4. 1. 28	登米市の方	〃	2名
R4. 1. 29	塩竈市の方	〃	2名
R4. 2. 1	登米市の方	〃	2名

(2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
	無			
	計			

## 【今後の取り組み】

### 1. 《利用者満足度の向上》

- ・生活の場（居住棟）が、全室個室のユニット型となったことを受け、利用者が安らぎ・くつろぎ・うるおいを感じ安心して暮らせる空間・その人らしい生活空間を創り、利用者様に常に寄り添い、利用者の満足度へ繋がります。
- ・利用者様の要望を確認する機会（自治会・利用者・家族アンケート等）を定期的実施し、利用者満足度の向上に努めます。
- ・利用者様の日中活動として、創作活動・レクリエーション・行事・機能訓練等楽しみながら自立支援の向上や残存機能の維持や一人一人の感性を引き出し、日々意欲的に取り組めるよう援助します。

### 2. 《利用者の尊厳と権利擁護》

- ・利用者個々の意向を尊重し、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書の促進を図り、高品質なサービスを提供し、その人らしい自立した生活を送れるよう支援します。
- ・関係機関と連携を図り安全安心なサービスを利用していただけの事故防止に努め、また障がい者虐待防止法を遵守し、利用者様の人権擁護に努めます。

### 3. 《重度・高齢化課題解決》

- ・重度・高齢化が進んでいる現状をふまえ、利用者様一人ひとりの課題と方向性を確認し、本人の状態にあったサービス提供やサービスの移行（介護保険への移行等）を家族や関係機関（計画相談・医療機関・行政等）と検討し、ご利用者様によりよい福祉サービスとなるよう努めます。
- ・医療機関との連携を図り、内部研修を重ね心身の健康管理及び感染症予防に努めます。

### 4. 《地域との連携と交流》

- ・地域で生活されている障がい児（者）の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割（短期入所、日中一時支援）を果たします。
- ・地域住民や地域の公共施設（学校・保育所等）との交流や実習・ボランティアの受け入れなどをおし、地域に根ざした施設運営を目指します。

### 5. 《感染症や災害対策の強化》

- ・利用者様・職員ともに感染予防を徹底することで感染拡大を防止し、利用者様の安心・安全確保に努め、各種サービスが継続的に提供出来ることを目指します。
- ・自然災害時における利用者の安全確保のために『防災計画』『避難確保計画～土砂災害～』に沿って対策・訓練を実施し、職員・利用者ともに防災意識を高める機会を設定し、利用者の安全確保に努めます。

### 6. 《職員の資質・専門性の向上》

- ・OJT・OFF-JTの研修体制を実践し、職員の人材育成とスキルアップを図ります。
- ・専門職としてのスキルアップを図り、他職種協働のもと、重度高齢化への介護支援体制を整えます。

●若生園活動棟の設備について、老朽化により、欠陥箇所や修繕箇所が増えてきています。引き続き、今後の活動棟の利用方法や修繕計画について、法人本部と連携し、検討・整備する必要があります。

# 令和3年度 生活介護事業所パルめぐみ 事業報告

## 【施設概要】

1. 所在地 登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成17年4月1日
5. 利用定員 35名

令和3年4月は契約者数57名でスタート、年間の動向は、2名が生活介護利用契約、1名が生活介護契約解除となりました。

利用状況においては、利用定員35名に対して1日当たり平均36.3名の利用となるなど、昨年度の37.8名を下回った形となりました。利用人数に応じて随時車両調整しました。また、法人内事業所を短期利用しながら日中はパルめぐみを利用したいというニーズもあり、強度行動障害の利用者であっても柔軟に対応しました。

日中一時支援事業においては、生活サイクルの維持を目的として、迫支援学校時代に利用していた方々が、他事業所が休み（主に土曜日）のときに利用するという状況が続いています。1日当たり2.4人の利用と、昨年度の2.8人を下回った形となりました。

強度行動障害の利用者に対して、専門的な支援を継続的に提供できるよう新たに1名の職員が強度行動障害支援者養成研修に参加し、修了しました。

日中活動においては、感染症対策をしっかりと行った上で外出や行事を実施しました。臨機応変に内容を変更しながら、職員一丸となって「利用者主体」の活動を実現しようと取り組みました。

## 【重点項目】

### 1. 生活介護

入浴および排泄を必要とされる利用者個々の状況に応じて対応しています。車いす使用者の個浴利用について、希望が多い日は午前中から入浴時間を調整することで多くの方が利用できるように対応しました。排泄介助では、定時でのトイレ誘導をベースにその日の体調に応じたトイレ誘導を柔軟に行いました。食事介助では、利用される方々の希望に応じて食事をできるように提供時間に幅を持たせています。また、感染症対策として1つのテーブルに多人数にならないよう調整しました。強度行動障害の利用者には、専門的に学習した職員を中心に個別化した支援の強化を行うことで、対象者が過ごしやすい環境作りを行いました。

### 2. 健康管理

ICTによりバイタルの管理を行いました。健康状態に不安がある方については、1ヵ月毎の表やグラフで状態の把握に努めました。ご家族からの申し送りや日々の健康チェック、活動の様子、ご本人の発する言葉や様子を注視し、健康状態が悪い場合にはご家庭や関係機関に連絡し、通院の提案をするなど早期の回復を図っています。また、新型コロナウイルス、その他感染症に対し、湿度管理やうがい・手洗いの徹底等感染症に対する意識喚起をしました。新型コロナウイルスに関しては、送迎時の検温・手指消毒、乗車後の車両消毒、日中2回以上の検温、サービス提供後の施設内消毒などマニュアルに沿った感染症対策を実施し、継続して利用者の健康状態の把握・維持に努めました。

### 3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能低下が懸念される方が多くなってきたことに伴い、1日2回の体操を継続して行ってきました。さらに、ホットバック、歩行訓練など、希望に応じて対応しました。ヨガ教室も心身のリラクゼーションが可能な時間として皆さんに定着しており、積極的な参加がみられました。従来から継続している音楽療法については、音楽を通じて心身のリフレッシュを図ることができました。

### 4. 活動機会の提供

創作活動では、持ち帰り作品の制作に力を入れました。「記憶や形に残るもの」をテーマに、オリジナルトートバッグ作りやアルバム作成など、これまでにないものを行いました。趣味活動で毎年参加していた障害者による書道・写真コンテストでは、写真部門で全国銅賞を収めるなどこれまでの成果が現れました。

昨年度同様、四季に応じた行事を行うことで、季節の移り変わりを感じることができています。毎年恒例のお花見以外にも、夏にはかき氷やミニ縁日、秋にはりんご狩りや柿狩りなどを実施しました。社会資源の活用として、社会見学は大人数を避けるため3回に分けて実施し、松島・塩竈の工場見学を行いました。

利用者主体の活動を実現するため、活動の際には一人ひとりが選択できるよう複数の内容を準備するようにしました。ジェンダーに関係なく、参加したいものに参加できるよう環境作りをしました。

5. その他

今年度は迫支援学校の体験実習やボランティアの受け入れ（希望）はありませんでしたが、登米総合産業高等学校からの見学の受け入れをしました。

10月には障害福祉サービスに関わる全8拠点合同で「恵泉会プチフェスティバル」を初めてオンラインで実施。サービスの種類に関係なく多くの利用者が参加することができました。

地域行事として、昨年度は中止となりましたが、今年度は第13回となるトーンチャイム演奏会を登米市役所南方庁舎で実施しました。地域交流に加え、利用者の自己表現の場を作ることができました。

今年度より、公益的事業の一環として清掃活動を始めました。参加希望の利用者とともに、社会資源の清掃活動を行いました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,209 名
2. 年間稼働日数 309 日
3. 年間稼働率 103.6 % (生活介護)
4. 年間平均障害支援区分 4.07
5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
区分 3	264	264	254	259	252	253	259	245	254	228	210	241	2,983
区分 4	423	468	478	452	450	453	462	460	470	437	377	445	5,375
区分 5	138	133	143	157	162	154	160	157	157	152	138	169	1,820
区分 6	85	94	82	95	81	74	87	83	90	86	71	82	1,010
計	931	959	957	963	945	934	968	945	971	903	796	937	11,209

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
月末契約者数	57	57	57	57	57	57	58	58	59	59	59	59	+ 1

【利用者サービスの状況】

1. 日中活動サービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 4. 6, 8, 9, 14	お花見見学・鑑賞会	みなみかた千本桜、平筒沼ふれあい公園、長沼フートピア公園の3カ所に分かれてお花見をしました。また、最終日には参加できなかった方を中心に、日本の桜の名所を映像で流し、団子とともに季節を感じていただきました。	利用者 49名 職員 9名
R3. 5. 17, 18, 19	セレクトランチ	お寿司、そば、ファミリーレストラン、ラーメンなど、事前にメニューを配布し選ぶ楽しみを味わっていただきました。出前にて3日間実施。	利用者 43名 職員 31名
R3. 05. 27	ハーバリウム教室	ほとんどの方が初めてで、迷いながらも自分で作るハーバリウムに魅力を感じていました。リラックス効果があり、それぞれお持ち帰りしていただきました。	利用者 45名 職員 9名
R3. 06. 30	パルリンピック	オリンピック開催にちなんで実施したパルリンピック。森公民館にて、ボッチャなど計4競技でスポーツの楽しさを味わうことができました。	利用者 47名 職員 11名
R3. 07. 14	野外活動	大嶽山にて、散策や軽運動で体を動かしつつカレーやフランクフルトを楽しみました。自然と触れ合いながらの活動に、多くの方がいつも以上にいい表情を見せてくれました。	利用者 42名 職員 11名
R3. 08. 04	夏祭り①	2部構成の第1弾は、かき氷とフルーツポンチの食べ物屋台、射的、お宝釣り、ゼリーすくいゲーム屋台を実施。昼食にも焼きそばなど夏祭りにならんだメニューを提供しました。	利用者 42名 職員 12名
R3. 09. 02	夏祭り②	第2弾は、3種類の味から選べるアイスフロートの提供。さらに、ペットボトルボウリング、卓球、卓上ビリヤードの3種のゲームを実施。趣向を凝らした内容に、どちらも好評でした。	利用者 44名 職員 12名
R3. 10. 5, 6, 7	セレクトランチ	好評につき今年度の第2弾。お寿司、中華、定食、ラーメンなど、事前にメニューを配布し選ぶ楽しみを味わっていただきました。出前にて3日間実施。	利用者 43名 職員 31名
R3. 10. 29	恵泉会プチフェスティバル	障害福祉サービス部門初のオンラインイベント。「つながる」をサブテーマとし、全8拠点でステージ発表や抽選会で盛り上がりました。パルめぐみは「けん玉」と「テールクロス引き」をライブ映像とPVで発表。ライブならではの緊張感が会場に漂っていました。	利用者 45名 職員 12名
R3. 11. 04	収穫祭	園芸で収穫した里芋を使っの芋煮を昼食で提供。おやつでは焼きいもを提供し、食で季節の移り変わりを実感していただきました。	利用者 37名 職員 12名

R3. 12. 8, 9, 15	社会見学	海鮮せんべい塩竈株式会社、松島蒲鉾本舗見学の2つのコースで企画。見学・体験に加えホテルでの昼食やお土産の購入と、社会見学の魅力が詰まった外出になりました。	利用者 43名 職員 17名
R3. 12. 22	トーンチャイム演奏会	第13回となるトーンチャイム演奏会は、1年ぶりに登米市役所南方庁舎で実施しました。アンコール曲を含む全7曲を1階ラウンジで演奏しました。	利用者 8名 職員 4名
R3. 12. 23	クリスマス会	クリスマスの雰囲気を工夫し、レクリエーションを実施。今年度の目玉は、大きめのサイズにカットされた6種類のケーキから選んで食べられることでした。シャンメリーと合わせて1日早いクリスマスを感じることができました。	利用者 40名 職員 10名
R3. 12. 29	今年を振り返る会	今年の活動の様子をスライドショーで振り返り、画像を見ることでその時の楽しさが思い出されたようで、またあの行事をやってみたいという希望などもあがっていました。	利用者 44名 職員 7名
R4. 01. 07	新年会・成人を祝う会	今年は1名の利用者が新成人に。ホールにてお祝いをした後、甘酒で乾杯をしました。また、新年らしくかるた取り大会で盛り上がりました。	利用者 44名 職員 11名
R4. 02. 03	節分行事	鬼退治ボウリングなるレクリエーションに加え、年男を中心とした豆まきで福を呼び込みました。	利用者 40名 職員 10名
R4. 02. 14	バレンタイン	当初の予定とは変更となり、「自分から自分へのプレゼント」とし、オリジナルの手作りチョコを作成しました。	利用者 39名 職員 11名
R4. 03. 03	ひなまつり	ひなまつりをイメージした3種のレクリエーションを実施し、春の訪れをいち早く感じていただきました。	利用者 42名 職員 11名
R4. 3. 14、15	体力測定会	体力の衰えが感じられてきたという声から企画され、昨年度に続いて実施。片足立ちや長座体前屈、握力など計6種目を測定し、昨年度の数値と比較していました。	利用者 54名 職員 54名

【その他の利用者サービス】 日中一時支援事業

1. 年間延べ利用人員 734 名 (利用上限 10 名)
2. 年間稼働日数 309 日
3. 年間稼働率 23.75 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

日中一時利用人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用市町村	登米市	58	69	65	77	46	49	71	63	56	55	57	59	725
	栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	南三陸町	0	1	0	1	0	0	2	1	0	1	1	1	8
	計	58	70	65	78	46	49	73	64	56	57	58	60	734
	稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	309
	利用者/日	2.2	2.7	2.5	2.9	1.8	1.9	2.7	2.6	2.2	2.4	2.4	2.2	2.4

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
  - (1) 内部研修

年月日	内 容	講 師 ( 講 演 者 )	参 加 者
R3. 04. 28	身体拘束に関する廃止の取組等研修	サービス管理責任者	職員
R3. 05. 10	虐待防止にかかる研修	管理者	職員
R3. 05. 25	新任職員研修	管理者	看護師 生活支援員
R3. 06. 15	食中毒対策研修	栄養士	職員 利用者
R3. 07. 20	熱中症対策研修	看護師	職員 利用者
R3. 08. 17	タイムマネジメント研修	生活支援員	職員
R3. 08. 30	車いすの介助方法	サービス管理責任者	生活支援員
R3. 09. 10	防災研修	生活支援員	職員 利用者
R3. 09. 28	感染症予防研修	看護師	職員 利用者
R3. 10. 22	強度行動障害伝達研修	サービス管理責任者	職員
R3. 11. 04	障害者虐待防止の組織的な取組についての伝達研修	サービス管理責任者	職員
R3. 11. 15	強度行動障害伝達研修	サービス管理責任者	職員
R3. 12. 17	防犯教室	佐沼警察署	職員 利用者
R4. 01. 27	メンタルケア研修	生活支援員	職員
R4. 02. 02	法令遵守研修	管理者	職員
R4. 02. 15	歩行介助方法について	サービス管理責任者	職員
R4. 02. 16	歩行介助方法について	サービス管理責任者	職員
R4. 03. 24	腰痛予防研修	生活支援員	職員
R4. 03. 25	腰痛予防研修	生活支援員	職員



## (2) 外部研修

年月日	内 容	開催地	参加者
R3.08.06	発達障害者支援セミナー	オンライン	生活支援員
R3.09.09	強度行動障害基礎研修	オンライン	サービス管理責任者
R3.09.10	強度行動障害基礎研修	オンライン	サービス管理責任者
R3.09.13	強度行動障害実践研修	オンライン	サービス管理責任者
R3.09.14	強度行動障害実践研修	オンライン	サービス管理責任者
R3.09.28	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市役所南方庁舎	生活支援員
R3.09.29	業務改善研修	オンライン	生活支援員
R3.10.26	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市役所南方庁舎	サービス管理責任者
R3.12.06	感染症予防を学ぶ基礎研修	オンライン	生活支援員
R3.12.13	感染症対策強化のためのBCP計画策定研修	オンライン	主任
R4.02.16	サービス管理責任者更新研修	オンライン	サービス管理責任者
R4.02.18	恵泉会職員フォローアップ研修	オンライン	生活支援員

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	連絡事項・各セッション毎協議、検討	第1水曜日	全職員
ケア会議	利用者支援方法、身体状況等の検討	随時	全職員
給食会議	献立内容の検討、利用者嗜好、提供状況	毎月1回	サービス管理責任者・ 栄養士・看護職員
恵泉会種別部会	事務部会、サビ管部会、障害者推進委員会	毎月1回	栄養士、サビ管、事務員

## (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
R3.04.19	K.F様担当者会議	パルめぐみ	本人 家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R3.04.21	D.S様担当者会議	パルめぐみ	福祉事務所 家族 パルめぐみ
R3.05.10	BCPオンライン会議	パルめぐみ	GH パルめぐみ こじか.etc
R3.06.14	I.S様ケア会議	パルめぐみ	本人 GH パルめぐみ
R3.07.02	H.O様ケア会議	パルめぐみ	家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R3.07.02	K.S様ケア会議	若草園	母 地域生活支援センター 若草園 パルめぐみ
R3.07.27	M.S様担当者会議	パルめぐみ	家族 地域生活支援センター パルめぐみ
R3.10.07	A.U様担当者会議	パルめぐみ	本人 GH パルめぐみ
R3.10.21	T.O様担当者会議	パルめぐみ	家族 ひだまりポッケ 地域生活支援センター パルめぐみ
R3.11.02	A.S様ケア会議	津山総合支所	本人 家族 地域生活支援センター 津山総合支所 まもりーぶ パルめぐみ
R3.12.01	I.S様担当者会議	パルめぐみ	本人 GH パルめぐみ
R3.12.02	M.S様担当者会議	パルめぐみ	本人 地域生活支援センター パルめぐみ
R3.12.13	M.K様担当者会議	パルめぐみ	本人 GH パルめぐみ
R3.12.20	H.O様担当者会議	パルめぐみ	本人 GH パルめぐみ
R4.01.28	C.O様担当者会議	パルめぐみ	家族 若生園 パルめぐみ
R4.02.09	H.O様担当者会議	パルめぐみ	家族 地域生活支援センター パルめぐみ

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
身体拘束等対策検討委員会	身体拘束・人権侵害の予防と取り組み	随時	サビ管・生活支援員
感染症・食中毒予防対策検討委員会	衛生維持管理、清掃消毒、感染対策の実施	随時	サビ管・生活支援員
虐待防止対策検討委員会	衛生維持管理、清掃消毒、感染対策の実施	随時	看護師・サビ管・生活支援員
リスクマネジメント委員会	安全対策、事故検証、苦情解決の実施	随時	サビ管・生活支援員
研修委員会	施設内・施設外研修の計画実施	随時	サビ管・生活支援員
防災対策委員会	防災訓練・避難訓練の計画実施	随時	サビ管・生活支援員
サービス評価委員会	第三者サービス評価のとりまとめ、検証改善	随時	サビ管・生活支援員

#### 【施設機能の開放】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R3. 10. 26	登米総合産業高等学校様	見学	19名
R3. 11. 11	登米総合産業高等学校様	見学	16名

##### (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
計			0名	0名

#### 【今後の取り組み】

#### 1. 生活介護

家庭（在宅）やグループホームなどから通う利用者等それぞれにあった介助法を模索しながら、環境作りや支援をおこなっていき、地域の社会資源としてより多くの方々にご利用してもらえよう努めていきます。

また、通所を通して基本的な生活習慣やマナー・服装・身だしなみなど社会性を身につけると共に、ふれあいや対話を通して情緒の安定や良好な信頼関係を構築し、利用者にとって居心地の良い空間を目指していきます。

#### 2. 健康管理

高齢の方や病気を抱えている利用者も増加傾向にあるため、日々の状態観察をしながら異常の早期発見・早期対応に努めます。ICTによるデータ管理を行うことによって、利用者個々のデータ抽出が容易になったため、より素早いアプローチを目指していきます。

感染症の予防にも早期に対応しながら、万が一感染症の症状が見られた場合には、直ちに家庭や関係機関に連絡して通院などを提案し、感染症拡大を阻止していきます。

#### 3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能の維持向上や自立の促進を図るため、音楽療法及びヨガ教室は令和4年度も継続します。また、機能訓練についても、各利用者の状況や家族の要望を受け、機能訓練が可能な器具などを使用して毎日実施していきます。必要に応じて、法人内や関係機関の理学療法士、言語聴覚士等に伺いながら、状況に応じた訓練を実施していきます。

#### 4. 活動機会の提供

創作活動や木工芸活動、園芸活動など以外にも、タブレットを使った楽しみ方を学ぶことで楽しみ方のバリエーションを増やしていきます。また、様々な活動を体験することで趣味の幅を広げていくとともに、利用者一人ひとりがその人にあった楽しみ方ができるよう自己決定支援を意識していきます。

更に地域行事・事業所内行事で作品発表の場を持つことを通し、社会参加の機会を増やしていきます。

#### 5. その他

良質なサービス提供を維持するため、アンケート調査やサービス評価の内容を重視していきます。関係機関や地域、家族との連携を大切にし、地域社会に開かれた事業所となるよう努めることを主に置き、随時ボランティアの受け入れ、体験や職業実習についても、お手伝いさせていただきます。

また、日常の各種活動（対外的なものも含めて）の様子を「パルめぐみブログ」や定期的な広報誌の作成・発行を通して紹介していきます。

# 令和3年度 恵泉会グループホーム・はせやま相談支援事業所 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所在地 登米市中田町浅水字長谷山352-2
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成18年10月1日（障害者自立支援法第29条第1項に基づく指定）
5. 利用定員 110名（※R4.4.1現在、内、2名は体験利用枠）  
（ホーム数）20ホーム：26住居

ホーム名	定員	住 所	住居区分	物件形態	夜間支援有無
みなみホーム	6名	登米市南方町瀬ノ淵	一戸建て	法人所有	あり（6名）
さつきホーム	4名	登米市南方町内ノ目	一戸建て	賃貸借	
やまびこホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	アパート	賃貸借	
やまびこホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	アパート	賃貸借	
ももの木ホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	アパート	賃貸借	
ももの木ホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	アパート	賃貸借	
はさまホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	アパート	賃貸借	
はさまホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	アパート	賃貸借	
かきの実ホーム	6名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
かりんホームⅠ	5名	登米市迫町佐沼字江合	一戸建て	賃貸借	
かりんホームⅡ（サテライト型）	1名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借	
こだまホーム	4名	登米市迫町佐沼字錦	一戸建て	賃貸借	
かごだんホームⅠ	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	あり（6名）
かごだんホームⅡ	8名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有	あり（8名）
にしきホーム	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	賃貸借	
石森ホーム	4名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借	
すみれホーム	6名	登米市中田町石森字境堀	一戸建て	賃貸借	
わたの実ホームⅠ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	あり（6名）
わたの実ホームⅡ	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	あり（6名）
とよまホーム	6名	登米市中田町宝江黒沼字町	一戸建て	賃貸借	あり（6名）
くりの実ホーム	6名	登米市東和町錦織字大舟渡	一戸建て	賃貸借	
梨の木ホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
わかばホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借	
ラベンダーホームⅠ	3名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ラベンダーホームⅡ	2名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	
ラベンダーホームⅢ（サテライト型）	1名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有	

法人内障害児者支援共通スローガン『いっしょに』～あなたによりそう「けいせんかい」～のもと、地域で暮らす利用者の皆さんが一人ひとり生き生きと輝いて生活できる共同生活住居の提供と相談支援の充実を目指した取り組みを強化しました。特に、令和3年は新型コロナウイルス対策を最重要課題としながら、利用者の皆さんやご家族の協力をいただき、新しい生活様式に沿った過ごし方への支援にシフトを図りました。コロナ禍においても、個別・小グループでの外出やスポーツ観戦、マラソン大会、インターネットを活用したオンラインでのお祭り行事など、職員・事業者間で協力しながら工夫し対応しております。

しかしながら、令和4年2月、当事業所関係者で初となる新型コロナウイルス感染が確認され、法人本部や登米保健所、関係事業者らと連携を図り、事前に策定した業務継続計画（BCP）に沿った対応を進めました。刻一刻と状況が変わるウイルスへの対応やその感染力の強さに対応の難しさを実感しましたが、その対応で分かり得た命を守るための対策方法については、当事業所のBCPの見直しや法人内のワーキングチームなどの研修教材として役立てていきたいと考えます。

利用者の重度・高齢化対策の推進としては、夜間支援体制の充実とフレイル予防に向けた法人内介護保険事業所との連携強化、重度障害者支援体制構築のための専門研修の受講などを進め、新しい報酬体系下においても黒字化経営が維持できるよう、虐待防止・身体拘束適正化などの取り組みも含め、利用者中心のサービス充実のための改善に事業所をあげて取り組んでおります。

職員育成の部分では、内部研修及びOJT機能を強化し、スタッフ会議やケアカンファレンス、世話人会議などでミニ研修を実施しながら、「知識と技術」「支援方法の構造化」を柱として、サービス管理責任者と生活支援員とが十分に連携を取り合える職場風土の醸成とチームアプローチの強化を進めております。

また、非常災害や緊急時の対応としては、夜間支援型の3ホームを地域拠点に据え、令和4年3月に発生した震度6強の地震においても、迅速な非常呼集と安否確認、安全な避難の対応にあたることができっております。

## 【 重 点 項 目 】

1. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢
  - (1) 利用者の皆さんの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
  - (2) 利用者の皆さんを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
  - (3) ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
  - (4) 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えること
  - (5) 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者さんの年齢や特性に合った住環境を整備すること
  
2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業
  - (1) 利用者の皆さんの重度高齢化への対策強化
    - ①夜間支援対象枠の順次拡充（R2は20名 → R3は31名 → R4は38名）
    - ②女性利用者向けの夜間支援体制の検討  
→対象者の調査、物件の検討、体制確保に向けた調整・協議
    - ③入居ホーム建物のバリアフリー化のための移転計画 → 老朽化および住環境改善のため（優先順位）やまびこホーム、ももの木ホーム、はさまホーム、にしきホーム
  
  - (2) 10年後を想定したアセスメントの実施と将来利用サービスの検討・提案
    - ①介護保険サービスの利用者（5名 → 13名）  
菊風荘（デイサービス）利用 3名  
東和高齢者福祉施設（デイサービス）利用 2名  
迫風園（ショートステイ）および翠風荘（デイサービス）利用 1名  
南寿荘（デイサービス）利用 2名  
福祉用具貸与サービス利用 6名（※他サービスと重複あり）  
サービス調整中 4名
    - ②利用サービス等の変更・見直し  

一般就労からA型就労へサービス変更（1名）	一般就労からB型就労へサービス変更（1名）
一般就労から生活介護へサービス変更（1名）	A型就労からB型就労へサービス変更（1名）
B型就労から生活介護へサービス変更（5名）	
他法人から法人内サービスへの移行者（3名）	介護保険サービスへの新規移行及び併用（3名）
  
  - (3) 利用者預り金管理体制の見直し
    - ①預り金管理に係る事務諸経費の増加に伴い、月額サービス料金の改定を実施  
→ 障害者施設で統一料金を設定し、令和4年度より月額3,000円に変更
    - ②後見人制度やまもり〜ぶ等の活用、家族管理（11名）
  
  - (4) I o T機器やI C Tの活用による業務効率の改善
    - ①障害者支援ソフトの見直し  
→ データ管理のクラウド化、Wi-Fi環境の整備、タブレット端末の導入
    - ②インターネットを活用した研修や会議への参加・実施（オンライン対応）
    - ③健康管理アプリを用いた職員の体調報告とアルコールチェック
  
  - (5) 相談支援事業の目標予算の達成と法人内拠点事業所との連携強化
    - ①利用者の皆さんの希望を丁寧にアセスメントし、プラン変更やモニタリング機能を強化
    - ②対象者の希望をもとに、法人内事業所と連携しスムーズな受け入れや契約対応を支援
  
3. 感染症対策および非常災害対策について
  - (1) 感染症対策用BCP（業務継続計画）の策定・・・令和3年6月1日
  - (2) 自然災害用BCP（業務継続計画）の策定・・・令和3年10月1日
  - (3) 非常用備蓄品（感染症対策用、非常災害用）についての整備完了
  - (4) 各ホーム用の消火器について、一般家庭用消火器を業務用消火器に変更
  - (5) 土砂災害危険区域内にある管理建物の解体処分の完了（東和町米川／旧よつばホーム）

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人数 38,302 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 年間稼働率 97.2 %
4. 年間平均障害支援区分 3.36
5. 月別利用状況

(1) 共同生活援助

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	30	31	41	31	31	30	31	30	31	31	28	31	376
区分2	540	526	510	527	524	479	527	510	526	526	480	525	6,200
区分3	1,170	1,208	1,183	1,240	1,247	1,290	1,302	1,267	1,286	1,276	1,096	1,216	14,781
区分4	1,205	1,207	1,200	1,216	1,236	1,139	1,177	1,139	1,174	1,142	1,066	1,204	14,105
区分5	120	186	180	186	185	179	184	178	183	178	168	186	2,113
区分6	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	53	62	727
計	3,125	3,220	3,174	3,262	3,285	3,177	3,283	3,184	3,262	3,215	2,891	3,224	38,302
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
稼働率	96.5%	96.2%	98.0%	97.4%	98.1%	98.1%	98.1%	98.3%	97.4%	96.0%	95.6%	96.3%	97.2%

(2) 計画相談支援(※サービス提供時モニタリング加算を含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本計画	24	6	7	6	2	14	7	3	9	2	6	2	88
モニタリング	25	29	25	24	24	42	53	65	49	55	38	34	463
合計	49	35	32	30	26	56	60	68	58	57	44	36	551

6. 契約の状況

(1) 共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
月末契約者数	105	105	105	106	106	106	106	106	106	105	105	105	+ 1

(2) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
契約終了者数	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0	5
月末契約者数	188	188	188	186	186	186	186	186	186	185	184	184	- 5

【利用者サービスの状況】

1. 入居者支援

(1) 生活支援(共同生活援助・相談支援状況)

【形態・月別相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	13	18	9	10	14	13	14	14	5	3	5	12	130
電話	41	46	50	34	46	44	45	39	51	44	68	51	559
訪問	41	48	58	39	42	55	48	45	48	58	36	62	580
計	95	112	117	83	102	112	107	98	104	105	109	125	1,269

(2) 健康管理

①通院先・月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神) 佐藤医院	7	7	7	7	7	8	8	7	11	9	8	8	94
精神) 三峰病院	10	11	10	2	0	3	7	9	11	3	5	2	73
精神) 石越病院	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	25
登米市民病院	3	4	4	6	3	6	4	2	6	5	4	2	49
登米市立米谷病院	5	1	5	3	9	4	5	5	4	3	1	4	49
上杉皮膚科医院	12	13	9	12	18	20	7	15	14	12	8	12	152
その他(大崎市民病院他)	96	81	87	94	75	104	118	156	91	84	62	80	1,128
計	135	119	124	127	114	147	151	196	139	118	90	110	1,570

②市内・市外別 通院対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市 内	112	101	105	116	107	140	133	180	120	102	76	94	1,386
市 外	23	18	19	11	7	7	18	16	19	16	14	16	184
計	135	119	124	127	114	147	151	196	139	118	90	110	1,570

(3) 就労・日中活動支援

①就労・日中活動先への訪問および支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	89	92	53	65	57	76	83	88	72	71	65	52	863

(4) 余暇支援

実施月	行 事 名	内 容	参加者数
4月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 6回 参加 12名
5月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 4回 参加 9名
6月	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(クッキング)	回数 1回 参加 13名
	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 5回 参加 13名
7月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 6回 参加 15名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(バーベキュー)	回数 1回 参加 9名
8月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 8回 参加 22名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(バーベキュー)	回数 1回 参加 19名
9月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 5回 参加 16名
	ふるさと訪問	コロナ対策を実施しての個別の実家訪問(お墓参りなど)	回数 4回 参加 7名
10月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 6回 参加 23名
	マラソン大会	希望者を募ってのスポーツ行事(マラソン)	回数 1回 参加 35名
11月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 5回 参加 17名
	ホーム行事	ホーム単位で行う余暇支援(バーベキュー)	回数 1回 参加 10名
12月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(外食)	回数 4回 参加 20名
	希望外出	コロナ対策を実施してのスポーツ観戦(ベガルタ仙台)	回数 1回 参加 5名
	希望外出	ホーム単位で行う余暇支援(買い物など)	回数 5回 参加 19名
1月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 6回 参加 12名
3月	希望外出	コロナ対策を実施しての個別の外出支援(買い物など)	回数 3回 参加 8名
実 施 回 数		73 回	延 べ 参 加 者 数
			284 名

【月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	6	4	6	7	9	9	7	6	10	6	0	3	73

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R3.04.01	転入職員OJT①	グループホーム職員	職員4名
R3.04.02	転入職員OJT②	グループホーム職員	職員4名
R3.05.07	職員ミニ研修(電話対応、グループホーム経営)	施設長	職員16名
R3.05.31	救命救急講習	日本ライフライン(株)	職員13名
R3.06.17	コンプライアンス研修	施設長	職員16名
R3.06.18	コンプライアンス研修(個別伝達)①	施設長	職員5名
R3.06.23	コンプライアンス研修(個別伝達)②	施設長	職員2名
R3.08.19	新型コロナウイルス感染症防止対策研修	県クラスター班	職員16名
R3.09.14	BCP研修①(新型コロナウイルス)	グループホーム職員	職員13名
R3.09.16	BCP研修②(新型コロナウイルス)	グループホーム職員	職員5名
R3.09.29	BCP研修③(新型コロナウイルス)	グループホーム職員	職員1名
R3.09.30	BCP研修④(新型コロナウイルス)	グループホーム職員	職員2名
R3.10.05	腰痛・労災について	施設長	職員14名
R3.10.28	職員ミニ研修(障害者虐待防止)	施設長	職員15名
R3.11.02	職員ミニ研修(障害者の特徴と支援・援助の基本について)	施設長	職員12名
R3.12.10	世話人ミニ研修(権利擁護研修)	登米市人権擁護委員	職員6名・世話人15名
R3.12.10	職員ミニ研修(GH拠点会計半期経営状況分析)	施設長	職員15名
R4.01.06	BCP研修(自然災害)	グループホーム職員	職員12名
R4.03.10	世話人ミニ研修(ガウンテクニック)	施設長	職員・世話人16名

【内部研修 実施件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数	2	2	3	0	1	4	2	1	2	1	0	1	19

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参加者
R3.04.19	人事考課研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R3.05.26	安全運転管理者講習	県安管協会	石巻市	職員1名
R3.06.27	Vineland-II研修会	発達障害者センターえくぼ	web	職員1名
R3.6~R3.10	障害者相談支援従事者初任者研修	宮城県	web他	職員1名
R3.07.13	障害者虐待防止研修	県社協	web	職員1名
R3.07.21	コミュニケーション技術・対人援助技術研修I	県社協	宮城県管工事会館	職員1名
R3.08.10	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	教育・研修センターようき	web	職員1名
R3.09.10	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	教育・研修センターようき	web	職員1名
R3.09.15	保健担当職員研修	県社協	web	職員1名
R3.09.28	登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	県社協	南方庁舎	職員1名
R3.10.6~8	人事考課規程改正研修	恵泉会	法人本部	職員5名
R3.10.10	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	教育・研修センターようき	web	職員1名
R3.10.26	登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.10~R3.12	障害者相談支援従事者現任者研修	宮城県	web他	職員1名
R3.11.9, 25	登米市障害福祉サポート事業(意思決定と合理的配慮)	登米市	南方庁舎	職員3名
R3.12.07	職場のモチベーション維持・強化研修	県社協	ハーネル仙台	職員1名
R3.12.17	ICT活用による業務改善研修	宮城県	web	職員1名
R4.01.20	コミュニケーション技術・対人援助技術研修II	県社協	宮城県管工事会館	職員1名
R4.1.21, 26	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	教育・研修センターようき	web	職員1名
R4.02.06	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	教育・研修センターようき	web	職員1名
R4.02.14	サービス管理責任者等更新研修	宮城県	web	職員1名
R4.02.16	サービス管理責任者等更新研修	宮城県	web	職員2名
R4.02.17	サービス管理責任者等更新研修	宮城県	web	職員1名
R4.02.18	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	web	職員1名
R4.03.23	宮城県障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	web	職員1名

【外部研修 参加件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	1	2	3	2	4	5	2	2	2	5	1	30

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	行事計画, 支援課題, 事務連絡, ミニ研修 等	毎月1回	グループホーム・はせやま職員
ケアカンファレンス	個別支援計画、モニタリング、支援方針 等	毎月1回	利用者, 担当職員 他
世話人会議	情報共有, 事業方針, 業務連絡, ミニ研修 等	隔月	各ホーム世話人, 担当職員

(2) その他の会議・委員会

会議名	内容	開催日	参加職員
サービス担当者会議	外部関係者を交えた支援方針等の検討・調整	随時	担当職員, 関係者, 本人
サポート会議	個別支援計画の見直しに関するカンファレンス	随時	担当職員 他
職場連携会議	就労先等を訪問しての情報共有	随時	担当職員, 関係機関, 本人
行政機関等連携会議	新規入居希望者等を対象とした情報共有	随時	担当職員, 関係機関
経営企画チーム(作業部会を含む)	人事考課規程等の改正に関する検討, 打合せ	全25回	施設長
障害児者施設長会議	法人内障害児者支援事業の検討・調整	全10回	施設長
障害児者支援ワーキング	支援技術の向上と事業所間の連携	全8回	施設長, 担当職員
職員研修大会実行委員会	研修大会の運営・調整・打合せ	全5回	施設長, 担当職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
防災安全・権利擁護委員会	災害や非常時に備えた計画の整備, 訓練実施。事故や虐待、権利擁護等に関する検証。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
入居者支援・余暇検討委員会	支援方法や業務手順, 余暇に関する企画・実施。支援方法や入居ホームに関する検討・調整。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員
サービス向上・研修委員会	サービス内容に関する評価とマニュアルの整備, 研修計画の立案と実施。	毎月1回	委員会メンバー, 関係職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R3.06.21	新規入居希望者、相談支援事業者	見学（やまびこホーム）	2名
R3.07.15	新規入居希望者、相談支援事業者	見学（やまびこホーム、かりんホーム）	4名
R3.10.09	新規入居希望者	見学（やまびこホーム、かりんホーム）	2名
R3.10.14	新規入居希望者、相談支援事業者	見学（かりんホーム）	2名
R4.01.17	迫支援学校（生徒・保護者・教員）	見学, 事業説明（わたの実, かきの実）	22名
R4.01.19	新規入居希望者	見学（かりんホーム）	2名
R4.01.31	新規入居希望者	見学（かりんホーム）	2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数			1	1			2			3			7



(2) 体験ステイ、体験入居（介護給付費対応）

年月日	対象者	内容	延べ人数
R3.06.07～30	新規入居希望者	体験入居（梨の木ホーム）	24名
R3.08.17～19	新規入居希望者	体験入居（やまびこホームⅠ）	3名
R3.08.24～27	新規入居希望者	体験入居（やまびこホームⅠ）	4名
R4.02.05～08	新規入居希望者	体験入居（かりんホームⅠ）	4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数			24		7						4		35

【今後の事業の取り組み】

1. 恵泉会障害児者支援共通スローガン

『 いっしょに 』 ～ あなたによりそう「けいせんかい」 ～

2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

- ① 利用者の皆さんの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
- ② 利用者の皆さんを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
- ③ ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
- ④ 一人ひとりにあった休日や余暇の過ごし方を考え・提供し、楽しみや希望、活力を与えること
- ⑤ 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者さんの年齢や特性に合った住環境を整備すること

3. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業

- ① 利用者さんの重度高齢化への対策強化  
→夜間支援体制の強化やフレイル予防対策として介護保険事業所との積極的な連携拡大を図ります
- ② 利用者さんの特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備，女性利用者の獲得  
→少人数物件や老朽化物件の移転・集約および女性利用者獲得に向けた夜間体制の検討など
- ③ 10年後を想定したアセスメントの実施と将来利用サービスの検討・提案  
→本人・家族と共に心身の状況を確認し将来プランを作成する，法人内事業所との協働を推進
- ④ IOT機器やICTの活用による業務効率の改善  
→タブレット端末の導入や支援ソフトの見直しによる業務効率化や職員間での連携強化を図ります
- ⑤ 相談支援事業の目標予算の達成と法人内拠点事業所との連携強化  
→マネジメント件数を維持できるよう現行体制を保ち、グループホームとの内部業務の連携推進や法人内事業所との円滑な連携体制の構築を目指します

\*\*\* 共同生活援助事業の役割について \*\*\*

- ① グループホームの役割は、その人のニーズに合うサービスを創り出していく仕事です。  
利用者の皆さん一人ひとりと一緒に、『地域をつくる』仕事だと自覚し事業を進めていきます。
- ② グループホームは、利用者の皆さん一人ひとりの家であり、生活する居住の場です。  
職員・世話人は決して集団生活を強いることや指導・訓練が中心とならないように心がけていきます。
- ③ 利用者さんは「困った人」ではなく「困っている人」という認識を持ち、構造化された環境で、医療と連携し、日常生活や精神状態に支障を来すような強く過度な刺激を与えないよう、一貫した対応を常としていきます。

# 令和3年度 恵泉会地域生活支援センター 事業報告

## 【 施設概要 】

1. 所在地 宮城県登米市迫町佐沼字中江一丁目10番地4中江第一ビル1-1、1-2
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成18年10月1日
5. 利用定員 なし（利用者の障害種別は問わない）

## 【 利用状況 】

1. 年間延べ利用人員 6,847 名
 

○登米市障害者相談支援事業	}	2,936 名
○宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業		
○宮城県障害児等療育支援事業		
○指定特定相談支援事業（計画相談支援）		
○障害者就業・生活支援事業		2,545 名
		1,366 名

2. 年間稼働日数 293 日

3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市障害者相談支援事業 宮城県発達障害者地域支援 マネジャー配置事業 宮城県障害児等療育支援 事業	252	261	273	285	256	260	225	224	225	226	207	242	2,936
指定特定相談支援事業	258	196	260	220	218	224	233	159	194	208	194	181	2,545
障害者就業・生活支援事業	107	111	125	110	101	133	159	108	115	101	100	96	1,366
計	617	568	658	615	575	617	617	491	534	535	501	519	6,847

4. 登録の状況

登米市障害者相談支援事業・宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業・宮城県障害児等療育支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	0	1	2	1	2	0	0	0	3	0	2	0	11
月末登録者数	411	412	414	415	417	417	417	417	420	420	422	422	

障害者就業・生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	7	2	2	0	3	2	4	0	3	0	3	1	27
登録抹消者数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
月末登録者数	291	293	294	294	297	299	303	303	305	305	308	309	

5. 相談実績件数

登米市障害者相談支援事業/宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

宮城県障害児等療育支援事業/指定特定相談支援事業（計画相談支援） 障害者就業・生活支援事業

訪問相談	来所相談	電話相談	機関連携	地域支援他	職場実習	就職者	定着支援
746	156	1,684	810	1,925	20	21	298

【利用者サービスの状況】

1. 日常サービス

(1) 技術支援

実施日	項目	内 容	参加者数
R3.09.03	ペアレントプログラム (6回シリーズ)	保護者・支援者を対象にしたプログラム (あかいしの森)	9名
R3.09.16	〃	〃	13名
R3.10.08	〃	〃	9名
R3.10.22	〃	〃	7名
R3.11.05	〃	〃	9名
R3.11.26	〃	〃	9名
R3.07.16	ペアレントプログラム (6回シリーズ)	保護者・支援者を対象にしたプログラム (多機能サポートセンターこじか)	4名
R3.07.30	〃	〃	5名
R3.08.10	〃	〃	6名
R3.08.27	〃	〃	4名
R3.09.10	〃	〃	5名
R3.09.24	〃	〃	3名
R3.09.14	ペアレントプログラム (6回シリーズ)	保護者・支援者を対象にしたプログラム (はげまし学園)	8名
R3.09.28	〃	〃	9名
R3.10.12	〃	〃	11名
R3.10.26	〃	〃	9名
R3.11.09	〃	〃	5名
R3.11.30	〃	〃	8名
R3.10.01	ペアレントプログラム (6回シリーズ)	保護者・支援者を対象にしたプログラム (加美町)	20名
R3.10.14	〃	〃	20名
R3.10.25	〃	〃	22名
R3.11.11	〃	〃	16名
R3.12.02	〃	〃	19名
R3.12.14	〃	〃	21名
R3.12.09	ペアレントメンター事業	発達障害児の保護者による相談活動 集まろん (はげまし学園)	12名
R4.03.09	〃	発達障害児の保護者による相談活動「先輩ママに聞いてみよう」(こじか)	12名
実 施 回 数		26回	延 べ 参 加 者 数
			275名

(2) 療育相談

実施日	項目	内 容	参加者数
R3.05.16	はあとタイム	理学療法士・言語聴覚士による療育相談 (登米)	4名
R3.06.20	〃	〃	12名
R3.07.18	〃	〃	11名
R3.08.22	〃	〃	11名
R3.09.26	〃	〃	13名
R3.10.17	〃	〃	8名
R3.11.21	〃	〃	14名
R3.12.19	〃	〃	9名
R4.01.16	〃	〃	13名
R4.02.20	〃	〃	7名
R4.03.27	〃	〃	5名
R3.07.14	ほんによりタイム	理学療法士による療育相談 (栗原)	7名
R4.01.27	〃	〃	6名
実 施 回 数		13回	延 べ 参 加 者 数
			120名

(3) 療育行事

実施日	項目	内 容	参加者数
R3.11.14	オープンはあとアクション	「おかえりモネ展」&とよま◆まちあるきの会	9名
実 施 回 数		1回	延 べ 参 加 者 数
			9名

## (4) 在職者交流会・在職者と求職者の交流活動

実施日	項目	内 容	参加者数
R3.05.31	たいあっぷ	ストレスとの上手なつきあい方を考える	3名
R3.10.31	〃	あなたのアピールポイントを見つけよう!	6名
R4.02.27	〃	ゆいトーク!～今年度を振り返ろう～	4名
R3.10.31	ピアサポート活動	就労パスポートの活用	4名
R3.11.12	〃	就職ビフォーアフター	8名
R4.02.27	〃	就職した私が体験したこと	3名
実 施 回 数		6回	延べ参加者数
			28名

## (5) 研修事業等

実施日	項目	内 容	参加者数
R3.05.07	マネジャー配置・療育支援事業	こじか職員研修(ペアレントプログラム) 5/14, 19, 28	4名
R3.06.22	就業支援ネットワーク強化事業	第1回就労関係事業所連絡会	14名
R3.08.06	相談支援事業・療育支援事業	えくぼセミナー講師協力	100名
R3.08.26	マネジャー配置・療育支援事業	大崎圏域支援者研修会	20名
R3.09.28	相談支援事業	登米市障がい福祉サービス事業所職員等研修会	30名
R3.10.07	マネジャー配置・療育支援事業	令和3年度 子育て世代包括支援事業 ほっとサロン	7名
R3.10.20	就業支援ネットワーク強化事業	第2回就労関係事業所連絡会	27名
R3.10.26	相談支援事業	登米市障がい福祉サービス事業所職員等研修会	30名
R3.10.28	マネジャー配置・療育支援事業	宮城県障害児等療育支援事業研修会あそぼつくり(栗原)	30名
R3.11.09	相談支援事業	登米市障がい福祉支援者サポート事業(意思決定支援)	25名
R3.11.19	就業支援ネットワーク強化事業	第3回就労関係事業所連絡会	40名
R3.11.25	相談支援事業	登米市障がい福祉支援者サポート事業(意思決定支援)	18名
R3.12.24	マネジャー配置事業	令和3年度発達障害支援者圏域別研修	20名
R4.01.13	マネジャー配置事業	はげまし学園職員研修	10名
R4.02.18	「ゆい」研修事業	発達障害のある方の就労定着	20名
R4.03.23	相談支援事業	家族セミナー	15名
実 施 回 数		16回	延べ参加者数
			410名

## 【利用者サービスの向上】

## 1. 職員研修実施状況

## (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R3.04.28	障害者虐待防止法の理解と対応	施設長	相談業務担当職員
R3.05.26	グループスーパービジョン(事例検討)※毎月実施	施設長(スーパーバイザー)	〃
R4.03.24	コンプライアンス「社会的責任を果たす上での根幹」	施設長	〃

## (2) 外部研修(主な研修)

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R3.6.30	令和3年度第1回技術支援研修会	宮城県子ども総合センター	名取市	職員1名
R3.7.7	国リハ座談会(宮城県内マネジャー情報交換会)	国立障害者リハビリテーションセンター	オンライン	職員1名
R3.7.15	令和3年度障害者職場定着支援セミナー	宮城労働局	仙台市	職員2名
R3.8.6	えくぼセミナー	えくぼ	オンライン	職員1名
R3.10.14	アセスメント研修(就業支援)	宮城県障害福祉課	大崎市	職員2名
R3.11.8	令和3年度ペアレントプログラム県北支援者研修会	宮城県	石巻市	職員2名
R3.11.8	相談支援従事者専門別研修(GSV)	宮城県	仙台市	職員1名
R3.11.15	精神障害者雇用推進セミナー	宮城県他	気仙沼市	職員2名
R3.11.16	ナカポツ就業支援担当研修(～11.19)	障害者職業総合センター	千葉県	職員1名
R3.11.19	精神障害者雇用推進セミナー	宮城県他	石巻市	職員2名
R3.11.21	ナカポツ北海道・東北ブロック経験交流会議	秋田労働局	オンライン	職員1名
R3.11.24	依存症関連問題研修	宮城県精神保健福祉センター	オンライン	職員1名
R3.12.15	東北大学病院小児科と地域支援マネジャーの勉強会	宮城県	オンライン	職員1名
R3.12.17	成年後見制度研修会	福祉事務所長寿介護課	登米市	職員1名
R4.1.25	日本職業リハビリテーション学会第49回宮城大会「ブレ大会」	日本職業リハビリテーション学会	オンライン	職員1名
R4.3.2	依存症研修	宮城県	オンライン	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議 内部の会議以外、コロナ禍のため開催中止の時期あり

会議名	内容	開催日	参加職員
相談支援事業者連絡会議	相談支援事業者と福祉事務所との定例協議	毎月実施	相談支援事業担当職員
自立支援協議会運営会議	相談支援事業者と福祉事務所との運営協議	年3回実施	相談支援事業担当職員
登米GSV	相談支援の技術向上等を目的とした事例検討	毎月実施	相談支援事業担当職員
職員会議	各事業の現状報告並びに今後の援助対策検討	毎月実施	相談業務担当職員
職員ミーティング	相談業務の共有化と個別対応方法検討	隔週実施	相談業務担当職員
グループスーパービジョン	相談支援の技術向上等を目的としたOJT	毎月実施	相談業務担当職員

### (2) その他の会議（主な会議）

開催日	内容	場所	出席者
R3.05.17	第1回宮城就業支援ネットワーク事務局会議	オンライン（リモート）	職員1名
R3.06.11	第2回 #（以降9回まで。10/4,18、12/6,7、1/21、3/1,24）	オンライン（リモート）	職員1名
R3.07.15	第1回障害者就業・生活支援センター連絡会議	仙台市（第4合同庁舎）	職員2名
R3.07.15	（宮城就業支援ネットワーク推進会議（合同開催））	仙台市（第4合同庁舎）	職員1名
R3.11.17	令和3年度宮城県子ども若者支援地域協議会実務担当者部会	登米保健所	職員2名
R4.01.27	登米市自立支援協議会	登米市南方庁舎	職員1名
R4.02.10	第2回障害者就業・生活支援センター連絡会議	オンライン（リモート）	職員2名
R4.02.10	宮城県自立支援協議会	オンライン（リモート）	職員1名
R4.02.14	ペアプロ活動報告・新マニュアル勉強会	オンライン（リモート）	職員1名

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R3.08.04	宮城県立支援学校小牛田高等学園2年生	「ゆい」見学・センターの機能説明	3名
R4.01.17	宮城県立迫支援学校高等部3年生	センター見学・センターの機能説明	5名

## 【事業に伴う成果】

### (1) 登米市障害者相談支援事業

- ・障害の種別や状況を問わず、相談を幅広く受け入れることで、地域生活の総合窓口としての位置付けが浸透し、より専門的な機関につながるための、支援の入り口・導入の機能も強くなっています。
- ・相談支援の経験を重ねた職員を継続して配置することで、各種制度やサービスの細かな内容に精通し、相談に的確に応じることができ、利用者のライフステージを通じた関わりも可能となっています。
- ・利用者のみならず、行政（保健師）や他支援機関から技術協力を求められる場面が増え、直接的な関わり以外にも、支援者のサポートや、支援体制作りの中心的役割を担うことで、地域の支援力向上の一助になっています。

### (2) 宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置事業

- ・宮城県が発達障害児者支援に重点を置いた施策のひとつとして令和元年度から新規事業化した取り組みについて、3年目となる今年度も、事業受託を継続し、理学療法士を地域支援マネジャーとして配置しています。
- ・県内の現状を踏まえ、課題や方向性を県に提言し、システム構築の一助となっています。
- ・登米エリアだけでなく、栗原エリアの療育も補完し、研修事業を充実させる取り組みを図っています。
- ・宮城県からの依頼により、各圏域においても、ペアレントプログラムを取り組めるよう、養成研修の講師として協力しています。成果は市内からの評価にとどまらず、県内の療育関係者に広く認知されています。
- ・栗原エリアの療育充実に向けた取り組みのなかで、卒業後の支援体制を学校側と協議する場に加わり、教育との連携の一步を踏み出す支援を図っています。

(3) 宮城県障害児等療育支援事業

- ・療育支援担当に言語聴覚士を配置し、専門的な療育相談を身近な地域で受けられる体制を確保し、発達状況に合わせた適切な助言を行っています。
- ・はあとタイムでの療育相談では、様々な障害（未診断を含む）特性に合わせて、専門職による個別対応を図り、家族も一緒に参加することで、家庭での療育実践につなげられる内容となっています。
- ・発達の遅れに不安を抱く家族の気持ちを受け止め、育児に自信を持てるような働きかけを通じて、不安の緩和を図り、その後のより良い療育に向けて、具体的な行動につなげられています。

(4) 障害者就業・生活支援センター「ゆい」

- ・「ゆい」登録者のうち、今年度は21名（延べ人数）が就職に結びついています。
- ・働き始めるためだけでなく、長期に働き続けるための支援やサポート体制作りについて、企業からの協力依頼が増えており、企業の関心や雇用意欲が高まっています。
- ・ハローワークの協力を得て、市内の就労系サービス事業所を対象にした「就労関係事業所連絡会」を年3回開催（年間計画4回のところ、コロナウイルスの影響で1回中止）し、事業所間の連携強化や就労支援の意識向上を図っています。
- ・支援学校との連携においては、個別移行支援会議等への参加、「ゆい」事業所見学の受け入れ、学校訪問、授業講師協力などを通して、就労に対する意識醸成の一助を担っています。また、在学中から関わることで、卒業後の切れ目のない支援につながっています。

# 令和3年度 多機能型事業所若葉園 事業報告

## 【施設概要】

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市東和町米川字西綱木23番地16     |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会                |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会                |
| 4. 開設年月日 | 平成21年 4月 1日               |
| 5. 利用定員  | 40名(就労移行支援6名、就労継続支援B型34名) |

## 【基本方針の実施状況】

### 1. 就労移行支援

一般就労を希望する利用者に対し、個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労のための基礎的な体力や技術及び社会的なマナーの習得を目指すとともに、ハローワーク等の関係機関と連携し、現場実習などを取り入れ希望や適性にあった支援をおこないました。令和3年度は2名の就職者を出すことが出来ました。

### 2. 就労継続支援B型

個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労や生産活動等を通して就労の場を提供し、社会生活における習慣の体得と技能の習得を目指しながら、工賃向上計画に準拠して、安定した工賃を払えるよう企業等とも連携を図り、生産体制の確立を図りました。

### 3. 就労定着支援

就労移行支援は利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に実施し雇用の定着を目指よう支援し、離職者が0名という実績となりました。

## 【重点項目に対する評価、成果】

### 1. 個別支援の充実

サービス等利用計画に基づき、身体状況や社会的環境に配慮した個別支援計画作成を念頭に実施いたしました。定期的にモニタリングを行いながら達成状況等を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実が図れるよう取り組みました。

### 2. 工賃の向上

各作業班毎にコスト軽減や生産・販売の効率化に努めながら実施しました。グリーン工房においてはコロナ禍における販売となったが、昨年の教訓を活かし試行錯誤した結果、過去最高の売上実績となり工賃アップに結びつけることが出来ました。月々の目標金額もクリアし一時金の金額も昨年度より大幅に増えました。

### 3. 就労支援体制のさらなる充実

関係機関と連携しながら実施してきたが、昨年同様コロナ禍の中、職場実習や企業合同説明会が中止となる中、就労移行支援事業において利用者2名が障害者雇用にて就職しました。令和4年度においても一人でも多くの利用者が就職出来るよう支援していきます。

### 4. 就労定着に向けた専門的な支援

平成30年10月1日より開始となった就労定着支援事業であるが、定着支援の効果と思われる定着率が100%になっており令和3年度6名、令和4年度は1名が加わる予定となっております。今後も就職者の定着に向けて支援していきます。就労定着支援事業の指定を受け実績を増すことで、就労移行支援を希望する利用者さんが増えていることは事実であるように思われます。

### 5. 虐待防止等

打ち合わせ時や会議時に、職員間で虐待防止法の周知を図り、虐待を行わない、見逃さない、放置しないという基本的姿勢の確認を繰り返し行いました。

【 利 用 状 況 】

就労継続支援B型事業 定員 34名

1. 年間延べ利用人員 8,712 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 105.45 % ( 目標稼働率 : 103% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	155	126	153	142	147	142	147	140	139	133	127	150	1,701
区分 3	202	170	211	188	195	200	212	191	193	175	173	207	2,317
区分 4	219	195	230	205	211	230	241	227	225	194	181	224	2,582
区分 5	21	18	22	20	18	20	21	20	20	19	17	21	237
未申請	160	135	163	151	175	176	168	148	157	144	142	156	1,875
合計	379	322	390	353	373	384	395	363	367	333	320	379	8,712

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
契約解除者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
月末契約者数	41	41	40	40	43	44	43	42	42	41	41	41	+ 1

就労移行支援事業 定員 6名

1. 年間延べ利用人員 1,397 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 95.82 % ( 目標稼働率 : 100% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	9	13	15	17	20	39	0	0	0	0	0	0	113
区分 3	20	17	21	16	19	17	20	19	19	18	17	20	223
区分 4	21	16	18	20	16	0	0	0	0	0	0	0	91
区分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	100	89	101	84	75	43	85	78	84	68	76	87	970
合計	150	135	155	137	130	99	105	97	103	86	93	107	1,397

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	1	7
契約解除者数	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	5
月末契約者数	8	8	8	9	7	5	5	5	5	5	5	5	+ 2

若葉園(全事業合計) 定員 40名

1. 年間延べ利用人員 10,109 名
2. 年間稼働日数 243 日
3. 年間稼働率 104.00 % ( 目標稼働率 : 100% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	164	139	168	159	167	181	147	140	139	133	127	150	1,814
区分 3	222	187	232	204	214	217	232	210	212	193	190	227	2,540
区分 4	240	211	248	225	227	230	241	227	225	194	181	224	2,673
区分 5	21	18	22	20	18	20	21	20	20	19	17	21	237
区分 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	260	224	264	235	250	219	253	226	241	212	218	243	2,845
合計	907	779	934	843	876	867	894	823	837	751	733	865	10,109



5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	6	11
契約解除者数	0	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	6
月末契約者数	49	49	48	49	50	49	48	47	47	46	46	46	+ 5

就労定着支援事業

- 年間延べ利用人員 71 名
- 年間稼働日数 12 日以上
- 年間稼働率 100.00 % ( 目標稼働率 : 100% )
- 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	5	5	6	7	7	7	6	5	5	6	6	6	71

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

就労継続支援B型事業

曜日	午前	午後
月	出勤押印確認：生産活動	生産活動
火	出勤押印確認：生産活動	生産活動
水	出勤押印確認：生産活動	生産活動
木	出勤押印確認：生産活動	生産活動
金	出勤押印確認：生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

就労移行支援事業

曜日	午前	午後
月	出勤押印確認：生産活動	生産活動
火	出勤押印確認：生産活動	生産活動
水	出勤押印確認：生産活動	生産活動
木	出勤押印確認：生産活動	生産活動
金	出勤押印確認：生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	862,050	724,205	863,150	789,055	845,850	869,330	899,365	820,185	828,300	755,435	732,050	874,925	2,717,419	12,581,319
1人平均月額	21,551	18,569	22,714	20,765	22,259	21,203	21,936	21,030	21,238	19,370	20,335	22,434	66,279	26,640

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	184,770	171,205	193,715	144,405	130,645	97,270	132,345	121,970	130,895	99,980	115,505	133,845	408,925	2,065,475
1人平均月額	23,096	21,401	24,214	20,629	21,774	24,318	26,469	24,394	26,179	19,996	23,101	26,769	81,785	30,344

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R3. 04. 26	感染症予防マニュアルについて	サービス管理責任者	職員8名
R3. 06. 30	感染症のBCPについて	管理者・サービス管理責任者	職員7名
R4. 07. 07	AEDの使用方法	サニクリーン	職員8名
R3. 08. 26	コンプライアンス研修	統括施設長	職員10名
R3. 10. 7・8	人事考課規程改正研修	法人担当職員	職員3名
R3. 10. 22	恵泉会職員研修大会	職員発表（2名）	職員17名
R3. 10. 27	障がい者虐待防止研修	統括施設長	職員9名
R4. 02. 18	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長・統括施設長	職員1名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 05. 18	安全運転管理者法定講習	宮城県公安委員会	石巻市	職員1名
R3. 06. 22	就労関係事業所連絡会	迫公民館	登米市	職員1名
R3. 10. 20	就労関係事業所連絡会	法人本部	登米市	職員1名
R4. 02. 14	サービス管理責任者更新研修	県社協	仙台市（Web）	職員1名
R4. 02. 18	「ゆい」研修事業	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職 員 会 議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	毎月第4木曜日	全職員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随 時	スタッフ会議	支援員室他	各班チーフ責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証、虐待防止、苦情処理対応検討	随 時	若葉園職員 8名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随 時	若葉園職員 5名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関することを検討	随 時	若葉園職員 6名
事業所利用検討委員会	利用希望の方について検討	随 時	若葉園職員 6名
防災委員会	消防計画に基づき防災について検討	随 時	若葉園職員 8名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R3. 04. 09	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R3. 04. 19	女川高等学園生徒ほか	事業所見学	3名
R3. 05. 11	迫支援学校高等部生徒・家族	事業所見学	2名
R3. 05. 27	利用希望者ほか	事業所見学	2名
R3. 06. 07	利用希望者ほか	事業所見学	3名
R3. 08. 03	迫支援学校教員	卒業生状況確認	1名
R3. 08. 04	迫支援学校高等部生徒ほか	事業所見学	2名
R3. 08. 05	小牛田高等学園教員	卒業生状況確認	1名
R3. 11. 15	迫支援学校高等部生徒ほか	事業所見学	3名
R3. 12. 14	登米総合産業高校福祉科生徒・教員	事業所見学・手作りパン教室（起業実践）	18名
計			37名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
R3.06.07	迫支援学校高等部 (10日間)	産業現場実習	3 名	30 名
R3.10.11	迫支援学校高等部 (10日間)	産業現場実習	3 名	30 名
計			6 名	60 名

【今後の取り組み】

1. 個別支援の充実
  - ・サービス等利用計画に基づき、利用者の希望や意向に添った目標を設定し、身体状況や特性、社会的環境に配慮した支援計画を立案します。また、定期的にモニタリングしながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図ります。
2. 工賃の向上
  - ・新商品開発はもとより、商品製造の増産体制、販路拡大を図ります。
  - ・利用者に対し、各種作業の工程や技術を身につけるよう支援します。
  - ・職員は、各種作業の専門的知識習得のため、自己研鑽に努めます。
  - ・コスト意識の浸透を図り、経費削減に取り組み、無駄を無くすよう努めます。
  - ・工賃向上計画に基づき、作業する達成感、責任感が得られるように幅広い作業提供を実施し、工賃支給を継続させます。
3. 就労支援体制のさらなる充実
  - ・希望に沿った就労が出来るよう、日々の作業を通して、働くうえで必要な資質の向上を図ります。
  - ・企業や関係機関と連携した支援体制を作ります。
4. 虐待防止等
  - ・障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等で示されている事を大事にして利用者支援を行います。
  - ・職員は利用者の権利を侵さないことはもちろん、積極的に擁護主体であるという自覚を持ち、基本的姿勢の確認をくり返します。
5. 新規事業の検討
  - ・新規の事業を検討するとともに、利用者の高齢化重度化を鑑み、他事業所と連携しながら今後のあり方等について検討します。

# 令和3年度 就労継続支援B型さくらワークス 事業報告

## 【施設概要】

1. 所在地 宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成19年1月1日
5. 利用定員 30名

## 【基本方針】

恵泉会 障害児者支援共通スローガン（令和元年度～令和3年度）

『いっしょに』 ～ あなたによりそう「けいせんかい」 ～

平成30年度より、恵泉会では障害児者支援に関わる全ての事業所、全ての職員が“恵泉会を利用する利用者のためのサービスを追求する”ことを目的に、障害児者のための「支援ワーキング」を組織しました。ワーキングでは、職員全員で同じ方向を向き、思いやりある喜ばれる支援の確立を目指して、将来に向けた事業課題や職員としての資質向上のための研修会などを実施しています。その中で、令和元年度に上記の「障害児者共通スローガン」を設定し、令和3年度までの中心目標として各事業所職員の連携および利用者同士の交流の推進・強化を図り、今年度は成果を追求する年と位置付けました。スローガンの『いっしょに』に込められた意味は、「あなたとわたし」「利用者さんと職員」「利用者さん同士」「職員同士」など、大切な誰かと私を意識し、一緒にその人らしい暮らしやその人に合った生活を応援していこうと考えるものです。その人の傍らには、必ず優しくよりそう さくらワークス があるという地域から愛され続ける事業所でいられるよう、職員一人ひとりはこのスローガンを意識し、振り返り、自己啓発につなげてきました。

事業の実施にあたっては、障害者総合支援法等関係法令及び恵泉会理念に沿った運営を基本としながら、利用者の基本的人権を尊重し、利用者個々の有する能力及び適性を十分考えながら、社会的自立と就労支援を中心に就労移行を目指しました。また、社会の一員として必要な知識、技術を習得させ、個性を尊重して安心して暮らせるための社会的役割を果たせるよう努めました。

- ①障害者総合支援法の中にある、自己決定と自己選択の尊重を基に、課題に対応したサービス提供体制を整えることで、希望する日中活動を保障します。
- ②利用者の社会的自立を目指し、就労移行、雇用に向けた支援を行います。
- ③グループホームの支援と連携します。

## 【重点項目に対する評価、成果】

○地域生活において重要な就労支援（生産活動の実施、職場規律の指導）。

生活支援（健康管理、相談支援、余暇支援）を柱に、利用者の状況に応じ適切かつ柔軟な対応を心がけ支援します。また、ここ数年で高齢・重度化が進んでいることから、支援体制の改善に向けた検討を進めています。

○利用者個々のサービス等利用計画に基づき、一人ひとりのニーズに合った個別支援計画を作成し、就労の意識を高めます。また、生活支援体制を整備しながら、サービスの量、質の充実に努めています。

- ①自立支援 … 生活活動、日中活動を通して、個別の状況に応じた対応から実際の生活の安定へとつなげられるよう努力しています。
- ②主体性の尊重 … 利用者が自己選択・自己決定できる機会を拡充し、本来有している能力がよい方向で発揮できるよう支援しています。
- ③就労支援 … 利用者の雇用及び就労移行业業へのステップアップに向けた支援を行っています。
- ④地域生活の充実 … 地域との連携を強めた活動を展開しています。
- ⑤家族支援 … 利用者自身はもとより、総合的な支援体制を整えるには、家族の協力が大切です。家族の安定が利用者の生活を支える基盤となる事から支援に対する理解を深めてもらうため、状況報告や情報提供を細やかに行っています。

### 1. 受託加工

・エスコアハーツ

給湯器解体・仕分け ◇受注量は年間を通じ一定レベルを確保しています。

### 2. 受託事業

軽作業（除草・草刈等） 56件  
登米市軽度生活援助作業 16件

3. 法人内受託作業  
 恵泉会法人本部 園庭・駐車所除草（4回） パルめぐみ 園庭・駐車所除草（4回）  
 萩風園 園庭周囲草刈り（2回） 南寿荘 周辺草刈り（1回）  
 光風園 支障木枝打ち、周辺草刈（2回） ゆりの郷 周辺草刈（4回）  
 ほんわか 畑耕運（1回） こじか 園庭除草、周囲草刈り（2回）  
 恵泉会体育館 草刈り（3回）  
 若草園 洗濯、園庭及び周辺草刈り（3回） 芝刈り（4回）  
 若生園 洗濯、園庭及び周辺草刈り、除草（2回） 庭木の剪定（1回）、  
 園庭側溝清掃（1回）

◇法人内の受託作業は、施設毎に見直ししながら今後も継続して行きます。

4. 法人内販売（微酸性電解水生成・販売）  
 恵泉会法人本部、若生園

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,730 名  
 2. 年間稼働日数 242 日  
 3. 年間稼働率 92.70 %  
 4. 年間平均区分 3.09  
 5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	125	108	131	115	120	120	120	117	112	110	125	147	1,450
区分 3	252	212	268	251	249	254	267	244	251	235	229	270	2,982
区分 4	165	141	175	159	184	178	185	171	176	167	129	170	2,000
区分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	542	461	574	525	553	552	572	532	539	512	483	587	6,432
非該当	40	35	41	35	17	19	19	20	18	19	15	20	298
計	40	35	41	35	17	19	19	20	18	19	15	20	298
合計	582	496	615	560	570	571	591	552	557	531	498	607	6,730

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末契約者数	28	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	+ 1

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

曜日	午 前	午 後
月	出勤確認：作業	作業
火	出勤確認：作業	作業
水	出勤確認：作業	作業
木	出勤確認：作業	作業
金	出勤確認：作業	作業
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計（年間）
月別合計	413,480	350,295	438,545	405,570	411,930	420,660	426,090	393,560	397,590	382,925	355,680	436,170	1,449,129	6,281,624
1人平均月額	14,767	12,511	15,122	13,985	14,204	14,506	14,693	13,571	13,710	13,204	12,265	15,040	49,970	217,548
													1人あたり	18,129

【利用者サービスの向上】

1. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	利用者の状況確認報告並びに援助対策検討	毎月最終木曜日	統括施設長・事務員他全職員

(2) その他の会議

会議名	内容	開催日	参加職員
担当者会議	利用者個々の今後の支援について検討	随時	グループホーム職員・相談支援担当・サービス管理責任者

2. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
身体拘束廃止適正化委員会	身体拘束や虐待等無く適切に支援がなされているか検討	3ヶ月に1回	さくらワークス職員7名
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証・虐待防止、苦情処理対応検討	随時	さくらワークス職員7名
サービス向上委員会	サービス支援評価、工賃アップ向上等評価検討	随時	さくらワークス職員7名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随時	さくらワークス職員7名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関すること	随時	さくらワークス職員7名
感染予防委員会	利用者の衛生管理と感染予防に対する実践対策、研修	随時	さくらワークス職員7名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
計			0名	0名

【今後の取り組み】

○地域生活において重要な就労支援（生産活動の実施、職場規律の指導）・生活支援（健康・相談援助・職場規律）を軸として、利用者個々の状況に応じた支援を誠意を持って行って参ります。また、地域で働く職業意識も高揚させながら、地域との関わりやグループホームとの連携、家族との相互理解を深めていきます。

○個別支援計画を作成する上でのアセスメント・モニタリング等を実施し、①自立支援②主体性の尊重③就労支援④地域生活の充実⑤家族支援等を中心としたニーズを発掘し、その人らしい暮らしの実現に向けて行きます。また、高齢・重度化に伴う身体的・精神的な配慮を含めた部分も支援計画に結び付けます。更に、関係事業所(若葉園)との協議、連携を図ります。

1. 受託加工事業について、(株)リハーツ東北の(給湯器解体作業)を中心に行ってまいりましたが、コロナウィルスの影響で業績が下がり、また、会社の方針と合わなくなってしまったことから終了となる見込みです。現在新しい作業を開拓中です。
2. 受託事業について、軽作業(一般作業、窓掃除、草刈り、支障木伐採等)の請負、特に地域や一般からの請負について依頼が多く、時期によっては多忙な状況となり作業の受け入れ調整が必要です。また、登米市の軽度生活援助事業を法人として受託し、東和地区を限定とした利用者の地域ニーズも加味しながら継続し、さらに岩手県アーク牧場の作業委託を受け(除草・運搬等)1年を通しての利用者支援、人材育成も含めながら継続した事業を推進していきます。
3. 法人内受託作業について、若草園、若生園、南寿荘、パルめぐみ、こじか園、ほんわか、光風園、ゆりの郷、萩風園等数施設から、除草、草刈り、芝刈り等を受託し、各事業所の協力を得ながら計画的に取り組めます。
4. 法人内販売について、微酸性生成電解水を販売しています。法人内施設(恵泉会事務局支援棟1階、若生園)の利用実績と収益に結びつけます。コロナウィルスへの効果は期待できませんが、他の感染症や衛生処理に効果的であるという実績を持って今後も販売します。

# 令和3年度 多機能サポートセンターこじか 事業報告

## 【施設概要】

1. 所在地 登米市中田町上沼字大柳117番地2
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成23年4月1日
5. 利用定員 指定障害児通所支援事業  
・児童発達支援（未就学児） 10名  
・放課後等デイサービス（就学） 10名  
・保育所等訪問支援 定員区分なし  
指定障害者生活介護事業「レポス」  
・指定生活介護 10名  
指定障害児相談支援事業（児童サポートセンター「バンビ」）  
・指定障害児相談支援 定員区分なし  
・指定特定相談支援（計画相談定員区分なし）  
登米市および石巻市地域生活支援事業  
・障害児日中一時支援事業 20名（障害児通所支援契約者を主とする）

旧こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成23年度からは指定管理施設として、質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行ってまいりました。その後、登米市や計画相談支援事業者からの指導および協力により、障害児相談支援ならびに保育所等訪問支援についても、効果的な事業推進が図られるよう努め、実績も着実に伸びる状況となりました。

そして令和3年3月をもって登米市の指定管理施設から外れ、4月より運営主体が恵泉会へ移行となり、新たに生活介護事業所「レポス」を開設して「多機能サポートセンターこじか」と名称を改めてリニューアルしました。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本とし、生きる力と意欲ある生活ができる療育訓練や生活介護の実践に努めました。心の安定や見通しを持った行動、期待して待つこと、挑戦する意欲など、周囲の環境変化についても少しずつ克服できる力を養い、園外での体験療育の機会も増やしております。

また、家族参加型行事については、「家族と共に考える子育て」を目標とし、「恵泉会地域生活支援センター」との合同企画行事である、家族・支援者向けセミナー（通称：ペアレントプログラム）の開催も行いました。

## 【重点項目】

1. ㊦ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。

個々の障害特性等に応じた支援を強化するため、個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のサポートチームを編成し療育プログラムを作成しました。子供たち一人ひとりの「できる」「できた」を大切にしながら、今後もより専門的なサポートを目指して参ります。

◇モニタリング件数	・・・	児童発達支援	52件	、	放課後等デイサービス	84件
（継続障害児支援利用援助）		保育所等訪問	43件	、	障害児相談支援	61件
◇個別支援計画作成数	・・・	児童発達支援	42件	、	放課後等デイサービス	83件
（障害児支援利用計画）		保育所等訪問	43件	、	障害児相談支援	52件
◇サポート検討(会議)	・・・	児童発達支援	55件	、	放課後等デイサービス	84件
（ケアカンファレンス）		保育所等訪問	50件	、	障害児相談支援	56件
◇職員向けアンケート(運営・サービス・行事分野)	・・・	達成度評価(11月実施)				

2. ㊦ 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。

3つの力を伸ばしていけるよう、活動内容に合わせて個別・小集団・全体といった様々な活動形態を日々取り入れて活動しました。また、就学児においては、自主研修外出として、同じ分野に興味関心のある児童がグループをつくり、研修場所や研修内容を自分たちで企画・相談し、社会体験のための外出を実施しました。

◇個別活動	・・・	生活訓練、自立課題、学習補習、作業訓練、機能訓練
◇小集団活動	・・・	粗大運動、音楽療法、園芸活動、からだづくり(運動訓練)
◇全体活動	・・・	はじまりの会、かえりの会、リズム活動、各種行事
◇自主研修	・・・	実施回数 10回、参加児童 63名

3. ㊦ 家族の「想い」、家族と一緒に「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

ご家族や関係機関など、子供たちや施設に関わりのある方々や機関とのつながりを大切にしながら療育を進めました。家族参加型行事の充実や保護者・支援者向けセミナー（こじ豆）の実施など、年間を通じて企画・実践いたしました。また、保護者が自由に集い情報交換や親交を深められる場（通称：こじカフェ）を設定し、定期開催させていただきました。

◇参加交流行事・・・療育参観、親子遠足、タペのつどい、親子レクゲームなど  
実施回数…10回（家族等参加延べ人数 150名）

◇こじカフェ・・・実施回数…1回 営業日に実施（延べ7名利用）

◇家族・訪問先アンケート（運営・サービス・行事分野）…12月（家族）、2月（訪問先）実施、満足度評価

【 利 用 状 況 】

≪ 多機能型事業、障害児相談支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員 6,013 名 (多機能型事業) ※児童発達支援+放課後等デイサービス+生活介護
2. 年間稼働日数 239 日 (児童発達支援)  
254 日 (放課後等デイサービス)  
242 日 (保育所等訪問支援)  
242 日 (障害児相談支援/バンピ)  
308 日 (生活介護/レポス)
3. 年間稼働率 107.97 % (障害児通所支援事業) ※児童発達支援+放課後等デイサービス  
(94.98) % (児童発達支援) 定員 10 名  
(120.20) % (放課後等デイサービス 定員 10 名  
11.2 件 (保育所等訪問支援 月平均訪問件数)  
10.8 件 (障害児相談支援/バンピ 月平均提出件数)  
0.9 件 (障害児相談支援/バンピ 月平均提出件数)  
(22.40) % (生活介護/レポス) 定員 10 名

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	128	164	199	183	170	193	207	205	196	200	195	230	2,270
放課後等デイサービス	194	261	273	273	237	273	261	273	248	240	242	278	3,053
保育所等訪問支援	0	10	18	16	0	15	14	18	14	18	6	5	134
障害児相談支援	13	15	16	11	11	6	12	9	8	8	10	11	130
障害者相談支援	2	1	3	0	0	3	0	0	0	1	1	0	11
生活介護	0	0	21	51	68	77	74	81	78	70	69	101	690
計	337	451	530	534	486	567	568	586	544	537	523	625	6,288

5. 契約の状況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数 (児童発達支援)	11	2	1	2	1	0	2	1	1	1	0	0	2	24
契約者数 (放課後等デイ)	39	3	1	1	1	0	0				0	0	0	45
契約者数 (保育所等訪問)	20	0	2	0	1	0	0	1			0	0	0	24
契約者数 (レポス)		0	2	2	3	0	2				0	1	1	11
契約者数 (相談支援)	47	0	1	1	0	0	0		1	1	0	0	2	53
契約終了者数 (児童発達支援)													6	6
契約終了者数 (放課後等デイ)														0
契約終了者数 (保育所等訪問)													2	2
契約終了者数 (レポス)														0
契約終了者数 (相談支援)														0
月末契約者数	117	122	129	135	141	141	145	147	149	151	151	152	149	149



【療育サービスの状況】

1. 療育支援サービス

(1) 年間行事

① 児童発達支援

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 5. 28	からだづくり	長沼フートピア公園へ行き、散歩や遊具を利用し、体を動かして遊んでいます。	児童 9名 職員 9名
R3. 7. 7	七夕会	七夕飾りの製作や行事についてパネルシアターを用いて七夕の由来を学習。	児童 7名 職員 6名
R3. 7. 9	親子体験療育 ※(海)の予定が中止	(南三陸町サンオーレ袖浜)での活動が悪天候のため中止となり、こじかホール内などでの体験療育となりました。保護者の方にも活動を一緒に体験してもらうことで療育への理解を深めてもらっています。	家族 4名 児童 9名 職員 6名
R3. 8/30~9/3	夏祭り(中止) ※療育活動内で1週間かけて「夏祭りごっこ」を実施する。	地域の幼稚園や保育所で経験するような「お祭り」行事を体験させたいという保護者の希望を汲み取り、8/28に企画したが、コロナ蔓延の兆候が見られたため、「夏祭り」については中止としています。その代わりとし療育活動の中で、ゲームコーナーなど職員で行ってお祭り体験してもらい、夏祭り記念品(お土産)だけ渡しています。	家族 0名 児童 16名 職員 13名
R3. 9. 17	親子体験療育(山/公園)	保護者やお友達と一緒に山の景色を楽しみました。また保護者の方にも活動を一緒に体験してもらうことで療育への理解を深めてもらいました。(登米市石越町 チャチャワールドいしこし)	家族 3名 児童 3名 職員 3名
R3. 10/4~10/15	療育参観	利用児童のご家族に児童の園での様子を見ていただくと共に、保護者と職員間の交流を図りました。またこじかでの療育について理解を深めてもらいました。	児童 19名 家族 15名 職員 13名
R3. 10. 29	第2回恵泉会フェスティバル	障害者施設合同で実施したWEB方式での「恵泉会フェスティバル(プチフェス)」に参加、舞台にてダンスなど披露しました(こじかホール)	児童 10名 家族 0名 職員 10名
R3. 11. 5	親子体験療育(からだづくり)	保護者やお友達と一緒に療育体験してもらうことで、療育への理解を深めてもらいました。(石巻市石ノ森漫画館)	家族 5名 児童 5名 職員 3名
R3. 12. 17	クリスマス会	クリスマスツリーの飾り付けや、サンタからプレゼントをもらいクリスマスの雰囲気を味わいました。	児童 13名 職員 9名
R4. 2. 3	豆まき会	節分の由来や歌に触れました。各自製作した鬼のお面をかぶり鬼へ豆まきをすることで、楽しみながら節分の雰囲気を味わいました。	児童 12名 職員 12名
R4. 3. 3	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、顔出しパネルを活用して、写真撮影を行いました。また職員の余興で利用児を喜ばせました。	児童 11名 職員 9名
R4. 3. 5	卒園セレモニー	1年間のまとめの行事として実施。思い出DVDの上映、記念品の贈呈、学習成果の発表。(感染症の蔓延防止のため規模を縮小して開催)	児童 6名 家族 9名 職員 10名

② 放課後等デイサービス

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 7. 7	七夕会	七夕の行事に関心を持ち、七夕にちなんだ紙芝居や飾りをみて楽しみました。	児童 17名 職員 9名
R3. 8. 4	社会研修(館ヶ森アーク牧場)	公共のルールやマナーを守りながら様々な社会経験を通じて、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	児童 6名 職員 4名
R3. 8. 5	〃	〃	児童 5名 職員 4名
R3. 8. 9	〃	〃	児童 7名 職員 4名
R3. 8. 10	〃	〃	児童 4名 職員 4名
R3. 8. 13	〃	〃	児童 3名 職員 3名
R3. 8. 17	〃	〃	児童 5名 職員 4名

R3. 8. 18	〃	〃	児 童 6名 職 員 4名
R3. 12. 24	クリスマス会	クリスマスツリーの飾り付けをいっしょに行い、DVDを上映して1年間の振り返りを行いました。またレポス利用者とも合同で行事を実施しました。	児 童 15名 職 員 8名
R4. 2. 3	豆まき会	鬼をモチーフにした小物入れを製作した後、〇×ゲームを行いました。	児 童 11名 職 員 10名
R4. 3. 3	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、顔出しパネルを活用して、写真撮影を行いました。	児 童 14名 職 員 6名

③ レポス

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 7. 23	あじさい見学	季節の花を観賞しながら気分転換を図り、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	利用者 2名 職員 1名
R3. 10. 29	第2回恵泉会フェスティバル	障害者施設合同で実施したWEB方式での「恵泉会フェスティバル(プチフェス)」に参加、抽選会時の盛り上げに貢献しました。(こじかホール)	利用者 3名 職員 2名
R3. 11. 5	紅葉見学	紅葉観賞しながら気分転換を図り、仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました。	利用者 3名 職員 1名
R3. 12. 24	クリスマス会	活動時にクリスマスツリーを松ぼっくりで作成、行事は放デイ利用児といっしょに、DVDを上映して1年間の振り返りを行いました。	利用者 4名 職員 3名
R4. 01. 24	新年会	今年1年、健康で元気に過ごせるよう、利用者と職員が一緒になって新年をお祝いしました。	利用者 5名 職員 3名
R4. 2. 3	豆まき会	鬼をモチーフにした小物入れを製作した後、〇×ゲームを行いました。	利用者 4名 職員 3名
R4. 3. 3	ひなまつり会	伝統行事の意味や由来を知り、顔出しパネルを活用して、写真撮影を行いました。	利用者 5名 職員 3名

【その他の児童サービス】

≪ 登米市日中一時支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員 1,418 名
2. 年間稼働日数 305 日
3. 年間稼働率 23.25 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日 中 一 時	4時間未満	77	51	76	133	183	73	49	61	93	86	46	128	1,056
	4～6時間	1	5	1	2	8	6	2	3	0	11	0	13	52
	6～8時間	18	24	21	32	31	25	26	24	29	21	22	20	293
	8時間以上	3	4	2	1	3	0	2	1	0	0	1	0	17
	送迎	44	50	120	132	135	75	68	63	98	57	35	77	954
合 計(送迎含まず)		99	84	100	168	225	104	79	89	122	118	69	161	1,418

【療育サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修(こじか主催・実施関係)

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R3. 05. 11	コンプライアンス研修(虐待防止法の理解と対応)	施設長	こじか職員 19名
R3. 05. 7	こじかペアレント・プログラム① 職員向け	地域生活支援C職員	こじか職員 4名
R3. 05. 14	こじかペアレント・プログラム②	〃	地域生活支援C職員 こじか職員 4名
R3. 05. 19	こじかペアレント・プログラム③	〃	地域生活支援C職員 こじか職員 4名
R3. 05. 28	こじかペアレント・プログラム④	〃	地域生活支援C職員 こじか職員 4名
R3. 06. 30	法人内 内部管理体制の基本方針 報告	施設長	こじか職員 13名
R3. 07. 16	こじかペアレント・プログラム① 保護者向け	地域生活支援C職員 こじか職員	保護者等 4名
R3. 07. 30	こじかペアレント・プログラム②	〃	地域生活支援C職員 こじか職員 保護者等 5名
R3. 08. 10	こじかペアレント・プログラム③	〃	地域生活支援C職員 こじか職員 保護者等 6名

R3.08.27	こじかペアレント・プログラム④	〃	地域生活支援C職員 こじか職員	保護者等 4名
R3.09.10	こじかペアレント・プログラム⑤	〃	地域生活支援C職員 こじか職員	保護者等 5名
R3.09.24	こじかペアレント・プログラム⑥	〃	地域生活支援C及川 氏、こじか 三瓶・阿 部	保護者等 3名
R3.07.20	アンダーコントロールについて (家康の遺訓 他)		施設長	こじか職員 11名
R3.08.27	R 3 年度 発達障害者支援セミナー報告		施設長	こじか職員 12名
R3.09.29	リフレーミング「自分を知らう」について		施設長	こじか職員 8名
R3.11.17	障害者虐待防止の組織的な取組みについて		管理者	こじか職員 9名
R3.12.15	学校で取り組めるこだわりとつまずきのためのアセスメントと方向付け		施設長	こじか職員 15名
R4.01.21	感染症対策について		准看護師	こじか職員 12名
R4.02.16	新型コロナウイルス濃厚接触者の待機期間等について		施設長	こじか職員 12名
R4.03.16	コンプライアンス研修 (社会的責任を果たす上での根幹)		施設長	こじか職員 11名

(2) 内部研修 (法人本部主催・実施関係)

年月日	内 容	講師 (講演者)	参加者
R3.9/9~9/10	人事考課規程改正研修		職員4名
R3.10.22	第42回 恵泉会職員研修大会(web)		職員19名
R4.02.18	恵泉会職員フォローアップ研修		職員1名

(3) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R3.8.18	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	利府こども発達 支援センター内 (さわおとの 森)	WEB方式 利府 WEB方式 富谷	職員1名
R3.8.21				
R3.8.25				
R3.8.28				
R3.8.21	宮城県障害者相談支援従事者現任研修	宮城県社協	仙台市	職員1名
R3.9.22	介護技術ステップアップ講習会	宮城県社協	仙台市	職員1名
R3.9.28	登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R3.10.26	登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R3.11.8	クレーム対応研修	宮城県社協	仙台市	職員1名
R3.11.9	登米市障がい福祉支援者サポート事業	登米市福祉事務所	登米市	職員2名
R3.11.25				
R3.11/20,21	宮城県障害者相談支援従事者現任研修	宮城県社協	仙台市	職員2名
R3.11.30	感染症予防WEB研修	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R3.12.4	宮城県障害者相談支援従事者現任研修	宮城県社協	仙台市	職員2名
R3.12.18	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	宮城県保健福祉部	仙台市	職員1名
R3.12/20,21	宮城県児童発達支援管理責任者等基礎研修	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R4.1/15,16	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	宮城県保健福祉部	仙台市	職員1名
R4.2.14	宮城県サービス管理責任者等現任WEB研修	宮城県社協	WEB方式	職員1名
R4.3.15	第23回福祉セミナー	宮城県社協	WEB方式	職員2名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
スタッフ会議	月間予定, 事業方針・内容の調整協議	毎月1回	全職員対象
ケアカンファレンス	療育や支援に関する調整・協議 個別支援計画に関する確認	随時	全職員対象

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
随 時	行政機関連携会議 (市教委, 福祉事務所 他)	こじか 他	担当職員
随 時	登米市障害者自立支援協議会 (部会, 研修, 全体会)	登米市福祉事務所ほか	施設長
年 7 回	相談支援事業者 事例検討会	こじか 他	相談支援専門員
年 2 回	中田中学校区連絡会	ふれあいセンター他	児発管, 担当職員
随 時	新田中学校 連携会議	新田中学校	児発管, 担当職員

随時	迫支援学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	南方保育所 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	中田保育所 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	さくら幼稚園 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	東郷幼稚園 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	石越小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	米岡小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	浅水小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	上沼小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	佐沼小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	東郷小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	加賀野小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	南方小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	豊里小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
随時	西郷小学校 連携会議	こじか 他	児発管、担当職員
不定期	障害児教育相談連絡会	迫支援学校	児発管、担当職員

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故原因の分析・改善，サービス提供時におけるリスクの評価・検討	年12回	管理者，委員，関係職員
サービス向上・研修委員会	施設サービス向上のための検証・改善研修計画の立案と実施	随時	管理者，委員，関係職員
防災委員会	非常災害時に備えた計画の整備や訓練活動の企画・実施	年11回	管理者，委員，関係職員
虐待防止委員会	身体拘束に関する廃止の取り組み、人権侵害や虐待等の予防対策の検討、検証	随時	管理者，委員，関係職員

#### (2) その他の委員会

- 障害児者支援ワーキング部会
- 事務部会
- 看護師部会
- 栄養士部会
- 地震防災対策委員会

### 【施設機能の開放】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
R3.04.02	迫支援学校教諭	施設見学	2名
R3.04.05	保健師（登米市迫町）	施設見学	1名
R3.04.09	レポス希望のTさん母親	施設見学	1名
R3.04.12	迫支援学校教諭	施設見学	1名
R3.04.14	「にこまる」	施設見学	2名
R3.05.11	保健師	施設見学	1名
R3.05.12	迫支援学校教諭	実習打合せ	1名
R3.05.20	関空間、E I S	施設改築に向けての視察	3名
R3.05.24	レポス希望のSさん父親	施設見学	1名
R3.05.25	仙台白百合女子大学教授	実習生巡回指導	1名
R3.05.31	保健師	利用児童様子見学	1名
R3.06.02	レポス希望のOさん母親	施設見学	1名
R3.06.04	保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	3名
R3.06.05	レポス希望のAさん母親	施設見学	1名
R3.06.07	宮城県東部児童相談所気仙沼支部	施設研修	3名
R3.06.08	迫支援学校校長	実習生巡回指導	1名
R3.06.11	尚綱学院大学教授	実習生巡回指導	1名

R3.06.11	迫支援学校校長	実習生巡回指導	1名
R3.06.11	レボス希望のSさんご両親	施設見学	3名
R3.06.14	保健師	利用児童様子見学	1名
R3.06.28	「虹色こども園」先生方	利用児童様子見学	2名
R3.06.28	保健師	利用児童様子見学	1名
R3.06.29	東北福祉大学教授	実習生巡回指導	1名
R3.07.01	迫支援学校教諭	実習打合せ	1名
R3.07.01	仙台医療秘書福祉専門学校	実習生巡回指導	1名
R3.07.01	レボス希望のOさん父親	施設見学	1名
R3.07.02	レボス希望のSさん、GH職員2名	施設見学	3名
R3.07.08	中田の保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R3.07.13	豊里の保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	3名
R3.07.26	迫支援学校教諭	施設見学	20名
R3.08.02	迫支援学校教諭	情報交換会	4名
R3.08.03	迫支援学校教諭	情報交換会	4名
R3.08.06	迫支援学校教諭、ひだまりポッケ職員	情報交換会	4名
R3.08.12	ウィズ・ユ一栗原	新規事業所のご挨拶	2名
R3.08.16	保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	4名
R3.08.19	宮城学院女子大学教授	実習生巡回指導	1名
R3.08.19	保健師	利用児童 実態調査	1名
R3.08.24	保健師	連携会議	1名
R3.08.24	中田保育所（所長、教諭）	連携会議	2名
R3.09.02	保健師	利用児童 実態調査	1名
R3.09.02	レボス希望のHさん両親	施設見学	2名
R3.09.07	聖和短期大学教授	実習生巡回指導	1名
R3.09.07	社協関係の方々	レボス見学	5名
R3.09.10	レボス希望のIさん両親	レボス見学	2名
R3.09.17	誠真短期大学教授	実習生巡回指導	1名
R3.10.05	仙台こども専門学校	実習生巡回指導	1名
R3.10.21	保健師	施設見学	1名
R3.11.04	(株)バルテックジャパン	通信関係視察	1名
R3.11.10	南方保育所 保育士	施設見学	2名
R3.11.16	保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	3名
R3.11.29	仙台大学	実習生巡回指導	1名
R3.12.06	保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R3.12.17	児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R3.12.22	保健師	利用児童様子見学	1名
R4.01.13	保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	3名
R4.01.19	保健師	利用児童様子見学	1名
R4.01.24	迫の保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	3名
R4.01.25	アウトリーチ事業関係者	ハンドベル披露打合せ	3名
R4.01.26	レボス希望のIさん母親、姉	レボス見学	2名
R4.02.08	保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R4.02.10	保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	2名
R4.03.09	ペアレントメンター事業 参加者	ペアレントメンター研修会	6名
R4.03.15	迫の保健師、児童施設希望のご家族	施設見学	3名
計			139名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
R3.05.10	仙台白百合女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R3.05.24	仙台青葉学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R3.06.07	尚綱学院大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R3.06.21	東北福祉大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R3.06.28	仙台医療秘書専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R3.08.16	宮城学院女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
R3.08.30	聖和学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
R3.09.13	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名

R3.09.27	仙台こども専門学校	保育実習(5日間) 観察・演習	2名	10名
R3.11.22	仙台大学	保育実習(14日間) 観察・演習	1名	14名
計			14名	134名

## 【今後の取り組み】

### 1. 【令和4年度に向けて】

◎「児童発達支援センターこじか」は、平成23年から登米市の「こじか園」指定管理を受け、登米圏域において、療育が必要なお子さんに、適切で質の高い療育を提供できる拠点を目指して事業運営を行ってきました。

令和3年度からは登米市からの施設譲渡を受け、法人の持つ障害児者支援の専門性を活かし、登米市の障害者福祉計画にも掲げられている【だれもが笑顔で安心して暮らせるまちとめ】の実現に一翼を担う、多機能サポートセンターとして更なる発展を目指しています。

事業の根拠となる児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令を遵守し、恵泉会理念に基づいた運営を行うことで、地域での中核的な事業所として積極的に地域貢献に努めていきます。

具体的な事業内容は、

①児童発達支援センターとしてこれまで通り『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、将来に向けた生きる力を高め、意欲ある生活ができる療育訓練の実践し、『医療的ケア児』の受け入れにも適切かつ安全に対応できるよう体制を整えます。更に今年度は中核的な療育支援拠点として、切れ目のない継続的な相談・支援（保育所等訪問他）の提供、障害児サービス事業所とのネットワークづくりと機能強化支援として研修事業等、関係機関と連携していきます。

②生活介護事業所「レpos」では、18歳以上の方の日中活動の場として、利用者の声を受け止めながら、身体面・精神面・環境面等の状態に配慮し、個別支援計画に基づいて、生き生きとした楽しみのある生活が営めるサービスを提供します。そのために社会的・対外的活動を多く取り入れ、利用者が主体的に生きるための支援に努めることで生活の質の向上を目指します。

### 2. 【令和4年度 こじか 療育目標】

こじかでは、次の内容を療育目標と掲げ、子供たちの可能性を追求し、家族支援を強化して参ります。

- ㊦ 子供も大人も「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。
- ㊧ 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を尊重します。
- ㊨ 家族の「想い」、家族同士の「交流」を大事にします。

### 3. 【児童発達支援センターとしての役割】

- ◇ 障害種別に関わらない適切な障害児通所支援サービスの提供
- ◇ 身近な障害児支援の拠点となる地域支援サービスの提供
  - ① 地域の障害児やその家族へのサービス利用に関する相談支援
  - ② 家族や地域の保育施設・学校等教育施設への援助・助言
- ◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の強化

### 4. 【施設機能の解放】

- ・保育士養成に係る現場実習の受入（令和4年度受入予定…13名）
- ・学生の職場体験やキャリア教育、ボランティア受け入れに関する協力
- ・母子通園による施設開放および支給決定前の児童を対象とした体験療育「すくすく広場」の随時開催
- ・「こじカフェ」の設置
  - 保護者や地域で療育されている母子が自由に集う喫茶スペースを設置し、茶話会や図書貸し出し、ワークショップを開催します
- ・ご家族や保育施設等職員、障害児通所支援事業所職員等を対象としたセミナー（こじ豆）の実施
- ・障害児通所施設職員の療育実習受け入れや、中田町上沼地区の高齢者との交流機会の継続

# 令和3年度 南方保育所 事業報告

## 【 施設概要 】

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市南方町山成前1074-2 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 4. 開設年月日 | 昭和53年 4月 1日        |
| 5. 利用定員  | 70名                |

## 【 基本方針 】

- 0歳児 一人ひとりの生活リズムを把握し、落ち着いた環境の中でゆったり過ごし、信頼関係を築くことを大切にしました。子ども達の成長を保護者様と共有し、共に喜びながら過ごすことができました。
- 1歳児 身の回りのことを自分でやろうとする気持ちが育ち、できるようになることで子ども達の自信や意欲にも繋がりました。友達との関わりでトラブルが多く見られたが、子ども達の思いを受け止めながら、自分の言葉で思いを伝えられるように援助しました。
- 2歳児 友達を意識しながら遊んだり、行動したりできるように保育者間で声を掛け合いながら見守ったり、自分のやりたいことを安心して意欲的に取り組めるような環境づくりに努めました。一人ひとりが満足して生活を送ることができました。
- 3歳児 友達との関わりの中で意見や思いの違いからトラブルになることもあり、過程を見守ったり、必要に応じて保育者が仲立ちをするようにしました。身の回りのことが一人でできるようになった子が多く、子どもの成長を保護者様と共に喜びあえました。
- 4歳児 一人ひとりの子どもの思いや考えを尊重し、対話を大切にしました。その子らしい育ちを認め、受け入れ、理解するように努めました。約束や決まりが分かり、少しずつ気持ちをコントロールできるようになったり、褒められようとする気持ちが強くなるなど良い意識が高まるよう関わり、その成長が見られました。
- 5歳児 子どもの発達に適した保育内容を考え、保育にあたるように努めました。個人差があり、個別に支援を要する子への対応や保護者対応をしっかりと行い、各連携機関との情報共有に努めました。保育者間で連携を図り、把握に努め、友達同士の関わりを見守ることができました。小学校就学を意識しながら、最年長児として役割を自覚し過ごすことができました。

## 【 重点項目 】

1. 一人ひとりの生活リズムや気持ちや行動などを理解し、その子に合った関わり方や安心して過ごせるような環境づくりを行いました。
2. 子どもに寄り添い、安心できるような雰囲気を作ったり、言葉がけをするように意識しました。送迎の際、家庭での様子を聞き、個々に接することで落ち着いた保育を行い、個別に対応することでその子の発達に合った援助を行う事ができました。
3. 保護者様が保育所生活で気になっていること、不安に思っていることがあった際は必要に応じて面談を行い、対応しました。感染症拡大防止の為、地域交流はできなかったが、散歩などで出会う方々に挨拶をしたりし、積極的に地域の方々との関わりを持つように努めました。
4. 感染症拡大防止の為、外部研修は参加できなかったが、定期的に内部研修を行い、保育士として必要な知識について理解を深めることができました。

## 【 利用状況 】

1. 年間延べ利用人員 15,158 名
2. 月別利用状況 (名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	76	76	105	92	99	121	131	116	121	100	107	131	1,275
1歳児	155	153	233	211	162	220	222	190	210	172	168	227	2,323
2歳児	227	197	245	222	185	215	223	205	217	204	178	233	2,551
3歳児	298	252	343	296	252	295	309	298	294	243	214	279	3,373
4歳児	322	290	345	303	275	328	333	296	315	288	253	315	3,663
5歳児	171	149	189	170	153	173	176	158	175	142	138	179	1,973
計	1,249	1,117	1,460	1,294	1,126	1,352	1,394	1,263	1,332	1,149	1,058	1,364	15,158

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	64	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	69
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	64	68	68	68	69	69	69	69	69	69	69	69	69

【利用者サービスの状況】

1. 保 育

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数	
R3. 6. 29	翔裕園交流会	歌や踊りを披露し、翔裕園利用者の皆さんと体操やゲーム遊びをして楽しみました（オンラインで実施）	利用者	25名
			職員	3名
R3. 7. 30	おまつりごっこ	宮太鼓の演奏やゲームコーナーを用意し、お祭りの雰囲気を味わいながら楽しいひとときを過ごしました	利用者	64名
			職員	16名
R3. 9. 27	運動会ごっこ	はな、そら、ほし組の運動会ごっこを実施しました。かけっこや遊戯など体を動かす楽しさを味わいました	利用者	27名
			職員	10名
R3. 9. 29	運動会ごっこ	ゆき、にじ組の運動会ごっこを実施しました。広い体育館でのびのびとリレーやかけっこ、障害物競走などをして楽しみました	利用者	25名
			職員	8名
R3. 10. 1	運動会ごっこ	つき組の運動会ごっこを実施しました。広い体育館でのびのびとリレーやかけっこ、障害物競走などをして楽しみました	利用者	16名
			職員	6名
R3. 11. 5	保幼小交流会	小学校の子ども達とふれあい、小学校に期待を持てるようにしました	利用者	9名
			職員	2名
R3. 12. 4	お遊戯会	南方町環境改善センターにてお遊戯会を実施しました	利用者	68名
			職員	16名
R4. 3. 15	修了式・お別れ会	修了児をお祝いし、昼食は人気メニューを取り入れ、お別れ会を行いました	利用者	64名
			職員	17名
R4. 3. 26	修了式	令和3年度修了児のお祝いの会を行いました	利用者	9名
			職員	17名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3. 4. 23	新任職員研修	施設長・副主任	保育士 4名
R3. 6. 14	食物アレルギー研修	保育士	保育士 4名
R3. 6. 29	救命救急研修	副主任	保育士 4名
R3. 7. 21	プライバシー、個人情報保護研修	施設長	保育士 3名
R3. 12. 14	感染症予防研修	登米市民病院	保育士 8名
R3. 12. 21	感染症予防研修	登米市民病院	保育士 7名
R4. 2. 18	恵泉会職員フォローアップ研修	法人本部	保育士 1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員
給食会議（書面）	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	施設長、副主任保育士、委託業者



(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
随 時	ケース検討会議	事務室	職員全員
毎月1回	防災委員会	事務室	委員他
毎月1回	リスクマネジメント委員会	事務室	委員他
3ヶ月に1回	地域交流委員会、研修委員会	事務室	委員他
随 時	事業計画検討委員会	事務室	委員他

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年月日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R3. 10. 12~13	南方中学校	職場体験	10名

2. 実習受入状況

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
R3. 5. 10~21	尚綱学院大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R3. 7. 5~16	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
R3. 7. 26~8. 6	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅱ期	1名	10名
R3. 8. 16~27	尚綱学院大学	保育実習Ⅱ期	1名	10名
計			4名	40名

【今後の取り組み】

(1) 子どもの最善の利益を考慮

子どもたち一人ひとりの状態をしっかりと捉え職員同士で情報の共有をしながら、個々に合った保育を提供していきます。また、保育所での様子を保護者様にしっかりとお伝えし、共に子育ての楽しさを感じ、成長の喜びを感じられるようにしていきます。

(2) 養護と教育を一体的に行う

子ども一人ひとりを尊重し情緒の安定を図りながら、その年齢に応じた経験が積み重ねられていくように援助します。

(3) 保護者と地域の子育て家庭に対する支援

現段階で地域の方々に対しての子育て支援を検討し、地域の子育ての拠点となれるように発信していきます。

(4) 保育士の専門性の向上

感染症の状況に配慮しながら知識向上のため、外部研修にも積極的に参加します。また、内部研修をとおして、保育の基礎的知識を深めていきます。

# 令和3年度 事業所内保育所キッズつぼみ 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成28年 4月 1日       |
| 5. 利 用 定 員   | 19名               |

## 【 基 本 方 針 】

地域型保育事業所として事業所内保育の運営にあたっては、保育指針に基づき、それぞれの子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場として、子どもや保護者、地域、そしてそこで働く職員たちがお互いに育ちあえる場、安心して楽しく生活できる拠点にします。

## 【 重 点 項 目 】

- ( 1 ) 子育て、子育ての拠点として：新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、地域の方々に園を開放する事はできませんでした。感染症の流行に伴い、保健所の指導を受けながら感染症予防対策に努め、保護者様と連携を密にし、早期発見・早期治療を呼びかける事を継続して行いました。
- ( 2 ) 地域ニーズ：登米市の動向を視野に入れながら、保護者様のニーズを把握する様に努めました。
- ( 3 ) 保護者との連携：個々に応じた保育を行いながら、保護者様とお子様の成長を喜び合い、共に子育てを楽しめる保育に努めました。
- ( 4 ) 社会的使命感：事業所内保育所として法人で働く職員が安心してお子さんを預け、働くことができるように努めました。地域の方々には、保育所をご利用していただけるように今後も保育所のPRを継続して行っていきます。
- ( 5 ) 研修：内部研修に重点をおき、職員の知識向上に努めました。
- ( 6 ) 連携：登米市子育て支援課、登米保健所、嘱託医との連携を図り、保護者様に状況をしっかりと周知しながら感染症拡大防止に努めました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 4,687 名

2. 月別利用状況 (名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	7	17	63	70	86	107	104	102	99	93	110	166	1,024
1歳児	60	148	216	196	151	181	186	171	172	145	151	179	1,956
2歳児	47	121	166	149	129	158	178	171	165	126	132	165	1,707
計	114	286	445	415	366	446	468	444	436	364	393	510	4,687

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	19	0	2	1	1	0	1	0	0	1	1	1	27
退所者数	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
月末入所者数	19	19	21	21	22	22	23	23	23	23	24	25	25

【利用者サービスの状況】

1. 保 育

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.05.26	お楽しみ会	お友達と一緒に楽しい雰囲気の中でお話しシアターを見て楽しみました。	利用者 18名 職員 6名
R3.06.10	お楽しみ会 (歯磨き教室)	むし歯予防デーにちなみ、歯磨きに関するシアターを見せ、歯磨きの大切さを分かりやすく子どもたちに伝えました。	利用者 19名 職員 7名
R3.06.10	クッキング (おにぎり)	感染症拡大防止のため、個々のクッキングを楽しませ自分で作った物を食べる喜びを味わいました。	利用者 7名 職員 2名
R3.07.07	七夕会	七夕に向け、笹竹に七夕飾りをつけ玄関先に飾りました。また、子ども達に分かりやすく七夕の由来の人形劇を見せ、日本伝統行事を伝えました。	利用者 21名 職員 7名
R3.07.07	七夕クッキング	感染症拡大防止のため、個々にクッキングを行いました。星形に切り抜いたサラダを個々のお皿で混ぜ合わせ野菜の美味しさを味わいました。	利用者 8名 職員 2名
R3.08.26	夏祭り	夏祭りをとおして、友達や保育者と言葉のやり取りを楽しみ、お神輿を担いだり、お化け屋敷を廻ったりしながら楽しい時間を過ごしました。	利用者 22名 職員 8名
R3.08.11	クッキング (ちぎちぎサラダ)	野菜が苦手な子ども自分で作った物を食べる事で少しでも食べられる意欲に繋がれるように食育活動を行いました。	利用者 5名 職員 2名
R3.08.19	お楽しみ会	しかけのある紙皿シアターをお友達と一緒に楽しみながら見る事ができました。	利用者 22名 職員 7名
R3.08.31	クッキング (フルーチェ)	自分達でフルーツをのせたり、混ぜたりする事で食への関心を持たせるようにしました。	利用者 8名 職員 2名
R3.09.13	お楽しみ会	しかけのあるスケッチブックシアターをお友達と一緒に楽しみながら見る事ができました。	利用者 8名 職員 2名
R3.09.24	クッキング (おはぎ)	子ども達にお彼岸の日を伝え、自分で作ったおはぎをその場で美味しく食べました。	利用者 8名 職員 2名
R3.10.07	運動会	運動会に参加する事で丈夫な体と豊かな心を育てると共に、最後まで頑張る気持ちを育てました。	利用者 22名 職員 9名
R3.10.29	お楽しみ会 (ハロウィン)	クラス毎に様々な衣装を着て、おやつを食べたりし、西洋の行事を楽しく過ごしました。	利用者 21名 職員 10名
R3.11.08	クッキング (おにぎり)	手洗い・消毒を徹底し、自分で作ったおにぎりをおいしく食べる体験をしました。	利用者 9名 職員 3名
R3.11.22	お楽しみ会	スケッチブックシアターをお友達と一緒に楽しみながら見る事ができました。	利用者 17名 職員 7名
R3.12.02	お遊戯会	感染症拡大防止の為、クラス毎に実施しました。リズム表現する事を楽しみ、自信をもって取り組めるように見守りました。	利用者 23名 職員 10名
R3.12.24	クリスマス会	サンタさんからプレゼントを貰ったり、クリスマスならではの雰囲気を体験させました。	利用者 23名 職員 9名
R3.12.24	クリスマス会 クッキング	クリスマスならではのクッキングを楽しみ、食への関心を持たせ食べる事への意欲に繋がりました。	利用者 9名 職員 2名
R4.01.18	お楽しみ会	お正月にちなみ手作りの大型パズルを友達と協力しながら完成させ、楽しみました。	利用者 17名 職員 8名
R4.01.18	クッキング (おにぎり)	手洗い・消毒を徹底し、自分で作ったおにぎりをおいしく食べる体験をしました。	利用者 13名 職員 4名
R4.02.03	豆まき会	節分の日にならみ手作りの鬼のお面を被り、お友達と一緒にゲーム遊びを楽しみました。	利用者 23名 職員 8名
R4.03.03	ひなまつり会	桃の節句をお祝いし、ひなまつりに関するクイズに答えたり、お内裏様、お雛様になり写真撮影を行いました。	利用者 25名 職員 9名
R4.3.16 3.17	お別れ会	子ども達の1年の成長を喜び合うとともに、お友達同士関わり合いながらお店屋さんごっこをし、楽しい時間を過ごしました。	利用者 21名 職員 9名
R4.03.22	クッキング (フルーツヨーグルト)	自分達でフルーツをのせたり、盛り付けをし、食への関心を持たせるようにしました。	利用者 7名 職員 2名

\*この他、該当月にお誕生会を実施しました。

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R3. 5. 28	感染症（新型コロナウイルス）について	東北大学教授	管理者 栄養士 保育士6名
R3. 6. 25	水遊びの注意点について	保育士	保育士 5名
R3. 5. 29	コンプライアンス・プライバシー保護研修	管理者	保育士 4名
R3. 5. 30			栄養士 保育士 3名
R3. 7. 16	食中毒予防について	栄養士	保育士 5名
R3. 7. 29	感染症（新型コロナウイルス）について	管理者	保育士 4名
R3. 8. 18		保育士	栄養士 保育士2名
R3. 10. 28	感染症対策について	遠山荘看護師	管理者 栄養士 保育士4名
R3. 11. 22	コンプライアンス・プライバシー保護研修	管理者	保育士 1名
R4. 1. 31	人権侵害研修	管理者	保育士 4名
R4. 2. 18	フォローアップ研修	恵泉会	保育士 1名
R4. 2. 24	気になる子どもについてアセスメントをもとに支援を考える	保育士	管理者 保育士5名
R4. 3. 11	事故防止研修	保育士	保育士5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 10. 21	気になる子どもについてアセスメントをもとに支援を考える	登米市	登米市	保育士
R3. 11. 17	教育・施設長会議	登米市	登米市	管理者
R3. 11. 18	保育・教育施設向け 情報交換会	全国認定こども園協会	オンライン	保育士
R3. 11. 30	令和3年度保育施設長会議	登米市	登米市	管理者
R4. 2. 7	令和3年度第2回「学ぶ土台づくり」研修会（入門編）	宮城県	オンライン	保育士
R4. 2. 8				
R4. 2. 17	食品衛生責任者実務講習会	宮城県食品衛生協会	登米合同庁舎	栄養士

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職 員 会 議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員（保育状況を考慮）
保 育 会 議	利用者の状況について	随 時	保育士全員（保育状況を考慮）
給 食 会 議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	栄養士、保育士全員（保育状況を考慮）

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
毎月1回	防災委員会	保育室	委員他
毎月1回	安全管理対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	感染予防対策委員会	保育室	委員他
隔月1回	研修委員会 マニュアル検討委員会	保育室	委員他
必要時に開催	サービス評価委員会	保育室	委員他

【今後の取り組み】

4月に感染症が流行し、登米保健所、嘱託医指導の下、感染対策に努めてきました。保護者様にも再度解熱後24時間経過してからの登所、及び呼吸器症状が改善傾向になってからの登所を呼びかけ、病気の早期発見、早期治療で対応し、その対応は今後も継続して行っていきます。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止として、今後も新しい生活様式に沿いながら感染対策を行い、日々の活動や行事等も密な状態を作らないなどしっかりと対策を行いながら、年齢に応じた活動を経験させていきます。この様な状況から今年度も地域交流の場は少なかったのですが、日々の保育の中で地域との関わりを大切に、触れ合いを深めていきたいと思えます。

今後の課題として登米市内において、子どもの減少が見られ、現在待機児童ゼロの状態です。その様な中でいかにキッズつぼみに入所していただけるかを考え、キッズつぼみのカラーを外部へ発信していく機会を増やしていきたいと思えます。

# 令和3年度 特別養護老人ホーム光風園 事業報告

## 【施設概要】

- 1) 所在地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-3
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開設年月日 昭和51年4月1日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	50名
短期入所生活介護	5名
計	55名

最重要課題である新型コロナウイルス感染症対策について、持ち込みの感染者が1名確認され、施設内療養を行いました。さいわい、感染は最小限に食い止めることができました。法人内外からの支援もあり、収束に繋げることができました。しかし影響は大きく今後も十分な対策の継続が必要です。

その他施設運営については、介護保険の重点項目を施設の指標とし取り組みましたが、ベッド稼働率の低迷・離職者があったことなど、積極的な働きかけが不十分でした。反省点を踏まえた今後の運営に努めます。

## 【重点項目】

- ・感染症や災害への対応力強化  
新型コロナウイルス感染症は、持ち込みが1名、感染者が長期利用者1名職員1名でした。最小限に食い止める事が出来ましたが、今後も対策を継続する必要があります。
- ・地域包括ケアシステムの推進、地域との連携  
看取り介護の取り組みは、積極的に行うことができましたが、地域資源でもあるベッドコントロールができませんでした。地域や家族との連携については感染対策のため、中止や縮小せざるを得ない状況でした。
- ・自立支援・重度化の防止の取り組みの推進  
感染対策により利用者が居室で過ごす時間が多く、寝たきり、重度化防止の推進については、取り組みが不十分でした。
- ・介護人材の確保・介護現場の革新  
離職者が2名あり、今後も労働環境の改善等実施します。カメラ付きナースコールを設置し利用者の見守り強化や職員の負担軽減を実施しました。
- ・事故防止  
安全対策担当者を配置、委員会や研修、会議等を通じ職員のスキルアップ、情報共有と事故防止に努めました。センサー等の活用も行い、重度化や認知症の利用者に対応しました。
- ・施設整備  
電話・ナースコールシステムの更新を実施。その他更新が必要な入浴設備や給湯設備については、法人と協議の上、次年度以降で実施予定となりました。
- ・法人内他事業所との連携  
新型コロナウイルス感染症対応について、法人内事業所一丸となり、体制を構築し人的・物的支援をいただき、収束に繋げることができました。
- ・地域との連携  
感染症対策により地域との交流やオレンジカフェの開催はできませんでした。
- ・職員の質の向上  
個人の経験や能力に合わせた研修に参加、スキルアップにつなげることができました。施設内研修の定期的な開催や法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 16,751 名
2. 年間稼働率 91.79 %  
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.17

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	210	217	180	167	163	184	215	233	217	238	193	217	2,434
要介護 4	808	800	780	798	765	746	755	699	711	714	691	775	9,042
要介護 5	446	452	480	495	456	401	403	378	431	446	436	451	5,275
計	1,464	1,469	1,440	1,460	1,384	1,331	1,373	1,310	1,359	1,398	1,320	1,443	16,751

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	3	1	0	4	0	2	2	2	2	1	18
退所者数	1	1	2	1	4	4	1	1	1	1	0	1	18
月末入所者数	49	48	49	49	45	45	44	45	46	47	49	49	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

年間実施回数 20 回

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.04.20	春まつり	外出の機会がないため、外を散策し春の空気を味わって頂きました。又、ゲームや職員余興で楽しい時間を過ごして頂くことが出来ました。	利用者 27名 職員 14名
R3.07.27	納涼会	屋台を模したアイス販売や魚釣りゲームで夏祭りの雰囲気を味わって頂くことが出来ました。又職員余興や盆踊りで楽しく賑やかに過ごして頂くことが出来ました。	利用者 53名 職員 15名
R3.08.13 ~16	盆供養	利用者と職員で祖先を敬い、亡くなられた方々のご冥福を祈りました。	利用者 52名 職員 7名
R3.09.22	長寿を祝う会	利用者様の長寿を祝うと共に長年の労に感謝し、健康を祈りました。又職員の余興で楽しいひと時を過ごして頂きました。	利用者 45名 職員 16名
R3.11.17 ~19	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていただき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 45名 職員 15名
R3.12.15 ~17	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていただき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 45名 職員 15名
R4.01.05	新年会	新年の準備を行うことで、季節感を味わって頂きました。又1年間健やかに過ごすことが出来るように利用者と職員で新年をお祝いすることが出来ました。	利用者 48名 職員 15名
R4.01.19 ~21	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていただき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 49名 職員 15名
R4.02.01	節分	節分という伝統行事を、利用者・職員共に楽しみながら、一年間の無病息災を願いました。	利用者 53名 職員 13名
R4.03.16 ~18	香りの湯	湯船に浸かりながら、草花の香り等から五感を養っていただき、身体をリフレッシュしていただきました。	利用者 47名 職員 15名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,233 名
2. 年間稼働率 67.56 %  
(目標稼働率 70.00 %)
3. 年間平均介護度 3.34
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	3	3	5	3	3	3	3	3	8	13	3	3	53
要介護 2	28	31	31	20	26	18	16	41	37	32	26	12	318
要介護 3	22	27	32	40	43	43	36	27	22	18	23	6	339
要介護 4	24	18	15	18	23	27	4	7	13	15	19	15	198
要介護 5	19	26	24	25	29	29	43	35	29	35	9	22	325
計	96	105	107	106	124	120	102	113	109	113	80	58	1,233

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
R3.04.01	公用車特殊車両取扱・設備・防災関係について	主任・副主任	転勤者5名
R3.04.27	「看取りの流れについて」(看取りの流れ、本人の意向確認)	准看護師	光風園職員12名
R3.05.17	防災機器取り扱い説明(発電機)研修	㈱迫防災	光風園職員12名
R3.05.20	「オンコールについて」	准看護師	光風園職員11名
R3.06.03	「身体拘束廃止・虐待防止」研修	介護福祉士	光風園職員8名
R3.06.03	「食中毒予防」研修	管理栄養士	光風園職員8名
R3.06.10	「ポジショニング」研修	介護福祉士	光風園職員10名
R3.06.10	「マットレスの特徴について」	介護員	光風園職員10名
R3.06.22	「労働災害防止研修」	施設長	光風園職員11名
R3.06.23	「感染対策の基本的知識と対処方法」	看護師	光風園職員6名
R3.06.30	看取り研修「ターミナルケア・介護者の精神的ケア」	准看護師	光風園職員8名
R3.07.21	「接遇研修」	准看護師	光風園職員10名
R3.07.28	介護予防研修「脱水・水分補給」	看護師	光風園職員7名
R3.08.24	コンプライアンス研修	施設長	光風園職員12名
R3.09.08	スタンダード車椅子用スライドボード使用方法研修(7日間)	介護福祉士	光風園職員17名
R3.09.14	介護事故防止研修	介護福祉士	光風園職員8名
R3.10.12	「身体拘束廃止研修」	介護福祉士	光風園職員11名
R3.11.09	「安全対策担当者養成研修」	副主任	光風園職員9名
R3.11.24	不審者侵入対策研修	副主任	光風園職員8名
R3.11.24	感染予防研修	看護師	光風園職員9名
R3.12.1~31	紙おむつの当て方研修	サルバ研修用DVD	光風園職員15名
R3.12.14	「身体拘束廃止事例検討」研修	副主任	光風園職員9名
R4.01.18	認知症介護基礎研修	副主任	光風園職員10名
R4.02.13	ゾーニング研修	看護師	光風園職員25名
R4.03.08	プライバシー保護研修について	副主任	光風園職員6名
R4.03.16	介護事故防止研修「ヒヤリハット」	介護福祉士	光風園職員8名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 6. 24~7. 1	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R3. 6. 29	クレーム対応研修（基本編）	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3. 7. 8	ハラスメント防止講習会【一般職員向け】	福利厚生センター	オンライン	職員1名
R3. 8. 19	宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3. 7. 21	ほのぼのNEXT合同操作説明会	NDソフトウェア	オンライン	職員1名
R3. 10. 6~ 10. 7	危険物取扱者保安講習	宮城県危険物安全協会連合会	登米市	職員1名
R3. 11. 24	東和・登米地区(合同)地域ネットワーク会議・意見交換会	登米市東和・登米地域包括支援センター	オンライン	職員1名
R3. 11. 26	登米・気仙沼・石巻保健所管内給食従事者等研修会	宮城県登米保健所	オンライン	職員1名
R3. 12. 17	成年後見制度研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R3. 12. 23	地域での看取りを考える研修会	登米地区地域医療対策委員会	登米市	職員1名
R4. 1. 11	相手目線で考えるコミュニケーション研修会	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画の遂行並びに各種報告及び課題について検討	毎月第三火曜日	光風園全職員
連絡会議	各セクションの代表者により次週並びに翌月の事業予定について検討	毎月1回	各セクションの代表者
サービス担当者会議	ケアプランに基づき適切なサービスが実施されるよう検討	入所時	各セクションの代表並び担当
ケア会議	利用者介護の質の向上とケアの課題等を協議	毎月第2火曜日	介護・看護スタッフ、相談員
ケアカンファレンス	利用者への援助過程に於いて、的確な援助を行うため討議	随時	各セクションの職員
給食会議	食事サービスの質的向上を図るため、実施	毎月1回	代表利用者・給食事業者・給食委員
サービス評価会議	法人のサービス評価基準に則り、施設としての自己評価を実施	年2回	各セクションの代表者
各種部会	法人内の各部門別の検討事項について協議	月1~2回	各部会代表者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
感染症対策検討委員会	感染症の予防及び蔓延防止の検討	火曜日	施設長と委員
褥瘡予防検討委員会	利用者個々人の分析・評価による予防対策の検討		
研修委員会	職員の資質及びサービスの質的向上に向けた検討	火曜日	委員
マニュアル検討委員会	既存のマニュアルの見直し、新規マニュアルの作成を行う		
サービス向上検討委員会	介護サービスの質的向上に向けた検討	火曜日	施設長と委員
個別ケア検討委員会	利用者の個々の状況に応じた支援方法の検討		
リスクマネジメント委員会	介護事故防止の検討	火曜日	施設長と委員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の完全廃止に向けての検討		
防災委員会	消防計画の立案及び訓練の実施について検討	随 時	委員
入所判定委員会	第三者委員を交えて入所申込み者の入所順位を決定する	3ヶ月おき開催	施設長と委員



## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
計			0名

#### (2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
計				0名

## 【今後の取り組み】

1. 感染症や災害への対応力強化—コロナ感染症が施設内で確認され、長期利用者1名と職員1名が感染しましたが、感染を最小限に抑えることができました。今後も、環境整備、対応マニュアル等の見直しや備蓄品の確保、訓練の定期実施、関係機関・法人内施設との連携を図り、更なる対応力の強化を行います。
2. 重点項目の継続—令和3年度の重点項目について、介護保険の基本的柱を中心に策定しましたが、感染症拡大の要因等で、取り組みができなかったり不十分な面がありました。令和4年度も各項目について継続して取り組みます。
3. 経営の安定化—稼働率の低迷からの減収が課題です。空床のコントロールを適正に行い、目標の稼働率を達成するとともに、適正な支出となるよう経費削減に努めます。

# 令和3年度 特別養護老人ホーム松風園 事業報告

## 【施設概要】

- 1) 所在地 登米市豊里町笑沢153-62  
2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会  
3) 経営主体 社会福祉法人恵泉会  
4) 開設年月日 昭和58年4月1日  
5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	50名
短期入所生活介護	4名
計	54名

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続性の確保」に取り組めます。

施設運営にあっても、恵泉会理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする、この展望を掲げて介護、支援していきます。

そして、すべての利用者楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい日々の過ごし方が出来る様、職員と利用者が「想いを一つに、幸せを感じて」をモットーに、個別ケアに対応したサービス提供を行い、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組んでいきます。

## 【重点項目】

### 1 「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援します。
  - 利用者及び家族の意向を尊重したケアプランを作成し、個々のニーズに則した生活が継続出来るように支援しました。
  - 常に利用者の意向に耳を傾け、茶話会や生きがいケア等により、施設生活の中で喜びを感じて頂けるよう支援に努めました。
- 利用者個々に、リハビリや日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、施設サービス計画の策定・実施・評価を行います。
  - リハビリ等必要な利用者の方に対して、個別リハビリに取り組み、残存機能維持、向上に努めました。
  - ふれあいケア、生きがいケアを通じ、利用者お一人おひとりと関わる時間を設けることにより、寄り添う介護が実践できました。
  - 施設サービスの策定・実施・評価を行いより良いサービスの向上に努めました。

### 2 サービス向上に向けた取り組み

- ケアパレット・介護ロボット導入し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめます。
  - ケアパレット・介護ロボット導入により、介護業務の効率化・最適化が図れました。また介護ロボットにより、利用者の方の状態がパソコンで表示され、健康状態の把握ができました。
- 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。
  - 短期入所生活介護利用の際、医療機関との連携が図れるよう調整し、利用者の緊急時受入れも対応出来ています。地域との連携を密にして、地域包括ケアシステムの中心施設としての役割を果たすよう努めました。
- 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につかせます。
  - 医療・福祉関係の資格を有さない職員の該当者はありませんでしたが、認知症についての内部研修を行うことにより職員全体の対応力向上を図りました。

(4) 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。

- ・事故発生の原因分析から、改善案を探り事故防止策の検討を行い、その周知徹底を図り再発防止に努めました。
- ・常に利用者支援の中に潜むリスクに着目し、事故防止に努めるのはもとより、利用者個々の詳細な行動を分析し、職員間の周知徹底に努めました。

### 3 介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み

(1) 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努めます。

- ・ハラスメント担当者を配置し対策の強化を図りました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策としての新しい研修の形としてオンラインでの研修に多く参加出来ました。

(2) 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行います。

- ・法人内で実施している研修について、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンライン研修等での講師派遣により、次世代の人材育成に努めました。

(3) 社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋がります。

- ・新型コロナウイルス感染症防止のため、施設への受け入れはできませんでした。今後は、WEB対応等の工夫をし、実習生、各種ボランティアの需要が増えるよう魅力のある施設を目指していきます。

### 4 地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

(1) 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。

- ・利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、事業運営に取り組みました。また信頼できる事業運営を行えるように継続していく必要があります。

(2) 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。

- ・津山・豊里地域包括支援センターや地域の介護事業所と協力し、認知症カフェ企画・運営会議を開催し、情報交換に努めました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、実施できませんでしたが、活動を再開する方向で、準備してまいります。

(3) 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えます。

- ・法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力し、支えあう体制を強化することで、安定経営に努めていきます。

(4) 地域（庚申地区）との災害協定を結び、また、既に災害協定を締結している他施設（迫風園、南風園）と連携し、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の対応を行います。

- ・様々な想定での防災訓練を実施し、地震火災時の防火訓練はもとより原子力災害（UPZ圏内）対策について避難計画、マニュアル策定し訓練を行いました。

### 5 感染症や災害への対応力強化に向けた取組

(1) 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。

- ・感染症委員会にて感染症の動向について確認し、また新型コロナウイルス感染症対策について外部から認定看護師を派遣して頂き、感染発生時のゾーニング指導を受け、研修、訓練の実施も行うことが出来ました。

(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用者が家族等との面会が制限されている状況を解消するため、iPad活用によるオンライン面会を継続します。

- ・利用者・家族の理解を得ながらiPadでの面会を継続し問題なく行うことが出来ました。

## 6 制度の安定性・持続可能性の確保

- (1) 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)の策定、研修、訓練の実施を進めます。
  - ・感染症や自然災害の発生時における業務継続計画を作成し、10月に業務継続計画の研修を実施しました。また委員会等で定期的に計画の見直しを行いました。
- (2) 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
  - ・毎月の事業収支、利用状況を会議で周知しました。稼働率は概ね達成し、省エネは毎月の使用量をみて職員に周知しています。
- (3) 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。
  - ・中長期の事業目標、収支・施設整備・新規事業等については、会議を通して全職員に周知し共有しています。

### 【 利用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,427 名
2. 年間稼働率 95.49 %  
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.27

#### 4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護 3	90	93	90	93	93	90	100	125	155	155	140	155	1,379
要介護 4	775	806	743	737	716	714	741	716	729	734	676	695	8,782
要介護 5	622	619	543	600	615	557	554	540	581	589	521	560	6,901
計	1,517	1,549	1,406	1,461	1,455	1,391	1,426	1,411	1,496	1,509	1,365	1,441	17,427

#### 5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	1	2	4	1	3	2	1	1	2	1	18
退所者数	0	0	2	3	2	2	3	2	2	0	2	2	20
月末入所者数	51	51	50	48	50	49	49	49	48	49	49	49	-2

4月1日～6月30日までやむ措置入所1名

### 【利用者サービスの状況】

#### 1. 生きがいサービス

##### (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.04.21	春祭り	職員紹介(担当)後、職員によるアトラクションを楽しみました。	利用者 35名 職員 9名
R3.05.3.4.5	菖蒲湯	菖蒲を湯に浮かべ無病息災の縁起を担ぎ、季節を感じていただきました。	利用者 51名 職員 4名
R3.06.13	屋外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者 4名 職員 1名
R3.06.24	ゲーム大会	魚釣りゲームを楽しみ気分転換を図っていただきました。	利用者 11名 職員 3名
R3.07.07	七夕会	七夕飾りを見て楽しみながら願い事を発表し季節を感じていただきました。	利用者 14名 職員 3名
R3.07.21	夏祭り	スイカ割、水ヨーヨー、くじ引き等夏を感じていただき楽しんでいただきました。	利用者 48名 職員 16名
R3.08.07	おうち花火	豊里町主催行事に参加、園庭にて手持ち、吹上花火を懐かしく楽しんでいただきました。	利用者 15名 職員 4名
R3.08.21	盆供養	香林寺住職が来園し、故人の冥福を祈りました。	利用者 6名 職員 4名

R3.09.17	長寿を祝う会	利用者の長寿に敬意を表し、家族様と共に祝い、皆さんとアトラクションを楽しんでいただきました。	利用者 48名 職員 18名
R3.09.22	お月見会	十五夜に因んだ由来を聞きながら中秋の名月を祝いました。	利用者 15名 職員 5名
R3.10.02	野外食	晴天の中、日光浴を行いながら外のテラスでテーブルを囲み昼食を食べていただきました。	利用者 3名 職員 1名
R3.10.13	芋煮会	野外で芋煮を行い季節を感じていただきました。	利用者 6名 職員 2名
R3.10.17	レクリエーションゲーム大会	ペットボトルをカゴに投げ入れるゲームを楽しんでいただきました。	利用者 11名 職員 3名
R3.11.05	焼き芋会	野外で焼き芋を行いおやつに食べていただきました。	利用者 11名 職員 3名
R3.11.20	紅葉散策	紅葉のきれいな園庭を散歩し気分転換を図っていただきました。	利用者 7名 職員 6名
R3.11.28	レクリエーションゲーム大会	紅白に分かれて玉入れゲームを行い楽しんでいただきました。	利用者 13名 職員 3名
R3.12.20.2 1.22	ゆず湯	ゆずの香りに包まれながら、1年の疲れを癒し、季節を感じていただきました。	利用者 50名 職員 4名
R3.12.24	クリスマス会	利用者と職員でハンドベルを演奏し、クリスマスの雰囲気の中サンタクロースよりプレゼントを頂き、楽しいひと時を過ごしました。	利用者 50名 職員 5名
R3.12.28	正月飾り会	ついた餅を正月の準備としてみずの木に餅や飾り付けを行いました。	利用者 11名 職員 2名
R4.01.12	新年会	新年にあたり甘酒を頂き、職員による獅子舞にて悪魔を追い払い、その後かるた取りを行い新年会を楽しみました。	利用者 38名 職員 14名
R4.01.30	お正月遊び	福笑いなどの懐かしいお正月遊びを行い楽しんでいただきました。	利用者 11名 職員 2名
R4.02.03	節分	年祝い者による節分豆まきを行い、無病息災を祈りました。	利用者 50名 職員 8名
R4.02.20	レクリエーションゲーム大会	紅白の2チームに分かれ、カゴへの玉入れゲームを楽しみ気分転換を図りました。	利用者 16名 職員 3名
R4.03.03	ひな祭り会	ひな祭りの歌を皆さんで合唱し、ひなあられや甘酒を頂きました。その後カラオケを行い楽しい一時を過ごしています。	利用者 9名 職員 2名
R4.03.17	百寿を祝う会	百歳を迎えた方へ記念品を贈呈し皆で祝福しました。	利用者 17名 職員 15名
R4.03.22	彼岸供養	利用者と共に故人の冥福を祈りました。	利用者 9名 職員 5名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,220 名
2. 年間稼働率 83.56 %  
(目標稼働率 94.00 %)
3. 年間平均介護度 2.93
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	3	3	3	3	6	3	3	3	3	3	7	7	47
要介護 2	54	57	51	58	61	54	50	50	52	34	48	59	628
要介護 3	13	4	7	8	14	14	9	8	18	13	11	15	134
要介護 4	13	10	7	14	42	17	19	17	17	18	7	0	181
要介護 5	20	21	16	11	10	13	16	11	15	55	25	17	230
計	103	95	84	94	133	101	97	89	105	123	98	98	1,220

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3.04.03	公用車操作方法について	介護福祉士	職員3名
R3.04.09	(新任研修)身体拘束廃止について	准看護師	職員1名
R3.04.22	感染対策予防について	看護師	職員5名
R3.04.23	(新任研修)感染症対策研修	看護師	職員1名
R3.04.29	ポジショニング研修	作業療法士	職員10名
R3.04.30	(新任研修)リスクマネジメント	介護福祉士	職員1名
R3.4.23,30,5.14	法令遵守研修	施設長	職員25名
R3.05.10	腰痛予防について	准看護師	職員8名
R3.05.16	(新任研修)食中毒予防研修	看護師	職員1名
R3.05.20	メンタルケア研修	施設長	職員6名
R3.05.22	ポジショニング研修	作業療法士	職員9名
R3.05.24	(新任研修)非常災害について	生活相談員	職員1名
R3.05.31	食中毒予防研修	管理栄養士	職員7名
R3.06.14	オムツ交換講習	介護福祉士	職員3名
R3.06.23	見守り介護ロボット操作について	(株)バイオシルバー	職員11名
R3.06.30	高齢者虐待対応・権利擁護について	施設長	職員26名
R3.07.12	褥瘡について	看護師	職員8名
R3.07.28	リフトバス操作方法について	介護福祉士	職員7名
R3.08.16	口腔ケアについて	准看護師	職員6名
R3.08.23	新型コロナウイルス感染症について	看護師	職員11名
R3.09.14	移乗介助について	介護福祉士	職員8名
R3.09.24	介護事故の三大原因と対応について	介護福祉士	職員7名
R3.10.06	AED自動除細動器の使用について	サニクリン(株)	職員10名
R3.10.18	高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	准看護師・相談員	職員9名
R3.10.20	業務継続計画(BCP)研修について	相談員	職員10名
R3.10.26	歯科研修	歯科医院	職員7名
R3.10.29	記録の取り方について	介護福祉士	職員5名
R3.11.08	リスクマネジメントについて	介護福祉士	職員6名
R3.11.19	感染症対策(嘔吐物処理方法)	准看護師	職員7名
R3.11.25	感染対策・ゾーニング及びガウンテクニック研修	感染症管理認定看護師	職員8名
R3.12.06	体位交換について	介護福祉士	職員7名
R3.12.06	人権擁護委員制度について	登米市人権擁護委員	職員6名
R3.12.24	人事考課改訂説明会について	施設長	職員25名
R4.01.17	認知症について	介護員	職員6名
R4.02.10	メンタルヘルス研修	施設長	職員8名
R4.03.18	防災機器の取扱い	介護福祉士	職員8名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R3.04.07	WJUスポットコンサルティング	ウエルウェアJ・ユナイテッド(株)	恵泉会本部	職員1名
R3.04.19	人事考課研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R3.05.19	令和3年度安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	南三陸町	職員1名
R3.6/11.24,7/2.16	令和3年度介護福祉士養成施設実習指導者研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R3.06.24	事務担当者職員研修	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.06.29	クレーム対応研修(基礎編)	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.07.02	宮城県ケアマネージャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネージャー協会	WEB研修	職員1名
R3.07.08	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	WEB研修	職員1名
R3.07.13	自然災害・感染症BCP策定セミナー	あいおいニッセイ同和損保	WEB研修	職員1名
R3.07.16	ほのぼのNEXT合同操作説明会(LIFE編)	NDソフトウェア(株)	WEB研修	職員1名
R3.08.03	令和3年度アサーティブ研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R3.08.05	令和3年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	恵泉会本部	職員1名
R3.08.19	令和3年度宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.09.09	事故防止対策のポイント	あいおいニッセイ同和損保	WEB研修	職員1名

R3.09.15	保険担当職員研修	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.09.29	令和3年度宮城県社会福祉施設職員業務改善研修	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.10.01	令和3年度認知症カフェ研修	登米市認知症カフェ研修会	登米市	職員1名
R3.10.01	令和3年度認知症カフェ研修	登米市認知症カフェ研修会	登米市	職員1名
R3.10.10	令和3年度老人福祉施設職員研修	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.10.25	BCP作成研修会のウェブセミナー	あいおいニッセイ同和損保	WEB研修	職員1名
R3.11.10	リスクマネジメント研修(管理監督者編)	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.11.12	給食従事者等研修会	宮城県石巻・登米気仙沼保健所	WEB研修	職員1名
R3.11.16	令和3年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネットエール	WEB研修	職員1名
R3.11.25.26	宮城県社会福祉施設新任職員研修	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.11.29	令和3年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名
R3.12.17	令和3年度成年後見制度研修会	登米市	登米市	職員1名
R3.12.23	地域での看取りを考える研修会	登米地区地域医療対策委員会・登米市	登米市	職員1名
R4.01.18	宮城県ケアマネージャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネージャー協会	WEB研修	職員1名
R4.01.11	令和3年度相手目線で考えるコミュニケーション研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R4.02.11	令和3年度アセスメント研修会	宮城県ケアマネージャー協会	WEB研修	職員1名
R4.02.18	令和3年度恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	WEB研修	職員1名
R4.03.14	災害福祉広域支援ネットワーク協議会セミナー	宮城県社会福祉協議会	WEB研修	職員1名

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
サービス向上検討委員会	利用者の自立促進のための評価項目毎の自己評価	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	第3木曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
安全対策検討委員会	リスクの検証、検討、評価の実施	第2木曜日	施設長、各委員
褥瘡対策委員会	褥瘡の発生要因と予防の検討	随時	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待廃止検討委員会	身体拘束の改善と処遇の検討・高齢者虐待防止に向けての取り組み	第1金曜日	施設長、各委員

#### (2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
R3.06.03	令和3年度第1回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R3.09.03	令和3年度第2回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R3.12.03	令和3年度第3回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
R4.02.28	令和3年度第4回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員

### 【施設機能の開放】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
R3.08.07	豊里公民館	地域企画行事の花火大会をボランティアと共に楽しみました	4名
計			4名

##### (2) 実習

年月日	団 体 名	実習内容	実人数	延人数
		新型コロナウイルス感染症防止のため中止しています。		
計				0名

## 【今後の取り組み】

### 1 「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- ・ 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援します。
- ・ 利用者個々に、リハビリや日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、施設サービス計画の策定・実施・評価を行います。

### 2 サービス向上に向けた取り組み

- ・ ケアパレット・介護ロボットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめます。
- ・ 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できるように医療機関・関係機関との連携を密にし、精神面でのケアの充実と身体的機能の維持向上に努めます。
- ・ 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけさせます。
- ・ 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。
- ・ 介護サービスの質の評価と科学的介護の取り組み(科学的介護推進体制加算)を実施し介護サービスの質の向上を図ります。

### 3 介護人材確保・職員の資質、専門性の向上の取り組み

- ・ 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図ります。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努めます。
- ・ 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行います。
- ・ 社会福祉士・介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋がります。

### 4 地域包括ケアシステムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- ・ 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- ・ 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
- ・ 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって、協力体制を構築し、支え合う体制を整えます。
- ・ 地域(庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会)との災害協定を結び、また、既に災害協定を締結している他施設(迫風園、南風園)と連携し、災害時(火災・地震・防犯・原発事故等)の対応を行います。

### 5 感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- ・ 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、利用者が家族等との面会が制限されている状況を解消するため、iPad活用によるオンライン面会を継続します。

### 6 制度の安定性・持続可能性の確保

- ・ 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画(BCP)の更新、研修、訓練の実施を進めます。
- ・ 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
- ・ 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。



# 令和3年度 豊里デイサービスセンター百楽荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市豊里町笑沢153-78 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成8年4月1日          |
| 5. 利 用 定 員   | 30名               |

## 【 基 本 方 針 】

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図ると共に、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続性の確保」に取り組めます。

施設運営にあっても、恵泉会基本理念である「人間の尊厳」「主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を強く意識し、今日の社会を築き上げてきた利用者お一人おひとりに、最期の一瞬まで、自分らしく生きられる社会へ、予防から看取りまで、その人らしさを輝かせる高齢者福祉をリードする、この展望を掲げて介護、支援していきます。

そして、すべての利用者楽しく、“自信”と“誇り”“望み”をもって、その人らしい日々の過ごし方が出来る様、職員と利用者が「想いを一つに、幸せを感じて」をモットーに、個別ケアに対応したサービス提供を行い、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに取り組んでいきます。

## 【 重 点 項 目 】

### 1 「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- ・ 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援しました。
- ・ 利用者個々に、リハビリや入浴方法等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所介護サービス計画書の策定・実施・評価をしました。

### 2 サービス向上に向けた取り組み

- ・ ケアパレットを導入し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減は図れるようになっていきます。
- ・ 作業療法士による個別機能訓練（個別機能訓練加算Iイ）を実施することにより利用者の機能維持・向上を図りました。
- ・ 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応が出来るようになっていきます。
- ・ 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めました。全職員共有は図れるようになっていきますが、十分とは言えないのでリスクの検証を深め介護事故防止の徹底を図ることを継続します。

### 3 介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

- ・ 職員が意欲と自信をもって働ける様に、ハラスメント対策の強化を図りました。また、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努めました。また、webを利用し、可能な限り研修に参加しました。
- ・ 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成に努めました。
- ・ 介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋げています。新型コロナウイルスの影響により、受け入れはできませんでしたが、web対応等で実習生、各種ボランティアの受け入れができるよう対応していきます。

#### 4 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- ・ 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたりました。
- ・ 社会福祉法人の使命の一つとして、継続して食事代を無料とし、要介護者・低所得者の高齢者が福祉サービスを受けやすくしました。
- ・ 地域貢献事業・地域交流として、認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同での開催は新型コロナウイルスの影響により、開催はできませんでしたが活動を再開する方向で準備しています。
- ・ 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えています。

#### 5 感染者や災害への対応力強化に向けた取組

- ・ 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修を実施しました。
- ・ 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等での生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ対応を継続して行っています。
- ・ 地域（庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会）との災害協定を結び、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の訓練等を地域の方々と連携して行いました。

#### 6 制度の安定性・持続可能性の確保

- ・ 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画（BCP）の策定、研修、訓練の実施に努めました。
- ・ 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取組を進めました。
- ・ 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行いました。

### 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,134 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 87.46 % (通所介護+総合事業)  
(80.75) % (通所介護)  
(6.71) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 1.91 (通所介護)

#### 5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	241	251	240	275	248	240	244	215	223	207	237	231	2,852
要介護 2	263	223	234	248	235	258	236	237	227	218	195	250	2,824
要介護 3	143	134	125	129	138	143	135	133	106	101	126	128	1,541
要介護 4	19	11	11	9	9	9	19	21	26	42	39	39	254
要介護 5	5	6	9	11	8	0	0	0	0	0	0	0	39
計	671	625	619	672	638	650	634	606	582	568	597	648	7,510
事業対象者	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	51
要支援1	9	7	12	12	10	8	6	3	4	4	4	4	83
要支援2	43	41	41	36	38	33	38	48	47	44	38	43	490
計	56	53	57	52	53	45	48	56	55	52	46	51	624
合計	727	678	676	724	691	695	682	662	637	620	643	699	8,134

#### 6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	1	2	3	1	1	2	1	1	1	3	3	21
契約終了者数	2	2	2	2	1	5	2	1	3	1	4	3	28
月末契約者数	73	72	72	73	73	69	69	69	67	67	66	66	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 4. 8～13	お花見	ドライブを兼ねて近隣のお花見へ外出しました。	利用者 45名 職員 14名
R3. 7. 5～7	七夕会	七夕飾りを眺めながら映写会を楽しみました。	利用者 76名 職員 24名
R3. 8. 11	夏祭り	利用者の方全員で花笠音頭を踊り、スイカ割りやくじ引きを行ったりし、夏祭りを楽しみました。	利用者 30名 職員 9名
R3. 9. 20～22	長寿を祝う会	利用者の方々に長寿をお祝いしました。	利用者 55名 職員 24名
R3. 9. 24～27	ミニ運動会	お玉でリレーやほっかぶり競争を行い、身体を動かしました。	利用者 84名 職員 26名
R3. 10. 15	芋煮会	施設内にて、野菜を切るなど芋煮会の気分を味わいました。	利用者 25名 職員 2名
R3. 11. 3～4	焼き芋会	焼き芋を食べながら、季節を感じ、利用者間での交流を深めました。	利用者 53名 職員 16名
R3. 11. 10～16	リンゴ園見学	市内の果樹園にてリンゴ狩りを楽しみました。	利用者 67名 職員 19名
R3. 12. 23～25	クリスマス忘年会	クリスマスツリーを眺めながら職員の余興を観たり、くじ引きを行い楽しみました。	利用者 80名 職員 24名
R3. 12. 27	餅つき	杵と臼で餅つき、みずの木に飾り付けを行い正月の準備を行いました。	利用者 28名 職員 9名
R4. 1. 6～8	新年会	新年を祝い、ダルマ作りを楽しみ正月気分を味わいました。	利用者 78名 職員 26名
R4. 2. 1～3	節分豆まき	年男・年女の利用者が袴を着て豆まきを行い厄払い福を招きました。	利用者 75名 職員 25名
R4. 3. 2～3	ひな祭り会	ゲームを行ったり、雛饅頭や甘酒を召し上がって頂きながらひな祭りを祝いました。	利用者 52名 職員 18名
実 施 回 数		34回	延べ参加者数 984名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師（講演者）	参加者数
R3. 4. 15	送迎介助について	介護福祉士	4 名
R3. 4. 23～6. 22	法令順守（コンプライアンス研修）	施設長	12 名
R3. 4. 29	公用車リフト操作手順	介護福祉士	6 名
R3. 6. 7	ポジショニングについて	作業療法士	7 名
R3. 6. 9～6. 25	高齢者虐待対応と権利擁護	施設長	7 名
R3. 6. 18	食中毒予防について	管理栄養士	7 名
R3. 7. 10	実習受け入れについて	介護福祉士	2 名
R3. 9. 2	認知症について	介護福祉士	4 名
R3. 8. 26	口腔ケアについて	看護師	4 名
R3. 9. 23	身体拘束について	介護福祉士	5 名
R3. 9. 28	感染症について	看護師	4 名
R3. 10. 5	メンタルヘルスについて（委員会）	管理者	3 名
R3. 11. 20	着脱について	介護福祉士	5 名
R3. 12. 17	入浴介助について	介護福祉士	5 名
R3. 12. 18	人権擁護について	登米市人権擁護委員	5 名
R4. 1. 28	メンタルヘルスについて	施設長	2 名
R4. 1. 31	オムツ交換について	介護福祉士	4 名
R4. 2. 28	緊急時の対応について	看護師	2 名
		22回	延 べ 参 加 者 数 88名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3.08.05	恵泉会新人職員研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3.07.13	自然災害・感染症BCP策定セミナー	株式会社COA c t	web・登米市	職員1名
R3.10.01	令和3年度認知症カフェ研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
R3.10.07	令和3年度危険物取扱者保全講習会	宮城県危険物安全協会	登米市	職員1名
R3.10.26	BCP作成研修～感染症編	株式会社COA c t	web・登米市	職員1名
R3.11.10	令和3年度リスクマネジメント研修～管理監督者編～	宮城県社会福祉協議会	web・登米市	職員1名
R3.11.25～26	新任職員研修	宮城県社会福祉協議会	web・登米市	職員1名
R3.11.29	令和3年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	web・登米市	職員1名
R3.12.03	福祉レクリエーション研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R3.12.08	認知症介護基礎研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名

## 2. 議 開 催 状

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 者
連絡調整会議	松風園、百楽荘との行事や連絡事項等話し合い業務の徹底を図る	第1水曜日	施設長・主任・副主任
サービス調整会議	百楽荘の行事、利用者や家族の意見、業務連絡をし徹底を図る	第3金曜日	施設長・事務員・栄養士・DS職員
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月1回	施設長・栄養士・生活相談員・介護員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び曙懸案の協議	毎月1回	施設長・栄養士・生活相談員・看護師・介護員
デイサービス部会	各デイサービスとの情報交換	2ヶ月に1回	生活相談員

## (2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	参 加 者
随時	居宅介護支援事業所介護支援専門員主催サービス担当者会議出席	利用者自宅	生活相談員

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 者
サービス評価委員会	評価項目毎の自己評価、改善項目の検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	ヒヤリハットの検証、検討、評価の実施	随時	施設長、各委員

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
		新型コロナウイルス感染症防止のため中止しています。	0名

## (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	延べ人数
		新型コロナウイルス感染症防止のため中止しています。	0名

## 【今後の取り組み】

### 1 「幸せを感じて」いただく取り組み（自立支援・重度化防止）

- ・ 利用者の「自信と誇り、望み」を大切に、生きる喜びを感じながら、季節行事の企画、地域イベントへの参加を促しその人らしい生活が送れる様に支援します。
- ・ 利用者個々に、リハビリや入浴方法等、日々の過ごし方についてのアセスメントを実施し、それに基づいて、通所サービス計画の策定・実施・評価を行います。

### 2 サービス向上に向けた取り組み

- ・ ケアパレットを活用し、介護業務の効率化・最適化を図るとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめます。
- ・ 作業療法士による個別機能訓練（個別機能訓練加算1イ）を実施することにより利用者の機能維持・向上を図ります。
- ・ 医療・福祉関係の資格を有さない介護職員については、認知症介護基礎研修の受講により、認知症対応力を身につけます。
- ・ 介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努めます。
- ・ 介護サービスの質の評価と科学的介護の取組（科学的介護推進体制加算）を実施し介護サービスの質の向上を図ります。

### 3 介護人材確保、職員の資質、専門性の向上の取り組み

- ・ 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修に参加させ、基本に忠実な介護実践と、一步先を見通せる職員の育成に努めます。
- ・ 法人内で実施している研修（介護職員初任者、介護支援専門員・介護福祉士試験対策）への講師派遣により次世代の人材育成を行います。
- ・ 介護福祉士実習指導施設として資格取得に向けた実習生、各種ボランティアを積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手育成と、人材確保に繋がります。

### 4 地域包括システムの推進、地域貢献、地域連携の取り組み

- ・ 住み慣れた地域において、サービスが切れ目なく提供できるよう、情報公開を積極的に行い、利用者、利用者家族はもちろん、地域住民、関係機関からの意見を取り入れ、苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営にあたります。
- ・ 社会福祉法人の使命の一つとして、食事代を無料とし、要介護者・低所得者の高齢者が福祉サービスを受けやすくします。
- ・ 地域貢献事業、地域交流として認知症カフェ「とよさと」を豊里・津山地域の介護事業所合同で開催します。
- ・ 安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一体となって協力体制を構築し支え合う体制を整えます。

### 5 感染症や災害への対応力強化に向けた取組

- ・ 感染症対策として、現行の感染症対策委員会にて、指針の見直し、研修、訓練について実施します。
- ・ 登米市の福祉避難所として災害発生時、登米市と共同し一般避難所等で生活が困難な高齢者や障害者等の受け入れ支援を行います。
- ・ 地域（庚申地区、笑沢・平林事業所連絡協議会）との災害協定を結び、災害時（火災・地震・防犯・原発事故等）の訓練等を地域の方々と連携して行います。

### 6 制度の安定性・持続可能性の確保

- ・ 業務継続に向けた取組として、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続できる体制を構築する観点から、業務継続に向けた計画（BCP）の更新、研修、訓練の実施を進めます。
- ・ 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。
- ・ 中長期計画の作成を行い、中長期の事業目標を明確にすると共に、収支・施設整備・新規事業等について全職員が共有しながら事業の展開を行います。

# 令和3年度 特別養護老人ホーム萩風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-4
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成2年4月1日
- 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	5 名
計	55 名

新型コロナウイルス感染症の広がりが登米市内でも見られる中で、萩風園は、事業を止めることなく利用者へのサービス提供を継続することが出来ました。事業計画の基本方針でもあった、「感染症や災害への対応力強化」によるものと考えられます。感染症予防委員会を中心とした体制づくりのもと、感染予防対策、意識付けが各職員に浸透した結果と考えます。

平時でない状況が続く中、職員にかかる負担軽減のため、ICTの活用を継続しています。併せて記録の標準化を目的とした研修も開催し、業務の見直しを進める機会となりました。

また、各職員の育成に関しては、数名が介護福祉士資格を取得しているなど、職員一人一人が自身で目標を持ち職務を果たそうとした結果と思われる。また、研修の情報などを職員に提供したり、職員自身が講師を務めたことも、質の向上につながったものと感じています。同時にLIFE等のデータ活用についても継続していく事で、プロセス・アウトカム両面から評価することで質向上につなげたいと考えます。

感染予防による事業継続と職員の質の向上により、利用者が安心して満足したサービスを提供できるものを感じています。

## 【 重 点 項 目 】

### ① 感染症や災害への対応力強化

感染症予防委員会を中心とした体制づくりのもと、感染予防対策を徹底し、事業を止めることなくサービスを提供することが出来ました。また、地震に対する災害対応でも大きな被害無く対応することができ、今後も継続していく必要があります。コロナ禍において地域との連携などは行えなかった部分はありました。

### ② 地域包括ケアシステムの推進

医療と連携をとりながら、入居者の安心を提供できたと感じています。住み慣れた場所で最期を迎えることについては今後も検討が必要と感じています。

### ③ 自立支援・重度化防止の取組の推進…サービスの質の向上

各研修などを実施、LIFEの活用によるサービスの質の評価や、褥瘡マネジメントなどによる寝たきりの防止など、重度化防止の取組が出来ました。

### ④ 介護人材確保・介護現場の革新

見守り機器やケアパレットの活用などにより、職員に係る負荷を少なくすることが出来ました。介護福祉士資格取得者が複数名いたことは、個々の向上心の表れと感じています。

### ⑤ 制度の安定性・持続可能性の確保

改正の趣旨を理解し、高齢者虐待防止の取組、認知症への理解を高める研修など、改正に合わせた取組が実施出来ました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 16,985 名
2. 年間稼働率 93.07 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.26
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	210	217	186	190	192	169	203	240	248	214	196	214	2,479
要介護 4	637	655	641	651	651	613	614	600	650	657	595	706	7,670
要介護 5	605	597	540	576	568	546	589	570	604	572	504	565	6,836
計	1,452	1,469	1,367	1,417	1,411	1,328	1,406	1,410	1,502	1,443	1,295	1,485	16,985

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	0	1	2	1	1	1	3	0	1	0	11
退所者数	1	2	0	2	1	2	2	0	0	1	0	0	11
月末入所者数	49	48	48	47	48	47	46	47	50	49	50	50	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 4. 21	桜まつり	感染症予防対策での開催となりご家族の参加はなく、職員の余興と利用者のリハビリを兼ねた踊りで楽しまれていました。	利用者 39名 職員 11名
R3. 5. (4. 5)	菖蒲湯	菖蒲の香りに包まれ、無病息災を祈願し入浴しました。	利用者 46名 職員 7名
R3. 8. 4	夏祭り	感染症予防対策として合同夏祭りを見合わせ、施設単独での企画となりました。夏祭りにちなんだゲーム等を取り入れ楽しませていました。	利用者 31名 職員 12名
R3. 8. 10	盆供養	例年地域の住職へ読経依頼を行っていたが見合わせ、利用者及び職員のみで故人の冥福を祈りました。	利用者 8名 職員 4名
R3. 9. 15	長寿を祝う会	感染症予防対策としてご家族不参加での実施。アトラクションとして職員による催し物が披露されました。	利用者 46名 職員 13名
R3. 12. 15	クリスマス忘年会	クリスマスにちなんだゲームを行いました。その後1年を振り返りながらおやつバイキングを楽しまれていました。	利用者 43名 職員 14名
R3. 12. (20. 21)	ゆず湯	ゆずの香りに包まれリラックスした雰囲気の中、無病息災を祈願し入浴を行いました。	利用者 31名 職員 7名
R4. 1. 12	新年会	職員による獅子舞披露、手作りカルタ大会、おみくじ等新年の抱負を語り合い正月気分を味わいました。	利用者 40名 職員 14名
R4. 2. 3	節分	感染症予防に注意を払いながら密を避け小規模での開催。年男、年女が袴を身につけ棟内に豆をまき邪気を払いました。	利用者 20名 職員 10名
R4. 3. 18～24	彼岸供養	彼岸の期間は多目的室を開放。故人の冥福を祈っています。	利用者 5名 職員 1名
R4. 3. 31	お別れ会	退職者及び転勤者と利用者のお別れ会	利用者 49名 職員 13名
実施回数		11 回	延 べ 参 加 者 数 464 名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,561 名
2. 年間稼働率 85.53 %  
(目標稼働率 95.00 %)
3. 年間平均介護度 2.96
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	11	5	8	11	11	8	11	11	11	11	13	11	122
要介護 2	40	34	41	36	41	34	32	40	35	46	39	32	450
要介護 3	50	40	33	37	38	38	48	32	42	42	39	47	486
要介護 4	31	32	36	33	35	34	35	42	39	31	15	18	381
要介護 5	3	3	6	11	22	8	9	12	14	8	8	18	122
計	135	114	124	128	147	122	135	137	141	138	114	126	1,561

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師 (講演者)	参加者
R3. 4. 1	コンプライアンス研修	施設長	7 名
R3. 4. 1	新任職員研修	施設長	2 名
R3. 4. 22	緊急時の対応について	准看護師 介護福祉士	13 名
R3. 5. 27	コンプライアンス研修	施設長	12 名
R3. 6. 30	事故発生の防止研修	介護福祉士	8 名
R3. 7. 29	食中毒予防研修	管理栄養士	7 名
R3. 9. 16	認知症研修	副主任	11 名
R3. 9. 16	褥瘡予防研修	介護福祉士	11 名
R3. 10. 27	個人情報の取扱いについて	施設長	10 名
R3. 11. 4	眠りスキヤンの使い方について	Himbele Lawrence (パ ラマウントベッド)	10 名
R3. 11. 17	身体拘束防止について	介護福祉士	8 名
R3. 12. 22	事故発生の防止研修	介護福祉士	9 名
R4. 1. 26	認知症研修	副主任	9 名
R4. 2. 17	身体拘束廃止及び虐待防止研修	介護福祉士	8 名
R4. 3. 9	感染症予防について	准看護師	11 名
R4. 3. 10	ハラスメント防止について	施設長	15 名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R3. 7. 14	甲種防火管理者新規講習	登米市消防署	登米市消防署	職員1名
R3. 8. 8	令和3年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R3. 8. 8	令和3年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
R3. 8. 30	安全対策担当者研修	全国老施協	eラーニング	職員1名
R3. 9. 2	REMOTE MCS勉強会	(株)モルテン	w e b	職員1名
R3. 10. 8	登米市栄養士会病院福祉部会研修	登米市栄養士会	迫公民館	職員1名
R4. 2. 22	令和3年度 恵泉会フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	職員1名



## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	行事予定及び実施報告反省点の検討、各部門の連絡調整等	月1回	施設長、生活相談員他
ケアスタッフ会議	看護・介護・給食支援共有、新規更新利用者各種プラン説明等	月1回	施設長、生活相談員他
給食会議	献立メニュー、療養食・低栄養高リスクケース提供食の検討等	月1回	施設長、生活相談員他
連絡調整会議	施設運営、各種会議の議題設定等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
サービス担当者会議	ケア手段・方法の検討、プラン目標の設定検討等	月1回・随時	施設長、生活相談員他

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
入所判定検討委員会	入所申込の確認、入所判定基準に従い優先順位の決定	3か月1回	施設長、生活相談員他
サービス向上検討委員会	介護サービス計画の検討、サービス評価の実施・評価	月1回	施設長、生活相談員他
防災対策・安全運転検討委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施、災害対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止対策の検討、褥瘡予防計画書の作成	月1回	施設長、生活相談員他
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策の検討、虐待防止対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
事故防止・苦情対策委員会	事故防止対策の検討、ヒヤリハット・苦情処理等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
業務改善委員会	業務効率向上を考え業務変更及び業務分担変更、ロボット介護活用の検討	3か月1回	施設長、生活相談員他

### 【今後の取り組み】

- ①感染症や災害への対応力強化
- ②地域包括ケアシステムの推進
- ③自立支援・重度化防止の取組の推進…サービスの質の向上
- ④介護人材確保・介護現場の革新
- ⑤制度の安定性・持続可能性の確保

# 令和3年度 中田デイサービスセンター菊風荘 事業報告

## 【施設概要】

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-2 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会           |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会           |
| 4. 開設年月日 | 平成2年3月15日            |
| 5. 利用定員  | 25名                  |

## 【基本方針の実施内容について】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり  
コロナウイルスの感染が市内でも見られる中でも、感染対策を徹底し、通所事業を止めることなく進めることが出来ました。
2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場作り  
互いにコミュニケーションをとりながら、よい環境で業務を進めることが出来ました。
3. 安定した経営を目指した健全な財政運営  
算定要件を満たす加算を確実に取得し、収入増につなげました。
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革  
コロナウイルス対策が求められる中で、予防を徹底し事業を継続することが出来ました。
5. 時代の要求に応じた各種研修と質の高い職員育成  
内部研修を計画的に行い、積極的に参加することが出来ました。

## 【重点項目】

1. 認知症カフェにて認知症セミナー等を集客方式にて開催及び地区ミニデイ等に出向き研修を行います。  
コロナウイルス感染症予防の観点より、外部交流を行っていないため、実施出来ませんでした。
2. 介護ロボット等AIの活用を図り、職員の負担軽減を図り業務改善を行います。  
ケアパレット導入し、記録の簡素化を図れました。
3. 個別ケアとプライバシーに配慮した環境改善。  
事業所自体は古くなっているが、エリアを作り個別機能訓練の実施等を行えました。
4. 介護について地域貢献事業をとおり、地区への働きかけや機能開放を実践します。  
コロナウイルス感染症予防の観点より、外部交流を行っていないため、実施出来ませんでした。
5. 地域貢献の新しい形を模索し、必要な提携や協力に取り組みます。  
コロナウイルス感染症予防の観点より、外部交流を行っていないため、実施出来ませんでした。
6. 介護実習施設として、次世代の担い手を育成します。職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり専門性の向上を図り更なる資質向上を図ります。  
実習を受け入れられる体制であったが、コロナウイルスの影響で実習が中止となっています。
7. 指導監督職が次世代職員の育成を担う役割を遂行します。（研修講師等）  
法人内の研修に講師として、職員を派遣しています。今後も継続していきます。

## 【利用状況】

- |             |                           |
|-------------|---------------------------|
| 1. 年間延べ利用人員 | 6,683名                    |
| 2. 年間稼働日数   | 310日                      |
| 3. 年間稼働率    | 86.23% (通所介護+総合事業+生きがいデイ) |
|             | (78.09)% (通所介護)           |
|             | (8.14)% (総合事業)            |
| 4. 年間平均介護度  | 2.46 (通所介護)               |

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	111	115	101	104	104	113	117	127	122	104	100	103	1,321
要介護 2	203	207	216	245	219	229	223	232	211	170	171	192	2,518
要介護 3	63	67	64	75	68	68	63	55	78	86	76	59	822
要介護 4	58	80	80	89	77	74	67	70	60	68	78	96	897
要介護 5	46	32	39	36	45	36	37	46	45	43	35	54	494
計	481	501	500	549	513	520	507	530	516	471	460	504	6,052
事業対象者	8	7	6	3	4	5	4	4	5	4	4	5	59
要支援1	8	8	10	7	9	9	8	5	4	4	4	5	81
要支援2	36	49	43	39	37	40	42	50	42	33	37	43	491
計	52	64	59	49	50	54	54	59	51	41	45	53	631
合計	533	565	559	598	563	574	561	589	567	512	505	557	6,683

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	2	1	1	0	0	5	2	1	2	0	2	20
契約終了者数	3	2	2	2	1	2	5	0	0	2	2	2	23
月末契約者数	65	65	64	63	62	60	60	62	63	63	61	61	-3

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 5. 24~	ミニ運動会	春の運動会を開催しています。三日に分けて2種類ずつの競技を行い、紅組と白組に分けて競っています。優勝旗授与、表彰状を配布しています。	利用者 53名
R3. 5. 26			職員 23名
R3. 7. 7	七夕会	先月に作成した七夕飾りを飾り、歌を唄ったり、ゲームを行っています。	利用者 18名 職員 8名
R3. 8. 24	夏祭り	色々な模擬店やスイカ割り、職員の余興などを披露しています。	利用者 23名 職員 10名
R3. 9. 14	長寿を祝う会	長寿を祝う会開催し、最高齢、百寿、米寿、皆勤賞へ表彰しています。その後、職員による余興、運転手による余興を披露しています。	利用者 13名 職員 11名
R3. 10. 6~	ミニ運動会	秋の運動会を開催しています。三日に分けて2種類ずつの競技を行い、紅組と白組に分けて競っています。優勝旗授与、表彰状、金メダルを配布しています。	利用者 41名
R3. 10. 8			職員 24名
R3. 11. 19	焼き芋会	ドラム缶で火を焚き、利用者様にサツマイモをアルミホイルで包んでいただき、芋を焼いています。おやつ時間に焼いたものを切って提供します。	利用者 32名
R3. 11. 20			職員 16名
R3. 12. 23	クリスマス忘年会	サンタクロースからプレゼントを渡したり、職員によるいろいろな余興を披露しています。	利用者 19名
R3. 12. 24			職員 20名
R3. 12. 28	餅つき会	サンタクロースからプレゼントを渡したり、職員によるいろいろな余興を披露しています。	利用者 19名 職員 9名
R4. 1/13~	新春お楽しみ会	福笑いや紅白的あて、羽子板を作ったゲーム等、お正月の伝統的な遊びを工夫して楽しんでいます。	利用者 19名
R4. 1. 15			職員 27名
R4. 2/1~	節分	職員が鬼に扮し、年男や年女の方に袴を着て頂きました。利用者様に豆まきを行って頂きました。レクレーションでは鬼たたきゲームを行っています。	利用者 62名
R4. 2. 3			職員 16名
実施回数	10回	延 べ 参 加 者 数	463 名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R3.04.01	コンプライアンス研修	施設長	4名
R3.04.22	緊急時の対応について	准看護師 介護福祉士	1名
R3.05.27	コンプライアンス研修	施設長	6名
R3.06.30	事故発生の防止研修	介護福祉士	1名
R3.07.29	食中毒予防研修	管理栄養士	1名
R3.09.16	認知症研修	副主任	2名
R3.09.16	褥瘡予防研修	介護福祉士	2名
R3.10.27	個人情報の取扱いについて	施設長	1名
R3.11.17	身体拘束防止について	介護福祉士	1名
R3.12.22	事故発生の防止研修	介護福祉士	1名
R4.01.26	認知症研修	副主任	2名
R4.02.17	身体拘束廃止及び虐待防止研修	介護福祉士	1名
R4.02.21	ガウンテクニックについて	准看護師	5名
R4.02.22	ガウンテクニックについて	准看護師	4名
R4.03.09	感染症予防について	准看護師	1名
R4.03.10	ハラスメント防止について	施設長	1名

(2) 外部研修

今年度、未実施。

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	萩風園を含め施設管理等運営 に関する検討	月1回	生活相談員1名
デイサービス調整会議	デイ行事企画・事業執行等の検討	月1回	施設長他12名
給食会議	給食内容・栄養管理等の検討	月1回	生活相談員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災対策・安全運転委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施	月1回	生活相談員他4名
サービス向上委員会	①サービス提供内容の検討②介護 サービス提供計画の作成③サー ビス評価の実施・評価④サー ビス情報公表の実施・評価⑤内部・外部 職員研修計画の作成⑥研修会の開 催⑦記録整備の検討毎月1回別添 計画の内容で実施	月1回	生活相談員他4名
事故防止・苦情対策検 討委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦 情処理、安全対策の検討、記録整 備の検討。毎月1回別添計画の内 容で実施	月1回	生活相談員他3名
身体拘束・虐待廃止対 策委員会	身体拘束ゼロ対策、人権擁護、人 間の尊厳、虐待廃止対策の検討。	随時	生活相談員他3名
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止、衛生管理体制 の検討、褥瘡予防対策の検討。	随時	生活相談員他4名

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	なし		

#### (2) 活動ボランティア

年月日	団体名	内容	来訪者数
	なし		

## 【今後の取り組み】

### 1. 感染症や災害への対応

令和3年度も新型コロナウイルスが蔓延している状況であり、また、強い揺れを伴う地震も数回見られている中、感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的に提供される必要があります。各委員会を設け、研修などを実施し、感染症や災害発生時の対応力を高め、事業が継続できる体制を整えます。

### 2. 自立支援・重度化防止への取組

進捗状況等によるプロセス評価から、利用者への効果を示すアウトカム評価にシフトされていく状況があります。データの活用からみえる数値での評価を活用しながら、機能訓練、一連のケアの充実を図ります。また、営業地域内の地域におけるニーズ、また、他のサービス提供事業所の特色を把握したうえで、必要とされるサービスを提供できる体制を整え安定した事業につなげます。

# 令和3年度 特別養護老人ホーム迫風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1) 所 在 地     | 宮城県登米市迫町北方字大洞56番地6 |
| 2) 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 3) 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 4) 開 設 年 月 日 | 平成5年4月1日           |
| 5) 事業・利用定員   |                    |

事 業	利 用 定 員
介護老人福祉施設	50 名
短期入所生活介護	10 名
計	60 名

## 【 基 本 方 針 】

迫風園は、法人の基本理念を全職員が理解し、利用者本位のサービス提供に努めます。職員一人ひとりが自分の働き方に責任を負う経営人材として、戦略(目標)を持って、理念(方向性・到達点=目的)に近づく事業運営を図ります。その為に、全職員で良い「空気(職場環境)」を作り、「言える化(建設的対立)」を大切にして、必死のコミュニケーションに努め、組織力を最大限に発揮できるようにします。そして、組織が常にデーワン(1日目)の活力を保てるように、「捨てる」「止める」「入れ替える」という新陳代謝を考えます。無駄を省き、常に効率化・最適化を指向し、業務にメスを入れ続ける「改善」を最も重要な現場の本来業務とし、介護サービスの品質の維持・向上を図ります。働き方改革等の時代の変化に対応するために異なる意見やアイデアを建設的にぶつけ合い、挑戦(実践の理論化)し、成長し続ける個人や組織を目指します。また、社会福祉法人の原点である安定経営と奉仕の精神をもとに、高齢者ケアの基本理念である自立支援を個別の施設サービス計画書に基づき実践します。そして今年度は、改正介護保険や社会福祉法(運営基準の見直し等)に沿って、2025年問題や2040年問題に向けた体制の整備に努めます。その為、以下の五つの柱を基に実践します。

- ①地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
- ②職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
- ③安定した経営を目指した健全な財政運営
- ④社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
- ⑤時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成

## 【 重 点 項 目 】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と組織づくり
  - ・利用者、家族の意見を取り入れた個別ケア提供により、その人らしく生活できるサービス体制を構築しました。
  - ・利用者、家族の同意のもとに、看取り介護をガイドラインに沿って実施し、利用者にとって最善の方針をとりました。
  - ・利用者の尊厳や人権を守るため、虐待防止や身体拘束廃止の担当者を選定しました。
  - ・定期的なモニタリングの実施で、課題分析されたケアプランに基づいたサービス提供の実施を継続しました。
  - ・マッサージ師・音楽療法士を招き、心身の活性化を図りましたが、コロナウイルス感染症の影響で不定期の実施となりました。
  - ・定期的な歯科医師の専門指導を受け、口腔ケアを図りました。
  - ・利用者の医療ニーズを各医療機関に適切につなげました。
  - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図りました。
  - ・安全対策担当者の選定し、ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図りました。
  - ・業務継続計画の作成し感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理としました。
  - ・ご利用者及びご家族等からの苦情や提案に速やかに対応しました。
  - ・幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流ができませんでした。
  - ・コロナウイルス感染症の影響で、実習やインターンシップ、見学やボランティアを受け入れが、一部できませんでした。
  - ・コロナウイルス感染症の影響で行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員などと連携があまりできませんでした。
  - ・コロナウイルス感染症の影響でRUI Café(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等を開催できませんでした。
  - ・地域のケアマネジャーや地域包括支援センターなどと連携し緊急ショートステイなど受け入れました。

- ・外部のリハ専門職等との連携やICTの活用により、自立支援・重度化防止に資する介護を図ろうとしましたが、できませんでした。
- ・多職種によるチームケアのもと、利用者の日中の生活支援を評価し、自立支援・重度化防止に結びました。
- ・災害協定を結んでいる他施設(南風園・松風園)と連携し災害時対応を図り、地域と連携し協定を結べるよう努めました。

2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり

- ・人事考課規程に則り、職員一人ひとりの行動目標の達成を図りました。
- ・定期的な健康診断・検診を実施し、また適切なハラスメント対策を実施しました。
- ・法人内の研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加しました。
- ・施設の内部研修(テーマ別研修)を毎月開催しました。
- ・マニュアルを利用した業務習得状況の確認と、必要な指導を行うOJT体制を確立しました。
- ・禁煙や健康増進体操などに取り組み、労働災害防止にも結びました。
- ・各委員会にて、利用者に関する事、業務に関する事、職員に関する事等様々な事を企画する取組みを実施しました。

3. 安定した経営を目指した健全な財政運営

- ・節電・節水を常に意識し、光熱水費の削減を図るよう各自努力しました。
- ・修繕できるものは修繕して利用するよう対応しました。
- ・十分ではないが、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を行い、ムダを省くよう努めました。
- ・金銭、スペース、探す時間、取りに行く時間のムダを洗い出し削減や最適化に努めました。
- ・介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図ると同時に、業務改善(効率化・最適化)を図りました。

4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革

- ・専門職以外のマンパワーの育成・活用に向けたカフェ等の取り組みは不十分でした。
- ・介護医療一体化構想を理解し、一層の連携強化を図れました。
- ・地域貢献の新しい形を模索し、その為に必要な連携や協力に取り組みました。

5. 時代の要求に応じた各種の研究と質の高い職員の育成

- ・各委員会活動の充実を図りました。
- ・コロナウイルス感染症の影響で研修等計画的に参加できませんでした。
- ・指導監督職が次世代の育成を担う役割を担いました。(初任者研修講師や国試・ケアマネ試験対策講師)
- ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図りました。

【 利 用 状 況 】

- 年間延べ利用人員 17,762 名
- 年間稼働率 97.33 %  
(目標稼働率 98.00 %)
- 年間平均介護度 4.01
- 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	278	310	300	310	310	330	322	319	316	341	308	341	3,785
要介護 4	827	893	849	880	895	810	864	807	856	819	728	819	10,047
要介護 5	330	324	302	333	329	330	323	330	341	341	306	341	3,930
計	1,435	1,527	1,451	1,523	1,534	1,470	1,509	1,456	1,513	1,501	1,342	1,501	17,762

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	0	2	0	0	0	1	1	1	0	2	8
退所者数	1	0	2	0	0	0	1	1	1	1	2	1	10
月末入所者数	49	50	48	50	50	50	49	49	49	49	47	48	-2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス  
(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 4. 22	さくら祭り	新型コロナウイルス感染防止の為、外部アトラクションやご家族の来園を中止し、食堂にて合唱、カラオケを実施しました。	利用者 40名 職員 6名
R3. 7. 7	七夕会	余暇活動時に作成した七夕飾りや短冊を竹に飾り付け、利用者同士コミュニケーションを図り、季節感を味わって頂きました。	利用者 35名 職員 8名
R3. 7. 21	夕涼み会	射的やストラックアウトといった出店、スイカ割など、夏や夏祭りの雰囲気を感じてもらおう企画を実施しました。	利用者 39名 職員 8名
R3. 8. 19	盆供養	和室において、心性寺の住職さんによる盆供養が実施されました。職員が香炉を持ち各利用者様を回ると、焼香し手を合わせていました。	利用者 24名 職員 1名
R3. 8. 19	納涼花火大会	園庭にて、参加希望者を対象として、花火大会を実施。お盆の送り火として鎮魂の祈りを捧げました。	利用者 21名 職員 10名
R3. 9. 16	長寿を祝う会	新型コロナウイルス感染防止の為、外部アトラクションやご家族の来園を中止。余興については職員によるスコップ三味線を行いました。	利用者 45名 職員 14名
R3. 9. 22	お月見会	季節の果物やすずき、桜紙で作った団子を飾り、秋の風物詩であるお月見会を行い利用者に季節感を味わってもらいました。	利用者 21名 職員 2名
R3. 11. 12	芋煮、焼き芋会	芋煮、焼き芋の下準備を行い、屋外にて調理する工程を見学しました。秋の味覚を味わい季節を感じていただきました。	利用者 33名 職員 7名
R3. 12. 27	クリスマス会	グループ合同のクリスマス会を食堂にて実施。クリスマスゲーム大会を行った後、サンタクロースよりプレゼントを頂き、クリスマス気分を味わって頂きました。	利用者 34名 職員 6名
R3. 12. 28	餅つき会/正月飾り付け	年末恒例の餅つき・正月飾り付けを、職員と利用者で実施。利用者は手先を使い良いリハビリにもなりました。	利用者 31名 職員 8名
R4. 1. 1	新年会	新年のご挨拶とお屠蘇を振る舞い、獅子舞やおみくじ、御祝膳で新春の季節感を味わっていただきました。	利用者 10名 職員 7名
R4. 2. 3	節分・豆まき	年男(利用者)と鬼に仮装した職員が記念写真を撮影した後、食堂付近で豆まきをした。季節感を味わっていただきました。	利用者 43名 職員 10名
R4. 3. 3	ひな祭り会	ひな祭りにちなんだゲームを行い、雛壇や桃の花を見てもらいながら季節の雰囲気を楽しんでもらいました。	利用者 29名 職員 7名

【短期入所者生活介護サービス】

- 年間延べ利用人員 3,128 名
- 年間稼働率 85.70 %  
(目標稼働率 90.00 %)
- 年間平均介護度 3.11
- 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
要支援 2	0	0	3	0	0	0	0	0	11	3	0	0	17
要介護 1	19	25	15	20	21	21	25	23	24	25	41	44	303
要介護 2	19	40	42	42	34	41	37	43	54	53	37	52	494
要介護 3	142	130	140	97	104	95	68	69	87	107	95	74	1,208
要介護 4	37	38	32	80	63	78	96	68	51	40	55	69	707
要介護 5	29	24	53	44	30	29	25	28	47	32	36	13	390
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
計	248	260	285	283	252	264	251	231	274	264	264	252	3,128



【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3. 4. 14	コンプライアンス研修(服務規程)	施設長	10名
R3. 4. 15	B C P（事業持続計画）研修	副主任	7名
R3. 5. 12	行動規範・個人情報保護研修	施設長	5名
R3. 5. 14	介護基礎研修(移乗・移動)	介護福祉士	5名
R3. 6. 9	身体拘束・高齢者虐待研修	施設長	8名
R3. 7. 14	食中毒研修	管理栄養士	6名
R3. 7. 21	介護基本研修（排泄介助）	介護福祉士	3名
R3. 8. 18	安全対策担当者研修	介護福祉士	5名
R3. 8. 24	緊急時の対応研修	看護師	6名
R3. 8. 31	防災研修（発電機の取り扱い）	副主任	3名
R3. 9. 17	ポジショニング研修	介護福祉士	4名
R3. 10. 13	安全運転・安全衛生研修	施設長	8名
R3. 11. 4	防災研修（防災釜の取り扱い）	管理栄養士	5名
R3. 11. 10	感染症予防研修	看護師	7名
R4. 1. 13	感染症予防研修	看護師	6名
R4. 1. 20	L I F E（科学的介護情報システム）	副主任	13名
R4. 2. 9	介護保険制度について	施設長	8名
R4. 2. 28	認知症研修	副主任	2名
R4. 3. 9	事故防止研修	介護福祉士	7名
R4. 3. 10	防犯研修	副主任	11名
R4. 3. 17	救急救命研修	副主任	11名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R3. 5. 18	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	石巻市	職員1名
R3. 5. 14	令和3年度主任介護支援専門員更新研修（8回）	宮城県ケアマネジャー協会	Web	職員1名
R3. 7. 7	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	Web	職員1名
R3. 7. 13	令和3年度介護支援専門員専門研修Ⅱ	宮城県ケアマネジャー協会	Web	職員1名
R3. 8. 5	恵泉会新任職員研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3. 8. 18	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策報告会	宮城県長寿社会政策課	Web	職員1名
R3. 10. 1	令和3年度登米市認知症カフェ研修会	登米市福祉事務所長寿介護課	登米市	職員1名
R3. 10. 6	恵泉会人事考課規程改正研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3. 10. 7	恵泉会人事考課規程改正研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3. 10. 8	恵泉会人事考課規程改正研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3. 10. 8	恵泉会人事考課規程改正研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3. 10. 8	恵泉会人事考課規程改正研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3. 10. 30	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	Web	職員1名
R3. 11. 25	登米・気仙沼・石巻保健所管内給食従事者等研修会	宮城県登米保健所	Web	職員1名
R3. 12. 6	感染症予防基礎研修	宮城県障害福祉課	Web	職員1名
R3. 12. 13	感染対策強化のためBCP計画策定研修	宮城県障害福祉課	Web	職員1名
R3. 12. 17	成年後見人制度研修	登米市福祉事務所長寿介護課	登米市	職員1名
R3. 12. 23	地域での看取りを考える研修会	登米地区地域医療対策委員会	Web	職員1名
R4. 2. 18	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会本部	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リーダー会議	グループケアを進めるうえでの業務改善点を話し合い、協議しながらグループ間の調整を図る	第3木曜日	グループリーダー
ケア会議	介護全般及び個別支援内容の統一を図る。	第2水曜日	施設長、管理栄養士、相談員 看護師、介護職員
職員会議	利用者の生活の質の向上に向け、業務全体が円滑に進むよう連絡、調整を図る	第3水曜日	全職員
給食会議	充実した食事提供のため、献立、調理に関する事項の検討及び改善を行う	第2金曜日	施設長、管理栄養士、受託職員、生活相談員、看護職員、介護職員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随時	モニタリング・ケアカンファレンス（ケアプランの見直し等）	介護部	相談部、介護部、給食部、看護部
随時	サービス担当者会議（更新・変更・新規）	会議室	施設長、相談部、介護部、給食部、看護部、利用者、家族

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止等、リスクマネジメントの検討	第4木曜日	施設長、各委員
感染症・褥瘡対策委員会	感染症予防、褥瘡予防、BCPに関する検討	奇数月第3木曜日	施設長、各委員
アクティビティケア検討委員会 (自立支援・重度化防止検討委員会)	地域交流や日中活動の内容検討 科学的根拠に基づいた理論と技術の実践の検討	第1水曜日	施設長、各委員
業務改善委員会 (介護ロボット活用委員会)	職員の資質の向上やサービス内容の向上 業務の省力化、効率化を検討する	第1木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災、防犯、BCPに関する検討	第3木曜日	施設長、各委員
拠点連携委員会	併設通所介護事業所との連携事業の検討	随 時	施設長、各委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
7月26日	宮城県迫桜高等学校3年生	施設見学	4名
7月31日	宮城県佐沼高等学校1年生	ボランティア（施設外清掃）	1名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
7月20日	東北医科薬科大学	介護在宅医療体験実習代替	2名	2名
	計		2名	2名

## 【今後の取り組み】

- 1 利用者が快適に過ごせる取り組み
  - 利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケアの提供により、その人らしく生活できるサービス体制を構築します。また、医療との連携により看取り介護をガイドラインに沿って実施し、利用者にとって最善の方針をとります。
  - 利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止についての研修等を実施し、常に意識して援助できるようにしていきます。
  - 生活のメリハリや充足感を保つよう、音楽療法や各種行事などのほか、簡単にできるアクティビティを実施していきます。
  - 会議やミーティングにて、既存の考え方に捉われず、「今まで・・・」ではなく、「これからどうする」という考え方で、職員全体で検討していきます。
  - 人手不足や忙しさに捉われず、積極的に研修に参加し、新しい考え方や工夫を持ち込み活かしていきます。
  - 事故防止のため、安心安全な介護の仕方を検討し、検証していきます。
  
- 2 業務の効率化の取り組み
  - 見守り介護ロボットやインカムにて、安全安心な介護を行っていくとともに、介護職員の業務負担の軽減をすすめるよう適切・効果的な使用を検討し、効率化を図っていきます。また、今後必要と思われるロボット機器の検討も併せて行っていきます。
  - 業務全般を見直し、業務の集約化を図っていきます。
  
- 3 安定した経営と運営の取り組み
  - 毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。そのためにどのような効果的な行動を取ったかを検証し、マニュアル化していきます。
  - 各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換にて、現在の社会的ニーズを早期に発見し、今後の運営に向け対応していきます。
  
- 4 開かれた施設作りへの取り組み
  - 実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めます。
  - 認知症カフェの実施。RUI Café(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等を開催し、地域とのつながりを持って行きます。
  - 新型コロナウイルス感染症対策に配慮の上、敬老会などの行事や気軽に面会できるような対応にて家族とのつながりを大切にしていきます。
  - コロナ禍にて、行事や面会等難しい場合が予想されますので、利用者の状況が的確に家族に伝わり安心していただけるようにしていきます。
  - 災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校とも連携し災害時対応時に協力体制ができるよう努めます。
  
- 5 職員のスキルアップの取り組み
  - 外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるようにしていきます。
  - 労働災害を無くすようにし、ハラスメントについても、職場の雰囲気作りや体制整備により、職員にとっても安心安全な職場とします。
  
- 6 感染対応への取り組み
  - 感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制構築をします。
  - 感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、感染対策委員会にて検討し、すみやかに対応できるよう研修訓練を実施します。

# 令和3年度 迫デイサービスセンター翠風荘 事業報告

## 【施設概要】

1. 所在地 宮城県登米市迫町北方字大洞45-3
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成3年4月1日
5. 利用定員 40名

翠風荘は、法人の基本理念を全職員が理解し、利用者本意のサービス提供に努めます。職員一人ひとりが自分の働き方に責任を負う経営人材として、戦略(目標)を持って、理念(方向性・到達点=目的)に近づく事業運営を図ります。その為に、全職員で良い「空気(職場環境)」を作り、「言える化(建設的対立)」を大切にして、必死のコミュニケーションに努め、組織力を最大限に発揮できるようにします。そして、その組織が常にデーワン(1日目)の活力を保てるように、「捨てる」「止める」「入れ替える」という新陳代謝を考えます。無駄を省き、常に効率化・最適化を指向し、業務にメスを入れ続ける「改善」を最も重要な現場の本来業務とし、介護サービスの品質の維持・向上を図ります。働き方改革等の時代の変化に対応するために異なる意見やアイデアを建設的にぶつけ合い、挑戦(実践の理論化)し、成長し続ける個人や組織を目指します。また、社会福祉法人の原点である安定経営と奉仕の精神をもとに、高齢者ケアの基本理念である自立支援を個別援助計画に基づき実践します。そして今年度は、改正介護保険や社会福祉法(運営基準の見直し等)に沿って、2025年問題や2040年問題に向けた体制の整備に努めます。その為、以下の五つの柱を基に実践します。

- ①地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
- ②職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
- ③安定した経営を目指した健全な財政運営
- ④社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
- ⑤時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成

サービス提供時間は7時間以上8時間未満とします。また、日曜日の稼働をやめ、月曜日から土曜日までの営業とします。

## 【重点項目】

### 1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり

- ・利用者及び家族の意向や意見を尊重しケアプランを基に個別ニーズを把握しサービスの向上に結びました。
- ・利用者の尊厳や人権を守るため、人権の擁護や虐待防止の担当者を選定し取り組みました。
- ・対人援助技術の向上を図り、あらゆる場面で心地よい接遇に努めました。
- ・季節感ある環境整備により、生活の活性化を図れました。
- ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図れました。
- ・ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図れました。
- ・感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底に努めました。
- ・新型コロナ対策に伴い、幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流、定期的な開催ができませんでした。
- ・新型コロナ対策に伴い、実習やインターンシップ、見学やボランティアの積極的な受け入れができませんでした。
- ・利用者や家族のニーズを捉え、サービスの改善に積極的に取り組みました。
- ・利用時の対話から思いを把握し個々人の連絡帳の活用を図り信頼関係を築きました。
- ・担当者会議において各事業者等と互いに情報の共有に努めました。
- ・新型コロナ対策に伴い、RUIカフェ(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等の開催ができませんでした。
- ・十分ではないが外部のリハ専門職等との連携やICTの活用により、自立支援・重度化防止に取り組みました。
- ・事業所に対する理解を深めてもらうため、広報誌の発行(年4回)により活動内容を発信しました。
- ・新型コロナ対策に伴い、行事や地域貢献を他事業所や他団体、学校などと連携して共同開催することができませんでした。
- ・社会福祉法人としての利益還元として食事代無料化とし、利用者負担の軽減を図りました。

### 2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり

- ・行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成に努めました。
- ・定期的な健康診断・検診を実施するとともに、ハラスメント対策を適切に実施しました。
- ・法人内研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加しました。
- ・事業所内部研修(テーマ別研修)を実施したが、他施設の参加は感染防止のため実施しませんでした。
- ・十分ではないが禁煙や健康増進体操などに取り組み、労働災害防止に結びました。

3. 安定した経営を目指した健全な財政運営

- ・節電、節水を常に意識し、光熱水費の削減に努めました。
- ・修繕できる物は修繕して利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけました。
- ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省くよう努めました。
- ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、それに近づく手順や方法を検討しました。
- ・介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図り、業務改善し、業務の効率化・最適化を図りました。

4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革

- ・十分ではないが、専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討しました。
- ・新型コロナ対応に伴い、介護医療一体化を理解し一層の連携強化を企図しましたができませんでした。
- ・新型コロナ対応に伴い、地域貢献の新しい形を模索し、必要な提携や協力に取り組もうと企図したことができませんでした。

5. 時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成

- ・各委員会活動の充実を図れました。
- ・新型コロナ対応に伴い、認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習指導担当者養成研修等に参加できませんでした。
- ・新型コロナ対応に伴い、各種・各機関の研修会に参加し専門的知識を身につけ伝達を行うことができませんでした。
- ・指導監督職員が次世代の育成を担う役割が遂行できました。  
(介護職員初任者研修講師や国試対策講師)。
- ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現が図れました。

【 利 用 状 況 】

- 年間延べ利用人員 10,375 名
- 年間稼働日数 300 日
- 年間稼働率 86.46 % (通所介護+総合事業)  
(79.39) % (通所介護)  
(7.07) % (総合事業)
- 年間平均介護度 2.61 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	110	136	127	179	153	154	170	161	147	126	122	130	1,715
要介護 2	206	254	271	302	286	283	286	274	268	244	244	250	3,168
要介護 3	122	153	170	217	242	248	217	183	209	214	229	277	2,481
要介護 4	80	120	142	162	126	124	164	126	106	106	86	90	1,432
要介護 5	34	47	52	56	53	65	71	70	76	66	61	80	731
計	552	710	762	916	860	874	908	814	806	756	742	827	9,527
事業対象者	7	12	12	13	12	8	9	9	7	8	8	6	111
要支援 1	9	9	10	17	16	16	13	17	17	17	24	25	190
要支援 2	33	41	42	44	47	52	55	62	47	46	39	39	547
計	49	62	64	74	75	76	77	88	71	71	71	70	848
合計	601	772	826	990	935	950	985	902	877	827	813	897	10,375

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	2	4	4	2	4	6	4	4	4	1	2	41
契約終了者数	2	5	2	5	6	3	1	13	8	1	1	3	50
月末契約者数	107	104	106	105	101	102	107	98	94	97	97	96	-9

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.08.17	夏祭り	射的や水ヨーヨーなどのゲームを行い、盆踊りを踊り夏祭りの雰囲気を楽しんでいただきました。	利用者 36名 職員 13名
R3.09.16 ～09.18	長寿を祝う会	利用者の長寿を祝い、アトラクションなどを楽しんでいただきました。	利用者 102名 職員 40名
R3.12.22 ～12.24	クリスマス忘年会	職員と一緒に奈興に参加したり職員の扮するサンタクロースからクリスマスプレゼントを貰い、クリスマスを満喫していただきました。	利用者 100名 職員 38名
R4.01.10 ～01.12	新年会	余興を見たりお屠蘇を振る舞い、新年を迎えたことをみんなで祝いました。	利用者 102名 職員 38名
R4.02.03 ～02.05	節分会	年男・年女の利用者様を紹介し豆まきを行い、邪気や厄を払い一年間健康に過ごせるよう祈願しました。	利用者 113名 職員 35名
R4.03.03 ～03.05	ひなまつり会	ひなまつりにちなんだゲームを行い、季節を感じていただきながら楽しんでいただきました。	利用者 104名 職員 37名
		延べ参加者数	利用者 557名 職員 201名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3.05.26	コンプライアンス研修	施設長	6名
R3.06.25	認知症ケア研修	管理者兼生活相談員	4名
R3.07.13	緊急時対応（救命救急）研修	管理者兼生活相談員	8名
R3.07.16	接遇研修	介護福祉士	5名
R3.07.20	安全運転講習	介護福祉士	5名
R3.08.20	リスクマネジメント研修	管理栄養士	5名
R3.08.27	食中毒予防研修	介護福祉士兼生活相談員	4名
R3.09.27	身体拘束廃止研修	作業療法士	5名
R3.11.30	感染予防研修	管理栄養士	4名
R3.12.25	冬道の安全運転研修	介護福祉士	4名
R4.02.09	個人情報保護（プライバシー）研修	管理者兼生活相談員	5名
R4.02.11	感染症対応（嘔吐物処理）研修	准看護師	6名
R4.02.12			6名
R4.03.10	防犯対策講習	管理者兼生活相談員	12名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 04. 19	令和3年度人事考課者研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3. 07. 21	ほのぼのNEXT合同操作説明会	恵泉会本部	Web	職員1名
R3. 08. 05	令和3年度新任職員研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R3. 10. 07	人事考課規程改正研修	恵泉会本部	登米市	職員1名
R4. 02. 18	令和3年度職員フォローアップ研修	恵泉会本部	Web	職員1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	利用者職員に関わる議題内容	月1回	生活相談員 1名
ケアスタッフ会議	利用者利用状況等に関わる議題内容	月1回	施設長他 17名
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	管理者兼生活相談員 1名
給食会議	給食に関する事項等	月1回	給食係 1名

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
サービス検討委員会	利用者のサービス向上について	月1回	生活相談員他5名
リスクマネジメント・身体拘束 廃止検討委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止について	月1回	生活相談員他5名
アクティビティケア・自立支援重度化防止検討委員会	地域交流、重度化防止、利用者ケアの充実について	月1回	生活相談員他5名
感染症・褥瘡対策委員会	新型コロナ、感染症、褥瘡の対応について	月1回	生活相談員他6名
防災委員会	利用者、職員の安全対策について	月1回	生活相談員2名

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
R3. 04. 02 ～04. 07	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	3名
R3. 05. 14 ～05. 26	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	2名
R3. 06. 11 ～06. 23	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	2名
R3. 07. 02 ～07. 21	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	2名
R3. 08. 04 ～08. 23	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	3名
R3. 09. 02 ～09. 24	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	4名
R3. 10. 04 ～10. 25	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	8名
R3. 11. 01 ～11. 24	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	8名
R3. 12. 02 ～12. 28	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	5名

R4.01.07 ～01.21	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	5名
R4.02.18 ～02.25	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	3名
R4.03.01 ～03.28	社協ボランティア友の会	利用者支援補助	6名
計			51名

## 【今後の取り組み】

### 1. 利用者が快適に過ごせる取り組み

- ・利用者、家族のニーズを取り入れた個別ケアの提供により、自宅でもその人らしく生活できるサービス体制を構築します。
- ・利用者の尊厳や人権を守るため、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止を研修等にて常に意識化し、援助できるようしていきます。
- ・機能訓練を充実させ、利用者の身体機能の維持向上を図っていきます。
- ・生活のメリハリや充足感を保つよう、各種行事などのほか、簡単にできるアクティビティを実施していきます。
- ・会議やミーティングにて、既存の考え方に捉われず、「今まで・・・」ではなく、「これからどうするか」という考え方で、職員全体で検討していきます。
- ・人手不足や忙しさに捉われず、積極的に研修に参加し、新しい考え方や工夫を持ち込み活かしていきます。
- ・事故防止のため、安心安全な介護の仕方を検討し、検証していきます。

### 2. 業務の効率化の取り組み

- ・介護職員の業務負担の軽減をすすめるよう適切・効果的な使用を検討し効率化を図っていきます。また、今後必要と思われるロボット機器の検討も併せて行っていきます。
- ・業務全般を見直し、業務の細分化や集約化を図っていきます。

### 3. 安定した経営と運営の取り組み

- ・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めます。そのためどのような効果的な行動を取ったかを検証し、マニュアル化していきます。
- ・各関係機関からの情報や老人福祉施設協議会等、他施設との情報交換にて、現在の社会的ニーズを早期に把握し、今後の運営に向け対応していきます。

### 4. 開かれた施設作りへの取り組み

- ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努めます。
- ・認知症カフェの実施。RUI Café(オレンジカフェ)にて認知症セミナー等を開催し、地域とのつながりを持って行きます。
- ・家族が気軽に相談や来園できる体制ができるよう取り組みます。
- ・災害協定を結んでいる他施設や隣接する登米市社会福祉協議会及び迫支援学校とも連携し災害時対応時に協力体制ができるよう努めます。

### 5. 職員のスキルアップの取り組み

- ・外部研修及び内部研修の参加により、新しい知識や工夫力を養うとともに、法人で実施する初任者研修や国試、ケアマネ試験対策講師に職員を派遣し、個々がスキルアップできるようにしていきます。
- ・労働災害を無くすようにし、ハラスメントについても、職場の雰囲気作りや体制整備により、職員にとっても安心安全な職場とします。

### 6. 感染対応への取り組み

- ・感染症の発生・蔓延等が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制構築をします。
- ・感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、感染対策委員会にて検討し、すみやかに対応できるよう研修訓練を実施します。



# 令和3年度 特別養護老人ホーム南風園 事業報告

## 【施設概要】

- 1) 所在地 宮城県登米市南方町高石6番地43  
2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会  
3) 经营主体 社会福祉法人恵泉会  
4) 開設年月日 平成6年5月1日  
5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	54名
短期入所生活介護	16名
計	70名

新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、基本的な感染予防、ワクチン接種、職員対象の抗原キットによる検査など積極的に進め、感染を防ぎながら、基本方針である要支援・要介護者の支援体制の構築、「自立支援・重度化防止」を主に地域包括ケアの実現に向け事業取り組みを進めました。特に指定されている長期と短期の利用者居室の混在する課題を居室替えることでゾーニングを可能にし、リスク低減と利用者確保を図りました。

「科学的介護の推進」の取組は、口腔栄養、認知機能やADL等の身体機能の評価を実施、排泄ケア、口腔ケア実践へと結びつけ個別の援助計画に反映のほか、栄養マネジメント、褥瘡ケアマネジメントを他職種協働で進め、個別ケアによりサービスの質の向上を進めました。また、業務改革、働き方改革の一環としては、インカム導入により業務の効率と負担の軽減に繋がりました。

## 【重点項目】

### 1. サービスの質の向上の取り組み

自立支援に資する取り組みとして機能訓練計画・口腔ケア計画・栄養ケアマネジメント計画・褥瘡予防ケアマネジメント計画をそれぞれ進め、個別援助計画に反映させ、ケアを実践しました。月1回ケア会議においてモニタリングと評価をするなど他職種協働で進めました。

重度化防止の取り組みとしては、ADL評価を6ヶ月に1回実施し、心身状況の評価確認をし、個別ケア実践に活用実施しました。さらに生きがいサービス活動（生花・書道・音楽・創作等）を月4回実施した他、コロナ禍において利用者に楽しんでもらえる企画（お楽しみ会）を26回実施しました。口腔栄養ケアについては、嘱託歯科医師による研修を実施、知識と技術の習得を図りました。

### 2. 認知症介護・地域包括ケア推進への取り組み

認知症への対応力向上のために、内部研修により理解と知識技術の習得を図りました。また認知症ケアに関する専門研修を職員1名が受講し、また、無資格者の研修に義務づけられた認知症介護基礎研修を職員2名が受講し、ケア体制整備を図りました。さらに認知症介護マニュアルを見直し、活用できるように取り組みました。

### 3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画及び自然災害における業務継続計画に基づく内部研修により理解を深めました。また、現状や最新状況に合わせて新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画を見直しました。

宮城県原子力防災訓練における施設受入の通信訓練を松風園との間で実施しました。

利用者・家族等の面会は、窓越しによる面会を行いました。Zoomによるオンライン面会の環境を整えたが、問い合わせのみで実施はありませんでした。

### 4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

新型コロナの影響により登米総合産業高校からの実習受入、職場体験等の実習はありませんでした。研修教育においては、外部研修にオンライン方式で参加しました。内部研修は計画的に研修委員会において充実を図って進めました。時間の合間を見つけたミニ研修の開催は少なかったが、スライドボードの使い方や持ち上げない介護の実践などをテーマに必要な学びの機会を作りました。

認知症介護実践者研修1名、認知症介護基礎研修2名の受講により「認知症ケア加算」取得をめざした体制づくりを進めました。

全職員へのコンプライアンス研修受講により基本理念、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図りました。

介護支援専門員、介護福祉士をそれぞれ1名が資格取得し、介護職員初任者研修を1名が修了しました。

5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み  
業務改革、働き方改革の一環として、インカム導入は非常に介護業務の効率と負担の軽減に繋がりました。また、年5日の年次有給休暇は確実に取得しました。
6. 地域貢献・地域連携の取り組み  
地域貢献事業、地域交流事業としての認知症カフェ「みなみかぜ」は、新型コロナの影響で実施しませんでした。
7. 継続的な事業運営の取り組み  
業務継続に向けた取り組みとして、この地域の新型コロナ感染状況を踏まえ、不安と恐れを身近に感じる中で、基本的な感染予防、ワクチン接種、職員対象の抗原キットによる検査など積極的に進め、感染拡大を防止しました。特に長期部屋と短期部屋として指定されている利用者の居室の混在課題を居室替えることでゾーニングを可能にし、リスク低減と利用者確保を図りましたが、目標稼働率は、長期においては、入院者数が多かったため目標稼働率を達成出来ませんでした。退院することなく契約解除となる利用者が多くいたことが要因でした。新規入所は20日から30日以内で取り組みました。短期は、新型コロナの影響により利用に繋がらず、目標値に至りませんでした。

## 【 利用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 18,511 名
2. 年間稼働率 93.92 %  
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 4.16
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	251	277	264	270	276	270	279	270	278	263	236	279	3,213
要介護 4	738	763	739	775	817	780	772	759	835	741	649	779	9,147
要介護 5	540	546	510	490	496	472	547	530	527	521	459	513	6,151
計	1,529	1,586	1,513	1,535	1,589	1,522	1,598	1,559	1,640	1,525	1,344	1,571	18,511

## 5. 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	2	0	2	3	0	3	2	0	1	3	2	19
退所者数	1	1	1	2	1	3	2	0	0	5	1	2	19
月末入所者数	52	53	52	52	54	51	52	54	54	50	52	52	±0

## 【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス  
(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.04.18	春まつり	感染予防の為、規模縮小での開催。桜の見えるデイルームで春を感じながらカラオケ大会と桜を眺めながら園庭の散策を実施。	利用者 36名 職員 13名
R3.05.01 ~05	菖蒲湯	端午の節句にちなみ、昔からの風習に習って湯船に菖蒲を浮かべ健康と無病息災を願いました。その効能により腰痛や神経痛を和らげ心身共にリラックスして頂きました。	利用者 28名 職員 13名
R3.07.02	七夕交流会	感染予防の為、他事業所との交流会は実施しませんでした。職員と利用者によるレクリエーションを実施。	利用者 47名 職員 9名
R3.07.30	夕涼み会	盆踊りや神輿担ぎ、スイカ割りを行い、気分転換を図って頂くと共に、夏の涼を感じて頂きました。	利用者 59名 職員 24名
R3.08.19	盆供養	住職を迎え読経・焼香を行い物故者の供養を行いました。	利用者 17名 職員 5名
R3.09.12	長寿を祝う会	長年の労に感謝し、利用者様による歌の披露、職員による余興を鑑賞しながら楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 61名 職員 22名
R3.10.06	秋のレクリエーション (あやめ園との交流会代替)	運動の秋にちなみ利用者全員で簡単なゲームを行うことで心身の活性化に繋がりました。	利用者 36名 職員 12名
R3.12.15 ~18	ゆず湯	寒くなってくる季節のため、昔からの風習に習って湯船に柚子を浮かべて入浴して頂きました。	利用者 69名 職員 24名
R3.12.22	クリスマス忘年会	クリスマスプレゼントの贈呈。その後、職員による余興(二人羽織、踊り)を実施。	利用者 62名 職員 14名

R4.01.12	新年会	新年の雰囲気を感じながら一年の健康を願いました。職員による獅子舞、おみくじ釣りを行いました。	利用者 62名 職員 14名
R4.02.03	節分	健康と長寿を願い、第一食堂にて豆まきを行いました。	利用者 62名 職員 10名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 4,281 名
2. 年間稼働率 73.30 %  
(目標稼働率 85.00 %)
3. 年間平均介護度 3.02
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	44	72	39	49	59	50	62	78	62	65	54	55	689
要介護 2	118	136	89	97	77	59	73	65	68	51	59	53	945
要介護 3	74	60	45	85	114	73	74	89	111	116	109	78	1,028
要介護 4	51	46	45	51	72	68	81	72	80	65	62	75	768
要介護 5	48	34	75	58	64	76	90	73	84	66	81	78	827
その他	0	0	0	0	6	5	5	6	2	0	0	0	24
計	335	348	293	340	392	331	385	383	407	363	365	339	4,281

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
  - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師 (講演者)	参加者
R3.04.25	安全対策研修	南風園介護福祉士	5名
R3.06.06~19	業務効率向上研修	南風園介護福祉士	17名
R3.06.11	褥瘡予防研修	南風園副主任看護師	12名
R3.06.16	感染症蔓延予防研修 (前期)	南風園管理栄養士	8名
R3.06.25	身体拘束廃止推進研修 (前期)	南風園介護福祉士	6名
R3.06.28	介護事故防止研修 (前期)	南風園介護福祉士	10名
R3.07.12~14.16	業務体制管理研修	南風園施設長	33名
R3.07.13	医療研修	南風園副主任看護師	10名
R3.08.24	安全衛生管理研修	南風園施設長	7名
R3.09.21	認知症高齢者介護基本研修	南風園看護師	12名
R3.09.28	交通安全教室	南風園施設長	10名
R3.10.29	介護予防研修	南寿荘作業療法士	6名
R3.11.24	感染症蔓延予防研修 (後期)	南寿荘准看護師	8名
R3.11.30	伝達研修介護福祉士養成継続訓練	南風園介護福祉士	8名
R3.12.08	B C P 研修	南風園介護福祉士	5名
R3.12.27	プライバシー研修	南風園主任介護支援 専門員	5名
R4.01.28	身体拘束廃止推進研修 (後期)	南寿荘准看護師	9名
R4.02.22	介護事故防止研修 (後期)	南風園介護福祉士	14名
R4.03.31	口腔ケア研修	みなみかた歯科医院 院長	18名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開催地	参 加 者
R3. 05. 25	令和3年度OJT研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3. 06. 1～ R3. 11. 1	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R3. 06. 23	令和3年度認知症介護基礎研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R3. 06. 11, 2 4 R3. 7. 2. 16	令和3年度介護福祉士養成施設実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R3. 07. 12	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R3. 09. 15	令和3年度宮城県社会福祉施設保健担当者研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3. 10. 01	令和3年度登米市認知症カフェ研修会	登米市	登米市	職員1名
R3. 10. 19	高齢者ケア施設で働く看護職員の研修	宮城県看護協会	仙台市	職員1名
R3. 10. 20	令和3年度「老人福祉施設職員研修」	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3. 011. 4～ R3. 11. 10	令和3年度認知症介護実践者研修	宮城県	大崎市	職員1名
R3. 11. 11	白十字Dケアセミナー「おむつかぶれを予防しよう」	白十字株式会社	オンライン	職員1名
R3. 11. 16	令和3年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	呂城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R3. 11. 30	令和3年度登米・気仙沼・石巻管内給食従事者研修	登米保健所	動画配信	職員2名
R3. 12. 15	令和3年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	オンライン	職員1名
R3. 12. 18	働き続ける為の勤務環境改善研修	宮城県看護協会	オンライン	職員1名
R4. 01. 07	令和3年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	オンライン	職員1名
R4. 03. 12	令和3年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	石巻市	職員1名
R4. 03. 23	令和3年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	オンライン	職員1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	月1回	施設長・相談員・相談員・看護師・介護職員
サービス担当者会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
栄養ケアマネジメント会議	利用者栄養状態の把握等をマネジメント及び検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
苦情処理リスクマネジメント委員会	家族・利用者の苦情に対しリスクを考慮しながら予防と防止対策を図っている。	毎月第1木曜日	施設長・相談員・看護師・介護職員
サービス向上委員会	利用者サービスの質の向上を検討企画し、サービス評価事業に取り組んでいる。	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
研修委員会	職員の資質の向上を図れるよう、施設内研修の実施の企画調整を行っている。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束0をめざし誘発原因の除去や環境の整備を行っている。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
予防衛生対策委員会	各種感染症の予防・対策の検討を行い、まん延の防止に努めている。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡が発生しないよう体制の整備及び、研修等を行っている。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備している。	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
マニュアル検討委員会	施設サービスを適切に提供できるよう各種マニュアルの作成、見直しを行っている。	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【今後の取り組み】

1. サービスの質の向上の取り組み

厚労省データベース「LIFE」を活用し、科学的な根拠に基づき、利用者の自立支援に資する機能訓練・口腔ケア・栄養ケア・褥瘡予防ケア・認知症ケアに対して一体的に取り組みます。

1) 自立支援・重度化防止の取り組み

- ①ADL評価・興味関心チェックシートを基に、日課表やウィークリープラン、マンスリープランを作成し、利用者一人一人に応じた一日の過ごし方が出来るよう工夫します。
- ②認知症の状態に配慮したケアを行うため、認知症マニュアルに添って個別援助計画を立案作成、実践、評価検討、再計画をPDCAサイクルで実践します。
- ③利用者の状況に応じた口腔ケアのため、嘱託医・歯科衛生士の指導の他、口腔ケア研修により知識、ケア技術等の研修を行い、口腔ケアを実践します。また口腔機能スクリーニングの実施、評価など利用者の状況に応じた丁寧な口腔衛生管理を実践します。
- ④心身機能維持の取り組みは、体を使った活動と生きがいサービス活動により展開します。また、定期的に機能訓練プログラム（認知機能・運動器機能）を実施します。また、生きがいサービス活動（生花・書道・音楽・創作・レク活動・外出等）を実施します。機能向上や維持の効果測定にはADL評価を6ヶ月に1回実施し、個別援助計画に反映、個別ケアへの取り組みを進めます。
- ⑤栄養ケアは、利用者の栄養状態の把握、低栄養リスクの高い利用者への丁寧な口腔衛生管理を実施し、経口の維持に継続して取り組みます。栄養（1,400kcal/日）と水分（1,500ml）を摂取目標とし、心身の状態、摂取状況の確認により状態に合わせた食形態や食事提供全般にわたる工夫や試みを担当者会議で検討し、栄養ケアマネジメントを管理栄養士を主として他職種各セクション連携により行います。
- ⑥褥瘡予防ケアは、褥瘡発生や改善には栄養が大きく関わることを踏まえ、栄養ケア同様、他職種各セクションの連携により行います。また、スキントラブルや希望者を中心に週3回の入浴を実施します。

## 2) 寝たきり防止等・重度化防止の取り組み

- ①利用者の尊厳維持、自立支援・重度化防止の推進、廃用や寝たきりの防止のため、機能訓練や日々の利用者状態をアセスメント、個別援助計画に反映し個別ケアを実践します。
- ②排泄ケアは、排泄に係るスクリーニングを実施し、その利用者に応じた適切な対応により排泄に係る要介護状態を軽減する取り組みを行います。

## 2. 地域包括ケア推進への取り組み

要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、認知症対応への不安が大きいため、地域の受け皿として取り組みます。

### 1) 認知症への対応力向上に向けた取り組み

- ①認知症について理解の下、利用者主体のケアを行い、認知症利用者の尊厳の保障を実現するために認知症ケアに関する専門研修を受講し、その人員配置及び加算取得に向けた取り組みを進めます。
- ②無資格の介護職員は、認知症介護基礎研修を受講し、認知症対応力を向上させ、認知症ケア実践の体制作りを行います。
- ③認知症の特性に応じた介護技術研修や認知症予防プログラムにより、特性に応じたケアや予防としての取り組みを進めます。

## 3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制を構築します。

- 1) 感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取組の徹底は、予防衛生対策委員会（感染対策委員会）を通し、利用者家族、職員への啓蒙、研修訓練を実施します。
- 2) 新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の感染を予防、感染経路の遮断という観点と、つながりや交流が利用者の心身の健康に与える影響という観点から、地域における発生状況等を踏まえ、可能な限り安全に面会が実施できるようにします。

## 4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み

- 1) 外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組みます。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論、実践の学びを深めます。
- 2) 認知症介護実践リーダー研修、認知症介護指導者研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざし体制を作り、専門性を高めます。無資格の介護職員においては、認知症介護基礎研修を受講し、ケア実践力を高めます。
- 3) 日々実施している基本理念の復唱、コンプライアンス研修等により、倫理綱領の理解と行動規範、サービス規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。
- 4) 人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣（介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修）により、法人全体で職員の資格取得に向け取り組みます。施設内においては、研修計画、研修実施要領に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へのフィードバック等は、研修委員会により進めます。

## 5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み

- 1) インカム・スマートホンを活用したコールシステム、見守り介護ロボット、ケアパレット・iPad導入により、業務効率、敏速な状況判断、記録等の業務負担軽減を進めます。
- 2) サービス向上委員会（業務改善委員会）において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討します。
- 3) マニュアル検討委員会において、既存のマニュアルの見直しの他、新たに必要なマニュアル、手順書を作成します。
- 4) 介護事故防止のため必要な情報収集を多くし適切な対応策を検討します。
- 5) 利用者満足度調査の実施（年2回）、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析、評価、改善を行います。
- 6) 年次有給休暇5日以上の実績取得と労災事故ゼロの取組（安全衛生研修、腰痛予防、危険箇所の把握と改善）をすすめます。
- 7) ストレスマネジメント（職場ストレス評価）を実践し、セルフケア、ラインケアにより、感情のコントロールを意識し、組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境改善に取り組みます。

# 令和3年度 南方デイサービスセンター南寿荘 事業報告

## 【施設概要】

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市南方町高石6-8 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会     |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会     |
| 4. 開設年月日 | 平成6年5月1日       |
| 5. 利用定員  | 32名            |

団塊の世代が75歳以上となる2025年、団塊ジュニア世代が65歳以上となり、現役世代が急減する2040年を控え、高齢化の問題はますます深刻になります。南方地域の要支援・要介護者数は、2030年まで増加し、その後緩やかに減少していきます（ピークアウト）。人口減少する一方、高齢者人口が増加するという情勢を踏まえ、地域で支える仕組み、支援体制（地域包括ケア）の構築、「地域共生社会」の実現に向け、その観点立った取り組みを推進してきました。「自立支援・重度化防止」という地域課題や社会的要請に応えるべく、職員の資質、専門性の向上、業務改善、地域貢献や地域連携、継続可能な事業運営、サービス提供体制の基盤強化をすすめ、この地域の介護の受け皿、拠点づくりに向けて取り組んでいきます。

## 【重点項目】

- サービスの質の向上の取り組み
  - ・心身機能に応じた日常活動、行事・活動等を行いました。集団リハビリにより体を適度に動かす事を意識していただき体力維持向上に繋げ、ADL評価を年2回実施しました。
  - ・認知症実践者研修に職員1名参加、認知症ケア実践体制づくりをすすめました。
  - ・中重度ケアにおいては、生活リズムを整えるための一日の流れを集団でつかみ、食後のうがい等で口腔内衛生管理に努めました。年間通じて誤嚥性肺炎を起こす利用者はいませんでした。
- 地域包括ケア推進への取り組み
  - ・認知症対応力向上に向け認知症実践者研修を受講し資格を取得しました。また介護福祉士資格取得に向け初任者研修を職員2名受講しました。
  - ・地域貢献事業・地域交流として、認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回開催を予定しましたが、前年度同様コロナ禍の中感染拡大予防の観点から実施できませんでしたが、活動を再開する方向で準備してまいります。
- 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み
  - ・感染症対策として、日々の健康観察、室内及び送迎車両内の換気、手指消毒、共有物品の消毒等感染リスクの回避に努めました。
  - ・感染症及び自然災害発生時に事業を休止する事のないよう、BCP（事業継続計画）を策定しました。また策定した事業継続計画に基づき研修会を開催しました。
- 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
  - ・新型コロナウイルス感染症防止のため、外部への研修を全職員参加することは困難でしたが、オンラインでの研修に積極的に参加しました。
  - ・委員会を通じて、随時ミニ研修会の企画や参加等で理論と実践を深めました。今後もより一層の充実を図ります。
  - ・委員会活動では現状に即したマニュアルを見直しました。
- 地域貢献・地域連携の取り組み
  - ・社会福祉法人として食事代無料化とし、利用者負担の軽減を図っています。今後も継続する事で負担なく必要なサービスを提供できるように支援していきます。
  - ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、幼児・児童・生徒との定期的な開催はできませんでしたが、収束後も良好な交流会が保てるよう、互いに記念となるプレゼント交換を行いました。
  - ・新型コロナウイルス拡大に伴い、見学やボランティアの積極的な受け入れができませんでした。
- 継続的な事業運営の取り組み
  - ・毎月の事業収支、利用状況の把握により、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを進めています。事業収支、利用状況を的確に捉え、稼働率維持や省エネに向けた取り組みを継続して行ってまいります。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,198 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 82.64 % (通所介護+総合事業)  
(76.66) % (通所介護)  
(5.98) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.15 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	218	190	186	215	192	171	181	180	169	150	154	153	2,159
要介護 2	288	243	246	223	211	208	249	228	255	237	238	276	2,902
要介護 3	188	187	188	193	180	159	156	143	140	128	137	134	1,933
要介護 4	43	39	41	46	41	26	43	48	46	53	25	30	481
要介護 5	13	13	7	11	3	22	22	11	8	5	7	8	130
計	750	672	668	688	627	586	651	610	618	573	561	601	7,605
事業対象者	8	8	9	7	7	5	2	5	4	4	4	4	67
要支援1	6	2	4	4	5	13	12	12	14	16	16	16	120
要支援2	36	42	35	40	37	31	30	34	33	30	32	26	406
計	50	52	48	51	49	49	44	51	51	50	52	46	593
合計	800	724	716	739	676	635	695	661	669	623	613	647	8,198

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	0	1	0	1	1	1	2	3	0	1	1	13
契約終了者数	0	4	0	1	4	2	1	1	2	2	1	1	19
月末契約者数	73	70	71	70	68	66	67	69	67	64	64	64	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3. 9. 14～16	長寿を祝う会	社会に貢献された利用者の方々に感謝と敬意を表し、長寿をお祝いしました。	利用者 76名 職員 27名
R3. 12. 23～25	クリスマス会	職員による余興をご覧頂き、一緒に身体を動かされたり楽しい雰囲気を楽しむと共に今年一年を振り返る機会に繋がりました。	利用者 78名 職員 28名
R4. 1. 10～12	新年会	新年のお祝いをすると共に、お屠蘇や獅子舞をご覧になり楽しまれ、張りの有る生活に繋がりました。	利用者 88名 職員 25名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師 (講演者)	参加者
R3. 4. 12	新任職員研修	施設長	1名
R3. 4. 17	新任職員研修	管理者	1名
R3. 5. 12	新任職員研修	副主任	1名
R3. 6. 16	食中毒予防研修	管理栄養士	1名
R3. 6. 25	身体拘束廃止推進研修 (前期)	介護福祉士	1名
R3. 6. 28	介護事故防止研修	介護福祉士	1名
R3. 7. 13	医療研修・緊急時の対応	看護師	1名
R3. 7. 12. 14. 16	業務体制管理研修・(コンプライアンスと接遇)	施設長	12名
R3. 8. 24	労働安全衛生研修	施設長	3名
R3. 9. 21	認知症高齢者介護基本研修	看護師	1名
R3. 9. 28	交通安全教室	施設長	1名
R3. 10. 29	介護予防研修	作業療法士	1名
R3. 11. 24	感染予防研修	看護師 介護福祉士	1名



R3. 11. 30	介護福祉士養成継続訓練(研修)の体制化に関する研究モデル訓練(研修)の伝達研修	介護福祉士	1名
R3. 12. 8	B C P研修(事業継続計画について)	副主任	11名
R3. 12. 09. 11	感染症又は食中毒、蔓延防止研修	看護師	11名
R3. 12. 27	プライバシー研修	主任生活相談員兼介護支援専門員	2名
R4. 1. 28	身体拘束廃止推進研修(後期)	看護師	2名
R4. 2. 22	介護事故防止研修(後期)	介護福祉士	1名
R4. 03. 05. 07. 08	介護保険サービス利用に至るまでの過程について	管理者	11名
R4. 3. 31	口腔ケア研修	みなみかた歯科医院	5名
実 施 回 数		21 回	延 べ 参 加 者 数
			70名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 10. 26	レクリエーションの位置づけと展開～ケアプラン反映の基礎的理解	宮城県介護人材確保協議会	仙台市	1名
R3. 11. 4～10・R4. 1. 20	令和3年度宮城県認知症介護実践者研修	宮城県社会福祉協議会	大崎市	1名
R3. 11. 24・R4. 12. 07	支援別介護技術～高次脳機能障害の理解と関わり方	宮城県介護人材確保協議会	オンライン	1名
R3. 12. 23～24	新任職員研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	1名
R4. 1. 22・R4. 2. 5	介護現場における医学的基礎知識	宮城県介護人材確保協議会	オンライン	1名
R4. 1. 25・R4. 2. 08	他職種の理解と連携	宮城県介護人材確保協議会	オンライン	1名
R4. 2. 10	セーフティマネジメント	宮城県介護人材確保協議会	オンライン	1名
R4. 2. 16	地域リハビリテーション研修会	老健事業地域リハ研修会	オンライン	1名
実 施 回 数		8回	延 べ 参 加 者 数	8名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
デイ職員会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3火曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	毎月第2金曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備しました。	毎月第1金曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
苦情処理・リスクマネジメント委員会	家族及び利用者の苦情に対応し、リスク(介護事故等)を考慮して対策を行いました。	毎月第3金曜日	施設長、看護師、生活相談員、介護員
サービス向上委員会	サービス提供のための過程や結果を検討し、サービスの質の向上に努めました。	毎月第3金曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
身体拘束廃止・虐待防止委員会	利用者の自由と人権、尊厳を守るため、身体拘束ゼロの実現をめざします。	毎月第4木曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
研修委員会	介護等における基礎知識の習得、及び専門的知識、技術の向上を図ります。	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
褥瘡予防・予防衛生対策委員会	感染予防や食中毒の予防、研修などを行い、リスクに備えた環境作りを行います。	毎月第4木曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
マニュアル作成委員会	各種マニュアルの作成と見直しを行います。	毎月第1金曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員

【施設機能の開放】

1. 地域貢献事業・ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容
R3. 6. 16	東郷小学校	手作りポスターと鉢のプレゼントを渡しました
R3. 7. 21	南方保育所	手作り風鈴と折り紙のプレゼントを渡しました
R3. 12. 15	東郷幼稚園	手作りのリースと画用紙等のプレゼントを渡しました

【今後の取り組み】

1. サービスの質の向上の取り組み

厚生労働省データベース「LIFE」を活用し、科学的な根拠に基づき、利用者の自立支援に資する機能訓練・口腔ケア・栄養ケアの一体的な取り組みをすすめます。

自立支援・重度化防止の取り組み

①心身機能維持の取り組みは、機能訓練プログラム（認知機能・運動器機能）を取り入れた集団リハビリ体操を実施します。また、生きがいサービス（レク活動・創作活動・趣味活動等）においても機能訓練の一環としての取り組みをすすめます。心身機能維持や向上の効果測定にはADL評価（バーセルインデックス）を6ヶ月に1回実施し、個別ケアへの取り組みをすすめます。

②総合事業対象の運動器機能向上（転倒予防）の訓練を実施し、筋力低下の防止、身体機能維持、介護予防の取り組みをすすめます。その評価は体力測定（5m歩行・UP&GO・開眼片足立ち・握力）を6ヶ月に1回実施します。

③要介護者対象の個別機能訓練を実施。ADL（身体機能）・IADL（生活機能）の自立、自ら望む生活を目標設定、計画介入により心身機能の維持や向上をすすめます。

④生活に潤いと生きがい、楽しみを持つ心のサポートの取り組みは、外出訓練（外食・社会見学・買物・社会適応訓練等）と四季折々の年間行事の中で実施します。

⑤健康教室、栄養教室を実施。病気の理解、感染予防、食生活について理解を深め、健康意識を高める取り組みをすすめます。

⑥口腔ケア・栄養ケアの取り組みは、口腔ケアにおける内部研修の実施、利用者家族への口腔ケアの必要性をお便りで知らせるなど知識習得、意識向上を図ります。また、介護職員による口腔機能スクリーニング・栄養スクリーニングの実施のほか、利用者個々の状態に応じた丁寧な口腔衛生管理、栄養改善を要する状態の把握により必要なケアを実践します。

⑦利用者の体調変化の対応、急変時の迅速な手順、様々な症状に応じた対応準備をすすめ、内部研修の実施により理解を深めます。

⑧科学的介護の推進により、厚生労働省データベース「LIFE」への情報提供、分析フィードバックされた情報を基にケア内容について検討します。ケア内容についても手順書やマニュアルの整備をすすめます。

2. 地域包括ケア推進への取り組み

要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けることにあつては、認知症への対応不安は大きい。ため、地域の受け皿としての取組をすすめます。

認知症への対応力向上に向けた取り組み

①認知症の理解と周辺症状に合わせた介護技術の習得のため、認知症実践者研修、認知症実践リーダー研修を積極的に受講し、認知症ケア実践の体制作りをすすめます。無資格の介護職員は、認知症介護基礎研修を受講し、認知症ケア実践力を高め、認知症ケア実践の体制作りをすすめます。

②認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指します。

③認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方の認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制が組める取り組みを検討していきます。

3. 感染症や災害への対応力強化に向けた取り組み

感染症の発生及び蔓延等や災害が発生した場合であっても必要なサービス提供が継続できる体制構築をすすめます。

①感染症対策強化として、感染症の発生及び蔓延等に関する取り組みは、予防衛生対策委員会（感染対策委員会）を通し、利用者家族、職員への励行、研修訓練の実施をすすめます。

②災害への地域と連携した対応強化としての非常災害の対応訓練実施にあたっては、地域住民、関係機関の参加が得られるよう連携をすすめます。

4. 介護人材確保、職員の資質・専門性の向上の取り組み
  - ①外部研修や伝達研修、内部研修の充実に継続して取り組みます。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論と実践の学びを深めます。
  - ②認知症ケア専門研修、認知症介護基礎研修の受講により「認知症ケア加算」取得をめざす体制を作り、専門性を高めます。無資格の介護職員は、認知症介護基礎研修を受講し、ケア実践力を高めます。
  - ③日々実施している基本理念の復唱、コンプライアンス研修等により、倫理綱領の理解と行動規範、服務規程等を確認し、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高め、よりよい職場環境を作ります。
  - ④人材育成については、法人内で実施している研修への講師派遣（介護福祉士試験対策講習、ケアマネジャー試験対策講習、介護職員実務者講習、介護職員初任者研修）により、法人全体で職員の資格取得に向けた取組をすすめます。施設内においては、研修マニュアル、研修計画に基づき育成を行い、評価や分析、講師となった職員へフィードバックすることで教える力を身につけさせる等、研修委員会によりすすめます。
  - ⑤介護福祉士実習指導者講習の受講、実習指導者を配置し受入体制を整えます。また登米総合産業高校福祉科介護実習、職場体験実習の受け入れ、実習生の介護福祉に関する専門知識技術の習得と介護福祉士資格取得に向けた支援をすすめます。
  
5. 業務改善・働き方改革の一環としての取り組み
  - 1) サービス向上委員会（業務改善委員会）において、業務内容の見直しと工夫、効率的な業務、利用者視点でのサービス提供について検討します。
    - ①マニュアル委員会を設け、既存のマニュアルの見直しの他、必要なマニュアル、手順書を作成します。
    - ②介護事故防止のため事故検証に必要な情報収集を多くし適切な対応策を検討します。
    - ③利用者満足度調査の実施（年2回）、情報収集の他、利用者興味・関心チェックシートを活用し、サービス提供における分析評価、改善を行います。
  - 2) 年次有給休暇5日以上の実績取得と安全衛生の取組（腰痛予防、危険箇所の把握と改善）を研修等ですすめます。
  - 3) ストレスマネジメント（職場ストレス評価）を実践し、セルフケア、ラインケアにより、感情のコントロールを意識し、組織として関わり合いが出来る組織づくり、職場環境改善に取り組みます。
  
6. 地域貢献・地域連携の取り組み
  - 1) 地域貢献事業、地域交流事業として認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指します。認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方の認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め支援や協力体制づくりに取り組みます。
  - 2) 地域災害相互協定（覚書）について
    - ①登米市（災害時に要介護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書）
    - ②宮城県老人福祉施設協議会（災害派遣介護チームの派遣に関する協定・登米気仙沼地区災害時相互支援協定）
    - ③恵泉会（施設間原子力災害時受入覚書・施設間土砂災害時受入覚書・非常時災害時施設間協定）
    - ④地区（高石地区）との災害時相互協定の取り交わしに向けた取り組みをすすめます。
  - 3) 食費無料について  
社会福祉法人の使命・役割は、社会や地域への貢献です。社会福祉法人恵泉会が運営するデイサービスにおいては食費無料とし、要介護者・低所得の高齢者が福祉サービスを受けやすくする取り組みを継続します。
  - 4) 地区ボランティアとの連携、幼老交流として地区の保育園・幼稚園・小学校と交流会を通じて利用者の地域における社会参加や交流促進をすすめます。
  
7. 継続的な事業運営の取り組み
  - 1) 業務継続に向けた取り組みとして、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、策定した業務継続に向けた計画（BCP）の適宜見直し、研修・訓練を実施します。
  - 2) 算定できずにいる加算の取得（ADL維持等・認知症ケア）を目指し、体制作りをします。
  - 3) 毎月の事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに実践します。
  - 4) 年間収入見直し、設備整備計画、新規事業の展開、経営効率を評価分析、検討します。

# 令和3年度 地域密着型特別養護老人ホーム東和 事業報告

## 【 施設概要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
- 2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開設年月日 平成21年4月1日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20名
短期入所生活介護	空床
計	20名

新型コロナウイルスの影響で、外部研修への参加が難しい中、内部研修を充実させ、職員のスキルアップに努めました。ご家族には定期的に利用者様の状況を電話や郵送でお知らせし、オンライン面会も実施しご家族及び利用者様に喜ばれました。空床が生じた際は在宅介護の負担軽減のため速やかに短期利用に活用し、地域貢献事業等を通して交流、情報発信の拠点施設として地域に必要とされる施設運営を目指しました。

## 【 重点項目 】

1. ユニットケア施設の機能を生かし、利用者が居心地の良い雰囲気の中で、その人らしさと尊厳のある暮らしが継続できるよう常に利用者と共に寄り添えるケアの充実に努めます。

利用者様の個別性を大切にし、24時間シートを活用し、個別ケアの実践を心がけました。居室を自宅からの馴染みの物で整えたり、食堂の配置を工夫し、居心地の良い場所作りを行いました。集団ケアではなく、一人一人の意思を尊重したケアを心がけ実践しました。

2. 利用者の健康状態や嗜好に応じた食事の提供に努めると共に、低栄養利用者の予防・改善に努めます。

利用者様の健康状態の把握や嗜好調査を行い、よりよい食事の提供を行ってきました。また、3ヶ月に1回の採血を実施し、低栄養利用者には栄養士と看護師、担当職員との連携を密に図り、食形態の変更や補食の検討、食器の工夫を行い、食事を召し上がって頂ける環境にも配慮し、食べる喜びを感じて頂けるようなケアを行いました。

3. 利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に行動して、早期解決と再発防止に努めます。

新型コロナウイルス感染防止対策で面会が出来なかったため、エルダー通信として定期的に利用者様の近況報告に写真を添えて郵送しました。このような取り組みによりご家族にも安心して頂き、今年度も苦情はありませんでした。今年度は事故が4件発生しておりその都度リスクマネジメント委員会を中心に対策を立て事故防止に努めました。又、何かあればご家族にその都度連絡と報告を行い、信頼関係の構築に努めました。

4. 新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い、感染予防に努めます。

一年を通して、新型コロナウイルス感染防止対策の為、職員のマスク着用、換気、消毒を徹底して行いました。そのことによりインフルエンザの感染も予防出来ました。嘔吐、下痢の処理及び消毒方法を内部研修で行い、感染拡大させない知識を身に付け実施してきました。

5. 介護ロボットの導入により、介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など、就労環境の整備を図ります。また、有給休暇の取得を促進し、心身共にリフレッシュできる職場環境を目指します。

介護ロボットについては1台のみの導入となっており、その有効性については残念ながら低い状況でした。有給休暇の促進については全職員が5日以上の有給休暇を取得できており、モチベーションアップに繋がりました。

6. 法人が開催する資格取得研修に講師を派遣し、次代を担う人材育成に努めます。また、施設内外の研修に積極的に参加し、介護人材確保と共に離職率低下に努めます。

法人が開催する資格取得研修はオンラインでの実施となり、当施設からも研修講師として職員を派遣しました。研修委員会が中心となり内部研修も計画的に行われ、各職員のスキルアップに繋がりました。また、新任職員が初任者研修を受講し、専門的な知識を身に付けることが出来ました。

7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組むことと、地域包括ケアシステムの一助となる様努めます。
- 新型コロナウイルスの影響により、例年行われていた地域行事への参加や、施設を開放しての避難訓練などは実施できませんでしたが、地域貢献活動として花壇の除草作業及び小学校周辺のゴミ拾いを行い、来年度の取り組みに向けたアンケート調査も行うなどしながら、出来る範囲で地域との関りを継続しました。
8. 防災計画に基づいた避難訓練、通報訓練など各種訓練を実施し、危機管理の徹底に努めます。また、地域との災害協定締結に取り組み、災害発生時の相互協力体制を整えます。
- 消防計画にのっとり、避難訓練、通報訓練を行いました。風水害対策マニュアルの見直しも行き、避難場所である萩風園と避難方法について話し合い、合同の避難訓練を行い、有事に備えています。
9. 利用者の個別性を十分に理解し、基本的人権を尊重し全職員がプライバシーの保護や倫理的のコンプライアンスの徹底に努めます。
- 全職員対象の内部研修を行い、施設長が講師となり、法令遵守について学び、人権尊重の大切さを十分に理解し、虐待防止の徹底に努めました。
10. ユニットケアの特性である24時間シートを活用し、重度化防止を目標に、生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、サービスの質の向上に努めます。
- 24時間シートを活用し、在宅での延長上に施設での生活が出来るよう努めました。また、出来ることは自分で頂くことにより、ADLの低下を防ぐことのみでなく、自分でできることの喜びを感じて頂けるようなケアに努めました。
11. 事業所の経営状況と地域の状況やニーズ予測に合わせ、今後の事業展開に関する中長期計画を作成します。その計画をすべての職員で共有し、短期計画の実践を積み重ねながら、将来の事業展開へ確実につなげていきます。
- 登米市との関連性もあるため、中長期計画は作成しませんでした。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,097 名 (空床短期含む)
2. 年間稼働率 97.2% ( " )  
(目標稼働率 97.0%)
3. 年間平均介護度 4.15
4. 月別利用状況(短期含む) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11	0	0	14
要介護 3	150	124	120	124	124	99	112	150	155	155	140	155	1,608
要介護 4	181	237	240	248	247	210	272	235	224	236	205	243	2,778
要介護 5	218	248	240	248	248	219	217	210	217	217	196	217	2,695
計	551	609	600	620	619	528	601	595	599	619	541	615	7,097

5. 入退所状況(長期のみ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	7
退所者数	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	7
月末入所者数	19	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

○合同行事

実施日	行事名	内 容	参加者数	
R3.05.01. 03.04	菖蒲湯	伝統行事である菖蒲湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈りました。	利用者	19名
			職員	6名
R3.08.15	夏のお楽しみ会	すいか割りやゲームを行い夏ならではの風物詩を楽しんで頂きました。	利用者	11名
			職員	6名
R3.09.19	長寿を祝う会	ご家族不参加ではあるが、入居者様と職員とで、ささやかではあるが長寿のお祝いを行いました。	利用者	17名
			職員	9名
R3.11.11	秋のクッキング	秋の食材であるさつまいもを使用したおやつを作りユニット合同で行い、親睦を深めて頂きました。	利用者	10名
			職員	3名
R3.12.22 ~24	ゆず湯	冬至の伝統行事であるゆず湯に入ることにより心身まで温まって頂き、無病息災を祈りました。	利用者	19名
			職員	6名
R4.01.16	新年会	新年のお祝いをユニット合同で開催し福笑いをを行い交流を深め楽しんで頂きました。	利用者	12名
			職員	6名

○ユニット行事（1丁目）

実施日	行事名	内 容	参加者数	
R3.05.31	手作りおやつ	食べやすいフルーチェをクッキングし、会食しました。	利用者	8名
			職員	4名
R3.06.27	園芸（寄せ植え）	ユニット食堂から眺めて楽しめるようプランターに寄せ植えをしました。	利用者	8名
			職員	4名
R3.10.21	ふるさと巡りドライブ	参加される利用者様の地元方面にドライブし、気分転換を図りました。	利用者	1名
			職員	1名
R3.11.27	趣味活動（クリスマスツリー制作）	クリスマスツリーを毛糸を使って製作し、季節感を感じられる機会を設けました。	利用者	3名
			職員	1名
R3.12.26	クリスマスお茶会	クリスマスにちなんだケーキやプリンを会食しながら、ユニットで制作したクリスマスツリーと記念撮影しました。	利用者	9名
			職員	3名
R4.02.27	ハンドマッサージ	花びらを浮かべたお湯で手を温め、ハンドクリームを使いマッサージをしました。	利用者	4名
			職員	3名
R4.03.20	桃の節句お茶会	ほうじ茶プリンを購入し、昔のひな人形について談笑しながら会食しました。	利用者	9名
			職員	5名

○ユニット行事（2丁目）

実施日	行事名	内 容	参加者数	
R3.06.08	おやつ出前	出前で好きなおやつを選んで頂き、皆さんで味わいながら茶話会を行いました。	利用者	10名
			職員	3名
R3.06.15	2丁目クッキング	利用者様と一緒に手作りおやつを作り、茶話会をしながら味わって頂きました。	利用者	5名
			職員	3名
R3.07.07	七夕会	七夕飾りを利用者様、職員一緒に飾りつけし、季節を感じて頂きました。	利用者	5名
			職員	1名
R3.08.24	出前うなぎの会	夏バテしないよううなぎを注文し召し上がっていただきました。	利用者	6名
			職員	2名
R3.10.27	クッキング	たこ焼き器を使用し、お菓子作りを行い会食しました。	利用者	6名
			職員	2名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 7 名
2. 年間平均介護度 3.00
3. 月別利用状況

( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	4
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2	7

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R3. 4. 7	W J Uスポットコンサルティング	W J U鈴木氏	職員1名
R3. 4. 19～20、4. 26～27	施設設備研修	事務員	全職員
R3. 4. 29	P P E研修	看護師	職員2名
R3. 5. 5、5. 11、5. 18、5. 21、5. 24、6. 5	夜間緊急対応	看護師	全職員
R3. 5. 15、5. 22、6. 5	公用車運転操作研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	全職員
R3. 5. 27～29、5. 31	医療・口腔ケア	看護師	職員13名
R3. 6. 8	新任職員研修	施設長	職員3名
R3. 6. 22	食中毒予防・脱水予防	管理栄養士	職員6名
R3. 6. 23、6. 30、7. 6	コンプライアンス研修	施設長	全職員
R3. 7. 1	ユニットケア研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員1名
R3. 7. 28、11. 10、11. 17、11. 24	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修	施設長	全職員
R3. 8. 5	恵泉会新任職員研修	理事長ほか	職員1名
R3. 8. 7、8. 9、8. 11	介護技術①研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	特養全職員
R3. 8. 21～22	介護技術②研修	ユニットリーダー兼介護福祉士	特養全職員
R3. 9. 12	救命救急・心肺蘇生法	看護師	職員4名
R3. 9. 20	褥瘡予防・感染予防研修（ポジショニング）	看護師	職員5名
R3. 9. 25	介護事故防止研修	ユニットリーダー 介護福祉士	職員5名
R3. 10. 4	恵泉会職員研修大会	表彰式・職員発表	職員1名
R3. 10. 6～8	人事考課規程改正研修	常務理事ほか	職員4名
R3. 10. 17	介護事故防止研修	ユニットリーダー 介護福祉士	職員5名
R3. 12. 14	介護サービス基本研修	生活相談員	職員3名
R4. 1. 15、1. 19、1. 30	感染予防研修	看護師	全職員
R4. 1. 26	認知症高齢者基本研修	介護福祉士兼生活相談員	職員2名
R4. 2. 6、2. 23～24、3. 7	医療研修	看護師	特養全職員
R4. 2. 23	恵泉会職員フォローアップ研修	オンライン	職員1名
R4. 3. 10	プライバシー研修	管理者兼生活相談員	職員9名
R4. 3. 22	防災基本研修	事務員	職員3名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 5. 26	安全運転管理者等講習会	安全運転管理者会	石巻市河北総合文化センター	職員1名
R3. 6. 17～18	社会福祉施設新任職員研修1班	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3. 8. 27	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R3. 10. 14	ほのぼのNEXT合同操作説明会LIFE編	NDソフトウェア	オンライン	職員2名
R3. 11. 16	宮城県高齢者権利擁護推進研修②「権利擁護推進員養成研修」	宮城オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名
R3. 11. 24	東和・登米地域ネットワーク会議・意見交換会	東和・登米地域包括支援センター	オンライン	職員1名
R3. 11. 29	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4. 1. 21、R4. 2. 3～4	ユニットリーダー研修（座学）	日本ユニットケア推進センター	オンライン	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内 容	開 催 日	参加職員
職員会議	行事、業務改善、施設運営管理等の企画・調整。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	受託業者と給食内容、栄養管理について検討。	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・相談員・介護職員
運営推進会議	サービス内容の評価・改善、利用者の生活状況報告。	2か月に1回	施設長・相談員・運営推進委員
ユニット会議	ユニット行事や入居者のケアについて検討。	毎月第2火・木曜日	ユニットリーダー・介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
入所判定会議	実態調査の結果を基に、総合的に入居の可否を判定。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開 催 日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員・看護師
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員
入所検討委員会	新規入所申込者の入所順位を決定する。	3か月に1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
	※コロナのため受け入れなし		

#### (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
	※コロナのため受け入れなし			

## 【今後の取り組み】

1. 新型コロナウイルスやインフルエンザその他の感染症に対し、消毒と換気の徹底及び健康観察を行い感染予防に取り組みます。
2. 24時間シートを活用し、個別ケアの充実と、重度化防止を目標に生活リハビリ支援と自立支援に力を入れ、ADL低下の予防に取り組みます。
3. 地域の特性を活かし、社会福祉法人の運営する施設として地域における社会資源と地域づくりの拠点機能を構築し、地域に貢献できる開かれた施設になるよう働きかけていきます。
4. 災害時における安全対策の取り組みを徹底し、利用者の安心安全な生活を確保します。



# 令和3年度 東和高齢者福祉施設デイサービス 事業報告

## 【施設概要】

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会          |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会          |
| 4. 開設年月日 | 平成14年10月15日         |
| 5. 利用定員  | 35名                 |

恵泉会の法人理念に基づき、リクライニング車椅子や特別浴槽等、施設の機能を最大限に活かし、認知症高齢者や重度要介護者、退院直後の利用者も積極的に受け入れ在宅生活の継続を支えるサービスとして、地域の中に根ざした施設として取り組んできました。利用者の皆様には自立していただけるよう、出来る限り残存機能の維持、回復に努めました。しかしながら、新型コロナウイルスへの感染にて休館し、利用者、家族、医療関係、各関係機関や地域の皆様等には大変ご迷惑をお掛けいたしました。保健所からの指導の元、更なる感染予防の対策に努めております。

今後も安心して利用していただけるよう、取り組んでまいります。スポット利用も柔軟に受け入れ、内部研修や外部研修にて自己研鑽に努めながら信頼されるサービスを継続していけるよう努めていきたいと思っております。

## 【重点項目】

1. 感染症の予防に努め、利用者の健康状態をきちんと把握し、安全、安心に利用して頂けるよう努めます。  
手洗いや、手指消毒、棟内、車輛の消毒を行い感染症の予防に努めましたが、新型コロナウイルスに職員、利用者共罹患してしまい休館となりました。
2. 利用者の身体状態の改善・維持や自宅での生活を継続するための支援を行い、利用者が地域において可能な限り自立した生活を送れるよう、地域包括ケアシステムの役割と推進に努めていきます。  
在宅での生活が継続出来るよう自立支援に向け、個別援助計画書より個々の機能維持に努めてきました。また、個人の機能や生活に合わせた関わり、ご家族との関係を構築してきました。
3. 施設内外の研修等に積極的に参加し、職員の知識やスキルの向上を図ることで、質の高いサービス提供ができるよう努めます。  
施設内の研修では、研修の時間帯を工夫し、多くの職員が研修に参加することで職員の知識技術の向上を図りました。また、外部への研修にもオンライン等も活用し、積極的に参加し、自己研鑽を図りました。
4. 常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次休暇取得の促進など、職員の働きやすい職場環境を作ることで、職員の離職防止や新しい人材の確保につなげていきます。  
会議等にて業務の見直しを図り、業務の効率化を図りました。また、年次有給休暇の取得促進を図るとともに、職員健康診断や腰痛検査等の実施により、異常の早期発見と健康維持に努め、働きやすい職場環境になるよう配慮してきました。
5. 利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、利用者が自立した生活を送れるよう支援していきます。  
サービス担当者会議に出席し、ケアマネジャーのケアプランと利用者様の意向に沿った個別援助計画書の作成に努めてきました。  
看護師による機能訓練を毎利用時に行い機能維持に努め、内部研修を通して認知症の利用者様に対する関わり方を職員に理解してもらい、良質なサービスに繋げてきました。
6. 利用者の安全を確保するために全職員でリスク分析と改善策の検討を行い、介護事故の防止に努めます。  
ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書を作成し、ミーティングや委員会等で改善策を更に検討し職員に周知徹底を図り、事故の再発防止に努めてきました。
7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を持ちながら、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組めます。  
施設前の除草作業を定期的に取り組ましました。また、美化活動として米谷小学校前の道路の除草作業を行っております。
8. 食事代を無料とし、利用者の負担軽減を図りながら利用者の生活を支えていきます。  
食事代を無料とすることにより、利用者負担の軽減を図り、利用し易くなっております。
9. 事業所の経営状況と地域のニーズ予測に合わせ、今後の事業展開に関する中長期計画を作成します。その計画を全ての職員で共有し、短期計画の実践を積み重ねながら、将来の事業展開へ着実に繋げていきます。  
新型コロナウイルス感染により、計画の構築は難航し、今後、短期計画より中長期計画に繋げていきます。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,909 名
2. 年間稼働日数 298 日
3. 年間稼働率 85.42 % (通所介護+総合事業)  
(77.14) % (通所介護)  
(8.27) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.73 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	126	150	133	137	119	103	96	106	100	86	45	79	1,280
要介護 2	114	126	162	166	156	178	189	226	204	212	112	227	2,072
要介護 3	242	248	240	266	239	237	221	236	252	221	115	208	2,725
要介護 4	117	127	136	137	142	135	155	132	131	108	61	90	1,471
要介護 5	44	46	32	49	55	49	47	52	43	41	16	24	498
計	643	697	703	755	711	702	708	752	730	668	349	628	8,046
事業対象者	15	20	11	17	13	13	18	14	18	14	5	8	166
要支援1	7	10	8	9	9	8	9	9	12	18	9	16	124
要支援2	49	55	46	65	56	59	49	49	46	42	23	34	573
計	71	85	65	91	78	80	76	72	76	74	37	58	863
合計	714	782	768	846	789	782	784	824	806	742	386	686	8,909

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	1	2	0	2	6	4	7	2	2	0	5	32
契約終了者数	1	3	0	2	1	1	2	3	13	1	5	7	39
月末契約者数	89	87	89	87	88	93	95	99	88	89	84	82	-7

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.07.07 ～07.10	七夕会	ビーチボールを使ってペットボトルをたおし得点を競いました。	利用者 134名 職員 31名
R3.08.26 ～08.30	夏祭り	はっぴを着て御輿を担ぎ、盆踊りで体を動かした後は出店でかき氷を食べていただいています。	利用者 126名 職員 22名
R3.09.16 ～09.21	長寿を祝う会	職員によるスコップ三味線の余興を行い、自身で作成したコサージュを胸に付けていただき参加されています。	利用者 132名 職員 37名
R3.10.12 ～10.15	ミニミニ運動会	紅白に分かれて玉入れやうちわでボールを隣に渡す等行っています。	利用者 76名 職員 18名
R3.11.09	芋煮会	新型コロナウイルスの流行にて、調理は出来ませんでしたが、お昼に芋煮を皆さんで食べ、季節を感じていただきました。	利用者 25名 職員 9名
R3.12.17 ～12.21	クリスマス会	プレゼントや余興を楽しんでいただいています。	利用者 83名 職員 23名
R4.01.17 ～1.21	新年会	新年の抱負とご挨拶を行いながらお屠蘇をお配りしています。	利用者 81名 職員 25名
R4.02.03 ～02.05	節分ゲーム	年男、年女の利用者の方々による豆まきが実施されています。併せてアトラクションも楽しまれています。	利用者 82名 職員 18名
R4.03.03 ～03.05	ひな祭りゲーム	ひな人形を飾り、桃の節句を祝い、ゲームを楽しみました。	利用者 74名 職員 18名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
R3. 4. 8	PPE研修	准看護師	職員1名
R3. 4. 19~27	施設設備研修	事務員	職員12名
R3. 5. 24・6. 9	介護事故防止研修	准看護師・生活援助員	職員8名
R3. 6. 14. 16. 18	食中毒予防研修(脱水予防研修含む)	管理栄養士	職員12名
R3. 6. 23. 30・7. 6	法令遵守研修	施設長	職員14名
R3. 7. 28	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員4名
R3. 9. 20	褥瘡予防・感染予防研修(ポジショニング)	看護師	職員3名
R3. 8. 21・9. 30	介護予防研修	管理者兼生活相談員	職員7名
R3. 10. 5	新任職員研修	施設長	職員1名
R3. 10. 7	介護事故防止研修(ヒヤリハットの意義・書き方)	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員4名
R3. 10. 23	救急救命(心肺蘇生法)研修	看護師	職員4名
R3. 10. 30	救急救命(心肺蘇生法)研修	准看護師	職員2名
R3. 11. 10. 17. 24	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	施設長	職員13名
R3. 12. 29	介護サービス基本研修	生活相談員	職員5名
R4. 1. 11. 12	感染予防研修	准看護師	職員10名
R4. 1. 26	認知症高齢者基本研修	介護福祉士兼生活相談員	職員6名
R4. 3. 10. 19. 26	プライバシー研修	管理者兼生活相談員	職員10名
R4. 3. 21	口腔ケア研修	准看護師	職員5名
R4. 3. 21. 22	医療研修(送迎時の緊急時対応)	管理者兼生活相談員、他	職員6名
R4. 3. 22	防災基本研修	事務員	職員7名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 5. 25	OJT指導者養成研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3. 7. 21	NDソフト合同説明会	NDソフトウェア	オンライン	職員1名
R3. 10. 14	ほのぼのNEXT合同操作説明会LIFE編	NDソフトウェア	オンライン	職員1名
R3. 11. 8	「コミュニケーション技術・対人援助技術研修Ⅲ」	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
R3. 11. 18	自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市福祉事務所	登米市南方庁舎	職員1名
R3. 11. 30	感染症予防WEB研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師
デイサービス調整会議	サービス提供の内容・行事企画・業務執行等の運営に関し検討	毎月第3月曜日	施設長・デイサービス職員

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・栄養士・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等、苦情処理の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・栄養士・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成、給食業務等の評価改善を行う。	毎月第2月曜日	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員

#### 【施設機能の開放】

##### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

- (1) ボランティア・視察・見学 新型コロナウイルス感染症の流行により実施していません。  
 (2) 実習 新型コロナウイルス感染症の流行により実施していません。

#### 【今後の取り組み】

1. 利用者の健康状態をきちんと把握し、安全、安心に利用して頂けるよう感染症の予防に努めます。
2. 利用者の身体状態の改善・維持や自宅での生活を継続するための支援を行い、利用者が地域において可能な限り自立した生活を送れるよう、地域包括ケアシステムの役割と推進に努めていきます。
3. 施設内外の研修等に積極的に参加し、職員の知識やスキルの向上を図ることで、質の高いサービス提供ができるよう努めます。
4. 常に業務改善と効率化を検討し、職員の年次有給休暇取得の促進など、職員の働きやすい職場環境を作ること、職員の離職防止や新しい人材の確保につなげていきます。
5. 利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体状態の改善・維持はもちろん認知症の進行抑制を図り、利用者が自立した生活を送れるよう支援していきます。
6. 利用者の安全を確保するために全職員でリスク分析と改善策の検討を行い、介護事故の防止に努めます。
7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を持ちながら、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。
8. 食事代を無料とし、利用者の負担軽減を図りながら利用者の生活を支えていきます。
9. 車輛の運転時、職員の体調確認をきちんと行い、安全運転、事故防止に努めます。
10. 自然災害に備え、防災設備を点検把握し、避難訓練を行い、利用者の安全、安心を確保します。

# 令和3年度 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
- 2) 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開 設 年 月 日 平成14年10月1日
- 5) 事業・利用定員

事 業	利 用 定 員
生活支援ハウス	10 名
介護家族支援レスパイト	空床
計	10 名

住み慣れた自宅に一日でも長く住んでいたいと願う思いは誰もが抱いています。しかし、その自宅で生活していくことが難しい時もあるのが実情です。ここ支援ハウスでは、個々の入所理由に対応し、快適な住環境、バランスの取れた食事の提供等を行い安心して生活できるよう支援しています。今年の冬は雪も多く、寒さを心配することなく春を迎えられることに安堵されています。新型コロナウイルス感染症の流行も2年目となりましたが、感染者を出すことなく1年を終えられました。また、レスパイト入所や、緊急入所など積極的に受け入れ、社会福祉法人としての役割を果たしています。今後も登米市及び各関係機関と連携を図り、利用者に安全と安心を提供していきます。

## 【 重 点 項 目 】

- 1. 共同生活を送りながらも、個性を大切に生活を送れるよう支援します。  
個室により個人のプライバシーは守られながら、食事や入浴を共にすることで連帯感が生まれ安心した生活を送ることができています。
- 2. 感染症の予防に努め、適切な対応策を図り、安心して暮らせる環境を作ります。  
マスク着用の徹底や手指消毒、施設内消毒、食堂のパーティション設置など感染リスクを減らす取り組みをしています
- 3. 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。  
緊急入所の対応など、登米市及び地域包括支援センターとの連携を図り柔軟に対応しています。

## 【 利 用 状 況 】

- 1. 年間延べ利用人員 1,055 名
- 2. 年間稼働率 28.90 %  
(目標稼働率 50.00 %)
- 3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要援助者	1	31	30	0	0	6	31	30	61	62	61	74	387
要支援1	32	15	0	0	0	0	0	0	79	104	112	99	441
要支援2	0	0	0	0	9	30	31	36	31	31	28	31	227
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	33	46	30	0	9	36	62	66	171	197	201	204	1,055

- 4. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	0	0	1	1	0	1	4	1	1	0	10
退所者数	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	6	10
月末入所者数	2	1	0	0	1	2	2	2	6	7	8	2	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.12.01 ～R4.03.31	貼り絵クラブ	例年大型の貼り絵を制作していたが、新型コロナウイルス対策として密となる活動を避け、個別の塗り絵などの活動に変更しています。	利用者 8名 職員 2名

【その他の利用者サービス】

\*介護家族支援レスパイト事業

1. 年間延べ利用日数 15 日

2. 月別利用状況 (延べ利用日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	6	15
計	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	6	15

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3.04.08	PPE研修	准看護師	職員1名
R3.04.19	施設設備研修	事務員	職員1名
R3.05.24	介護事故防止研修	准看護師・生活援助員	職員1名
R3.06.14	食中毒予防研修（脱水予防研修含む）	管理栄養士	職員1名
R3.06.23	法令遵守研修	施設長	職員1名
R3.07.28	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修①	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員1名
R3.09.20	褥瘡予防・感染予防研修（ポジショニング）	看護師	職員1名
R3.08.21	介護予防研修	管理者兼生活相談員	職員1名
R3.10.07	介護事故防止研修（ヒヤリハットの意義・書き方）	ユニットリーダー兼介護福祉士	職員2名
R3.10.23	救急救命（心肺蘇生法）研修	看護師	職員1名
R3.11.10	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修②	施設長	職員1名
R3.12.29	介護サービス基本研修	生活相談員	職員1名
R4.01.11	感染予防研修	准看護師	職員1名
R4.01.26	認知症高齢者基礎研修	介護福祉士兼生活相談員	職員1名
R4.03.10	プライバシー研修	管理者兼生活相談員	職員1名
R4.03.21	口腔ケア研修	准看護師	職員1名
R4.03.22	医療研修	管理者兼生活相談員、他	職員1名
R4.03.22	防災基礎研修	事務員	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス調整会議	利用者状況報告・入所希望者の実態把握	毎月第4金曜日	施設長・事務員・生活援助員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス利用検討会議	入所申請が上がった際に、登米市福祉事務所を主催に随時開催	随時	登米市職員・包括支援センター職員・生活援助員

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・事務員・相談員・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員

#### 【今後の取り組み】

1. 個々のプライバシーを守りながら、共同生活ならではの楽しみを感じられるよう支援します。
2. 感染症の予防に努め、適切な対応対策を図り、安心して暮らせる住環境を作ります。
3. 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人として地域貢献に積極的に取り組みます。

# 令和3年度 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷 事業報告

## 【施設概要】

- 1) 所在地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-5
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 经营主体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開設年月日 平成23年4月18日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
地域密着型介護老人福祉施設	34名
短期入所生活介護	空床
計	34名

## 【基本方針】

感染症予防対応の中にあっても、その人らしい暮らしが継続できるよう、利用者の立場に立ち根拠に基づいた支援を行うことを目標にケアを実施してきました。ユニット内での活動を主に、入居者の個性を大切に不自由な中にも穏やかで楽しみのある生活が送れるよう、季節の行事やリハビリを継続しました。介護保険の重点項目を柱に取り組みを実施、感染対策を講じながらの実践は、十分にできない面もあり、次年度も継続します。

## 【重点項目】

- ・感染症や災害への対応力強化  
コロナウイルス感染症に関しては、感染者はいませんでした。感染の施設に職員の派遣を行い、法人内の連携に努めました。この経験を今後の感染症予防に役立てます。
- ・地域包括ケアシステムの推進、地域との連携  
看取り介護の充実の取り組みは、研修を重ねたり経験を積むことで職員のスキルもアップし、入居者やご家族の意向を大切にすすめました。地域との交流については感染症対策によりできませんでした。
- ・自立支援・重度化の防止の取り組みの推進  
個別の支援やリハビリ・介護保険ライフの活用などでアプローチを行い、健康状態の維持や重度化防止に努めました。
- ・介護人材の確保・介護現場の革新  
小規模施設の特性を生かし、不足しがちな職員間のコミュニケーションを意識的に行い、職員の精神的な負担の軽減・離職防止に努めました。
- ・事故防止  
委員会の活動や研修、安全対策担当者の配置等により、職員の専門知識を高め事故防止に努めました。
- ・法人内他事業所との連携  
本体施設の感染者対応で、玉突き支援を行いゆりの郷から3名の職員を派遣し協力しました。
- ・地域との連携  
地域の小学校や中学校、婦人部との定期的な交流・オレンジカフェは、感染症対策により実施できませんでした。
- ・職員の質の向上  
回数は十分とは言えませんが、個人の経験や能力に合わせた外部研修に参加、スキルアップにつなげる事が出来ました。また、施設内研修は職員が講師を行うことで他の職員のみならず自身のやる気にもつながりました。



【 利 用 状 況 】

- 1 年間延べ利用人員 11,948 名  
 2 年間稼働率 96.28 %  
 (目標稼働率 98.00 % )  
 3 年間平均介護度 4.08  
 4 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	39	373
要介護 3	150	155	150	155	155	144	145	152	171	174	168	186	1,905
要介護 4	430	496	481	527	512	506	519	516	522	522	475	513	6,019
要介護 5	346	369	322	341	280	287	297	284	313	263	268	281	3,651
計	956	1,051	983	1,054	978	967	992	982	1,037	990	939	1,019	11,948

5 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	1	0	1	2	1	0	3	2	0	1	13
退所者数	2	0	1	0	1	3	1	1	1	3	0	1	14
月末入所者数	33	34	34	34	34	33	33	32	34	33	33	33	- 1

【利用者サービスの状況】

- 1 生きがいサービス  
 (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.04.16	春まつり	ゆりの郷開設10周年をお祝いすると共に季節を感じていただきながら入居者の交流を図り、楽しい時間を過ごしていただいています。	入居者 30名 職員 13名
R3.09.17	長寿を祝う会	長寿を祝いながら、長年の労に感謝し、これからの健康を祈ります。また、会食をしながら、楽しい一時を過ごして頂いています。	入居者 32名 職員 13名

【短期入所者生活介護サービス】

- 1 年間延べ利用人員 188 名  
 2 年間平均介護度 3.94  
 3 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8
要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	2	16	15	0	0	33
要介護 4	5	11	0	0	0	0	0	13	15	18	27	21	110
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	15	12	0	0	10	37
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	11	0	0	0	0	0	30	43	33	27	39	188

【利用者サービスの向上】

1 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3.04.26	防災設備について	生活相談員	介護職員5名
R3.05.20/05.27	とろみ剤について	看護師	介護職員10名
R3.05.26/06.19	オンコールについて	管理栄養士	介護職員9名
R3.06.15/06.30	感染症予防について	准看護師	介護職員10名他3名
R3.06.17/06.24	食中毒について	管理栄養士	介護職員9名
R3.07.16/07.21	ユニットケアについて	介護福祉士	介護職員3名
R3.07.20	腰痛対策について	施設長	介護職員6名他2名
R3.07.20	接遇について	介護福祉士	介護職員5名他2名
R3.08.05	新任職員研修	理事長 常務理事 統括施設長 施設長	介護職員1名
R3.08.21/08.31	認知症介護基本について	介護福祉士	介護職員7名
R3.08.22/08.28	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員7名
R3.09.18/10.02	誤嚥防止について	看護師	介護職員8名
R3.09.19/09.26	健康管理や病気・薬の副作用について	准看護師	介護職員7名
R3.09.21	コンプライアンスについて	施設長	介護職員5名他4名
R3.10.22/11.05	感染症予防（インフルエンザ）について	介護福祉士	介護職員8名
R3.10.29/11.07	看取りについて	看護師	介護職員7名
R3.11.05/11.21/11.28	誤嚥防止について②	看護師	介護職員9名
R3.11.12	個別のOJTについて	介護福祉士	介護職員2名
R3.11.16	防犯対策（不審者侵入）について	生活相談員	介護職員5名他1名
R3.11.21/11.28	褥瘡予防について	看護師	介護職員9名
R3.12.07/12.12	身体拘束／虐待防止について	介護福祉士	介護職員7名他1名
R3.12.31	介護予防について	介護福祉士	介護職員4名
R4.01.28	介護事故防止について	介護福祉士	介護職員4名
R4.02.18	フォローアップ研修	理事長、統括施設長	介護職員1名
R4.02.28	口腔ケアについて	介護福祉士	介護職員15名
R4.03.09	身体拘束廃止事例検討／虐待防止について	介護福祉士	介護職員3名
R4.03.15	プライバシー保護について	生活相談員	介護職員5名他1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R3.05.25	令和3年度 OJT指導者養成研修	宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3.06.01～11.30	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン	職員1名
R3.07.21	経管栄養関連の新規格コネクタ切り替えにかかわる説明会	登米市民病院	登米市民病院	職員1名
R3.07.21	ほのぼのNEXT合同操作説明～LIFE編～	NDソフトウェア株式会社	オンライン	職員1名
R3.08.19	令和3年度 宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県・宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R3.09.29	令和3年度 宮城県社会福祉施設職員 業務改善研修	宮城県・宮城県社会福祉協議会	オンライン	職員1名
R4.01.28	令和3年度 宮城県高齢者権利擁護推進研修④看護職員研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン	職員1名

## 2 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
ユニット会議	入居者状況、業務課題・問題・行事内容を検討しています。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
リーダー・サブリーダー会議	ユニット間の連絡調整、行事・サービス・ケア内容の検討しています。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討しています。	第3火曜日	全職員
運営推進会議	サービス評価・改善、入居者の生活状況確認しています。	6回/年	運営推進委員・入居者代表・施設長・相談員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討しています。	第3水曜日	入居者代表・施設長・管理栄養士・調理員・看護師・介護部
入所判定会議	実態調査を終了した方の入居の可否を検討、決定しています。	4回/年	施設長・相談員・看護師・介護職員

### (2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
随時	担当者会議（ケアプランの確認、見直ししています）	相談室	ご家族、施設長、相談部、看護部、介護部

## 3 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
施設指名委員会	見積もり合わせなどの指名業者の審議、入札の場合は法人本部に内申を行います。	随時	施設長、総務部、担当職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての検討をしています。	第1火曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	事故等の防止対策を検証・共有し再発防止に努めています。	第1火曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡等の予防対策しています。	第2火曜日	各委員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル等の評価・改善しています。	随時	各委員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため、研修の企画・実施しています。	随時	各委員
防災委員会	災害時等の防災訓練を企画・実践し、施設の安全な環境整備を行っています。	第1火曜日	各委員
マニュアル検討委員会	施設に合ったマニュアルの作成及び整備を行っています。	第4水曜日	各委員
入所判定検討委員会	入所申し込みの確認、入所判定基準に従い優先順位の審査、決定します。	3ヶ月に1回	第3者委員、施設長、栄養士、看護部、相談部、ユニットリーダー
ターミナル検討委員会	入居者や家族に対し、最期までより良い支援を継続することを基本とし、体制の整備、看取り介護、振り返り、体制の改善を行います。	第4火曜日	各委員
見守りセンサー等有効活用検討委員会	導入機器が安全且つ有効に活用され、介護事故等が減少していることの確認、必要な分析、検討を行います。	第1火曜日	各委員

## 【施設機能の開放】

### 1. 地域交流・視察・見学・実習受入状況

#### (1) 地域交流

年月日	団体名	内容	来訪者数
	受け入れ実績ありません。		

#### (2) 視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
	受け入れ実績ありません。		

## 【今後の取り組み】

- ・令和3年度介護保険改正の重点項目を柱とする取り組みを継続します。
  - ①感染症や災害への対応力強化
  - ②地域包括ケアシステムの推進、地域との連携
  - ③自立支援・重度化の防止の取り組みの推進
  - ④介護人材の確保・介護現場の革新
- ・事故防止  
認知症の方への対応力の強化や見守り機器等の導入で事故防止に努めます。
- ・法人内他事業所との連携  
感染症発生時だけでなく継続し法人内施設や本体施設と協力体制を取り連携を図ります。
- ・地域との連携  
感染症の状況を勘案しつつ地域の小学校や中学校、婦人部との定期的な交流を図るとともに、オレンジカフェを開催します。
- ・職員の質の向上  
施設内研修を中心に、職員個々の経験や能力に応じた研修に参加しスキルアップにつなげます。法人内研修においても講師等の派遣など積極的に行います。

# 令和3年度 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1) 所 在 地     | 宮城県登米市東和町米川字寺内28-22 |
| 2) 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会          |
| 3) 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会          |
| 4) 開 設 年 月 日 | 平成23年4月18日          |
| 5) 事業・利用定員   |                     |

事 業	利 用 定 員
地域密着型介護老人福祉施設	34 名
短期入所生活介護	空床
計	34 名

地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷では、法人理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」の5つの理念を基本的な方針として、利用される方が、入居後もその能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう自己実現の支援を行い、入居者の心身機能の維持を目指し取り組んでいます。また、入居者の意志及び人格を尊重し、常にその人の立場に立って支援が行えるように職員研修を通じ、個々のスキルアップを図りました。

更に、ユニットケアの特質を活かし、入居者の方の個性を生かす、それぞれの生活リズム、スタイルに沿ってきめ細かい配慮をすることによる支援を展開し実施することができました。

地域行事への参加や地域の方々との交流の場を大切にし、人と人との関係が営まれる支援を行い、この地域で暮らしてよかったと思えるよう、地域や家庭との結びつきを重視した施設づくりを掲げ取り組みましたが、コロナ感染症流行に伴い交流や参加について感染予防の観点から制限を行ったため、地域行事への参加は行わず、家族との面会のみ対応して行っています。

## 【 重 点 項 目 】

1. 入居者個人毎のケアプランを基に、個別支援計画書を作成しケア提供ができています。また、看取りケアについても様々な職種が関わり入居者の終末期の対応が行えています。次年度も入居者本人を中心とし家族、嘱託医師、ほたるの郷各種職員が連携し対応を継続して行きます。
2. ユニット毎の余暇活動(時間)の充実を図り楽しみと潤いのある生活を提供します。又、介護ロボット等やナースコールシステムを入れ替え活用し、職員の負担軽減を図ると同時に業務改善(効率化・最適化)が行えました。また、次年度に向けて更に機器を充実し夜勤職員配置加算の算定と入居者の見守り体制を構築します。
3. 地域福祉の拠点として機能の充実と地域との交流を企画(ほっとカフェ<認知症セミナー等>)を掲げましたが、コロナ感染症の流行に伴い外部との交流を控え、実施することができませんでした。地域密着型施設として次年度以降も、感染症状況を見ながら事業として継続します。
4. 防災委員会を中心にほたるの郷消防計画に基づき訓練や防災教育を通じ、災害発生に備え職員1人1人が行動できるように実施します。今後も災害発生や防災について職員に対して継続して年間を通じて教育、訓練を行います。
5. コロナ感染症により派遣型研修が減少、その代わりにウェブネットワークを活用した研修に職員が参加し自己研鑽が行えました。研修参加内容については、本報告書「職員研修状況」を参照してください。  
また、研修委員会を通じてアンケート調査を実施、職員より次年度の研修参加希望があり意向に沿った研修派遣計画を作成し実施していく予定です。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,834 名 (空床短期含む)
2. 年間稼働率 95.36 % ( " )  
(目標稼働率 98.00 % )
3. 年間平均介護度 3.96
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	0	0	0	4	10	0	0	0	4	0	0	0	18
要介護 2	30	31	30	31	31	30	0	0	0	0	0	0	183
要介護 3	245	242	240	282	226	268	333	364	378	372	308	310	3,568
要介護 4	435	462	441	374	341	325	332	311	337	363	321	457	4,499
要介護 5	270	279	266	248	339	338	341	330	305	279	292	279	3,566
計	980	1,014	977	939	947	961	1,006	1,005	1,024	1,014	921	1,046	11,834

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	0	0	0	0	3	1	1	0	1	2	1	11
退所者数	0	0	1	1	0	3	0	0	3	0	1	0	9
月末入所者数	34	34	33	32	32	32	33	34	31	32	33	34	+ 2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス  
(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.07.29	夏祭り会	3ユニット合同で行い、かき氷、綿あめ、ゲームコーナーを回り、夏祭りの雰囲気を感じていただきました。	利用者 29名 職員 7名
R3.09.17	長寿を祝う会	入居されている皆様の長寿をお祝いしました。	利用者 32名 職員 15名
R3.10.20	芋煮会	秋の風物詩である芋煮を調理しているところを見学し会食を行いました。	利用者 28名 職員 6名
R3.12.28	正月飾り作り	正月飾りをユニット毎にみずの木に飾り付けをして新年の準備を行いました。	利用者 21名 職員 5名
R4.02.03	節分・豆まき	厄を祓い健康と幸せを願い豆まきをし無病息災を願いました。	利用者 34名 職員 14名
R4.02.16	DVD鑑賞会	DVD観賞を通して水かぶりに行った気分を味わっていただきました。	利用者 25名 職員 2名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 143 名
2. 年間平均介護度 3.10
3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	0	4	10	0	0	0	4	0	0	0	18
要介護 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	5	9	9	8	5	16	13	4	6	0	0	0	75
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	5	14	50
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	9	9	12	15	16	13	4	10	31	5	14	143

【入居者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R3.04.08	手洗いについて	准看護師	職員 4名
R3.04.26	消防設備について	相談員	職員 6名
R3.05.06	災害時対応、緊急時対応について	相談員	職員 5名
R3.05.31	コンプライアンスについて	施設長	職員 9名
R3.05.31	食中毒予防について	管理栄養士	職員 9名
R3.06.03	事故防止研修「ヒヤリハットについて」	ユニットリーダー	職員 8名
R3.06.28	ユニットケアについて	ユニットリーダー	職員 3名
R3.07.08	看取りについて	看護師	職員 7名
R3.07.14	感染対策について	栗原中央病院看護師	職員 12名
R3.07.26	身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	職員 7名
R3.08.23	事故防止研修「危険予知訓練と回避訓練」	ユニットリーダー	職員 5名
R3.08.27	公用車操作について	相談員	職員 7名
R3.09.09	服薬について	管理薬剤師	職員 10名
R3.09.27	接遇研修	ユニットリーダー	職員 3名
R3.09.30	口腔ケアについて	東和歯科医院	職員 7名
R3.10.14	褥瘡予防とポジショニングについて	看護師	職員 5名
R3.10.25	メンタルケア研修「ストレスマネジメントについて」	ユニットリーダー	職員 7名
R3.10.25	個人情報取り扱いについて	ユニットリーダー	職員 7名
R3.10.28	虐待防止研修	ユニットリーダー	職員 6名
R3.11.19	救急救命研修	登米市消防署東出張所	職員 8名
R3.12.02	介護現場における記録の必要性和ポイントについて	ユニットリーダー	職員 6名
R3.12.27	認知症研修	介護福祉士	職員 5名
R4.01.27	身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	職員 4名
R4.01.28	看取り研修「死生観について」	興福寺住職	職員 9名
R4.02.04	救急対応について	ユニットリーダー	職員 5名
R4.02.10	嘔吐物の処理について	准看護師	職員 5名
R4.03.25	介護技術研修「移乗介助について」	ユニットリーダー	職員 11名
R4.03.25	腰痛予防について	准看護師	職員 11名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3.04.13	ワンポイント研修：ユニットリーダーとしての心がまえ	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.04.20	ワンポイント研修：入居者をもっと知るために	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.05.11	ワンポイント研修：リーダーのつぶやき	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.05.18	ワンポイント研修：現場が動く、そのヒント！	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.05.24	安全運転管理者講習会	宮城県公安委員会	南三陸町	職員1名
R3.06.11・24	介護福祉士養成施設実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R3.06.22	ワンポイント研修：非常時から見えてきたもの	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.06.29	ワンポイント研修：想いを伝えることの大切さ	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.07.02・16	介護福祉士養成施設実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
R3.07.02	ケアマネジャー研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	オンライン開催	職員1名
R3.07.07	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	オンライン開催	職員1名
R3.07.13	ワンポイント研修：看取り介護の展開	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.07.26	認知症介護基礎研修	宮城県	大崎市	職員1名
R3.07.27	ワンポイント研修：いつまでも食べる楽しみを	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R3.08.12	危険予知訓練と回避訓練	宮城県介護研修センター	大崎市	職員1名
R3.08.18～24	認知症介護実践者研修	宮城県	大崎市	職員1名
R3.10.01	登米市認知症カフェ研修	登米市	登米市	職員1名
R3.10.06～08	人事考課者研修	恵泉会	登米市	職員6名
R3.10.04	令和3年度介護報酬改定で変わった褥瘡対応	ドクターメイト株式会社	オンライン開催	職員1名
R3.10.28	褥瘡について	登米市栄養士会	オンライン開催	職員1名

R3. 11. 16	高齢者虐待防止法について	宮城福祉オンブズネット「エール」	オンライン開催	職員1名
R3. 11. 16	介護現場における記録の必要性とポイント	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員2名
R3. 11. 22	施設看護師の専門性と具体的な動き方	全国高齢者施設看護師会	オンライン開催	職員1名
R3. 12. 03	褥瘡について	パラマウントベッド株式会社	オンライン開催	職員1名
R3. 12. 09	MCTオイルの活用について	登米市栄養士会	登米市	職員1名
R3. 12. 17	成年後見制度研修会	登米市	登米市	職員1名
R3. 12. 23	地域での看取りを考える研修	登米市、地域医療対策委員会	登米市	職員3名
R4. 01. 25	ワンポイント研修：介護記録を書くポイント	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R4. 02. 08	ワンポイント研修：オムツ外しから入居者のADLアップへ	ユニット型施設推進協議会	オンライン開催	職員1名
R4. 02. 23	恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	登米市	職員1名
R4. 03. 02	ADL維持等加算算定のためのバーセルインデックス測定について	厚生労働省老健局	オンライン開催	職員1名
R4. 03. 12	認知症介護基礎研修	宮城県	石巻市	職員2名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
ユニット会議	業務課題、問題、24Hシートの見直しをユニットで行いました。	随時	各ユニット職員
リーダー会議	ユニット間の連絡調整、サービス、ケア内容の検討。	第3木曜日	各セクション職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討。	第4月曜日	全職員
運営推進会議	利用者の状況説明、事故報告、施設状況の説明。	2ヶ月毎	施設職員、登米市職員、地域住民、包括支援センター
入居判定会議	実態調査等を元に入居可否の検討を行いました。	随時	各セクション職員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討。	第3月曜日	施設長、栄養士、調理員、相談員、医務、介護員、SV

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス評価委員会	サービス評価、検討	第3木曜日	施設長、各委員
研修委員会	職員の資質向上を図るため、研修の計画実施を図りました。	第1木曜日	施設長、各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡の予防対策について	第2木曜日	施設長、各委員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメントの取り組み、検討	第1木曜日	施設長、各委員
マニュアル検討委員会	マニュアルの整備、見直しを行いました。	第4木曜日	施設長、各委員
虐待防止・身体拘束防止委員会	入居者の虐待防止、身体拘束防止への取り組み。	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災に関する検討	第1木曜日	施設長、各委員
入居検討委員会	入居申込者の点数、順位の見直し	3ヶ月毎	施設長、各委員、外部委員
環境整備委員会	施設の環境整備に関すること	第2木曜日	施設長、各委員
指名委員会	備品等の購入、契約に関する指名業者の選定	随時	施設長、各委員、購入担当者
ターミナル検討委員会	看取りに関する情報共有、対応	第2木曜日	施設長、各委員、ユニット職員



## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
		コロナ感染症流行のため中止しています。	
合計			

#### (2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
		コロナ感染症流行のため中止しています。		
計				

## 【今後の取り組み】

- 施設サービス計画に基づき、個別援助計画、24時間シートなどのツールを使い、入居者個々の生活に合わせたケアを重視した取り組みを行うとともに、ターミナルケア（看取り）についても、引き続き取り組みます。また、介護保険制度において新たに始まった科学的介護についても取り組みます。
- 介護業務のICT化に取り組み、介護支援システムや介護ロボット等を活用し、職員の負担軽減を図ると同時に業務改善（効率化・最適化）に取り組みます。
- 地域福祉の拠点として機能の充実と地域との交流を目的にほっとカフェ（認知症セミナー等）を企画し実施していきます。
- コロナ感染症対策として、宮城県、登米市など地域の感染状況を把握し入居者、職員の感染症予防を始め、策定したコロナ感染症対策業務継続ガイドラインや感染症防止マニュアルを活用、運営していきます。
- 防災対策について、日ごろから防災を意識し防災委員会を組織し定期的に防災訓練を行うとともに、職員への防災教育と設備の点検を実施、災害発生に備えます。また、登米市の福祉避難所として施設を開放します。
- 各種研修等へ参加し職員の資質・専門性の向上に努め人材育成を行って行きます。本年度は、特に認知症に係る研修や権利擁護に係る研修を中心に行ってまいります。

# 令和3年度 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777番地
2. 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成5年3月15日
5. 利 用 定 員 45 名

### ○事業内容

- 〔1〕 通所介護
- 〔2〕 介護予防通所介護
- 〔3〕 日常生活支援総合事業通所型サービス（第1号通所事業）
- 〔4〕 基準該当生活介護（障害デイサービス）
- 〔5〕 登米市生きがい対応デイサービス

- (1) 「笑顔」「思いやり」「安心」のある支援、施設・人をつくる。
- (2) 質の高いサービス提供。
- (3) 施設機能解放・地域社会への貢献。
- (4) 利用者の安定確保・健全な経営。

## 【 重 点 項 目 】

1. 在宅生活の継続・・・個別機能訓練加算Iイを取得し、機能維持向上に向け利用者のやる気にも繋がりました。前年度より加算取得者を42名増やし収入を上げています。今後も加算取得者を増やし、レスパイト機能のみならず在宅生活を継続するために精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指します。
2. オレンジカフェ「えん」の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に伴い開催自体が難しい状況でした。新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、地域交流の一環として工夫しながら継続していきます。
3. 隣接施設との世代間交流を通した生きがい作り・・・新型コロナウイルス感染症の状況で触れ合うといった交流は難しかったのですが、中庭で行うキッズつぼみの運動会を見物したり、遠山荘のテラスで遊ぶ子どもたちを眺めたり声を聞いているだけでも、微笑ましく癒されていた様子が見られました。新型コロナウイルス感染症の感染状況にもよりますが、世代間交流として継続していきます。
4. 事故ゼロに向けた取り組み・・・市に提出した介護事故は2件ありましたが、大きなけが等もなく回復しています。介護に伴う事故やミス、ヒヤリハットは委員会等で検証を十分に行い今後の再発防止に努めていきます。
5. 経費削減・安定経営・・・こまめな節電・節水を心がけ、職員間で声掛けし、経費削減に努めています。稼働率を上げ収入を増やすことを目指しましたが、施設入所が多く、なかなか伸びませんでした。重度の利用者を受け入れることで中重度者ケア体制加算の取得やリハビリの重点化だけでなく、施設機能の専門性を深め効果的なサービスを提供することで利用者の獲得をねらいます。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 11,268 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 80.77 % (通所介護+総合事業)  
(76.48) % (通所介護)  
(4.29) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.53 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	164	145	141	157	172	188	172	185	172	172	190	220	2,078
要介護 2	312	300	334	364	330	348	353	330	324	319	318	363	3,995
要介護 3	189	173	164	159	143	186	176	189	203	170	172	215	2,139
要介護 4	223	213	172	157	191	148	120	126	141	125	110	88	1,814
要介護 5	37	67	67	57	45	54	67	63	48	44	41	53	643
計	925	898	878	894	881	924	888	893	888	830	831	939	10,669
事業対象者	14	8	7	9	8	10	8	8	10	8	8	9	107
要支援1	17	20	16	23	20	18	16	17	17	13	12	13	202
要支援2	33	33	33	35	24	17	17	16	17	23	22	20	290
計	64	61	56	67	52	45	41	41	44	44	42	42	599
合計	989	959	934	961	933	969	929	934	932	874	873	981	11,268

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	0	3	4	8	5	3	2	2	3	5	1	40
契約終了者数	6	1	5	3	3	3	2	4	4	4	2	2	39
月末契約者数	101	100	98	99	104	106	107	105	103	102	105	104	+ 1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス
  - (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.05.05	菖蒲湯	菖蒲湯	利用者 35名 職員 9名
R3.05.25	ふれあいカフェ	カフェ5日間実施	利用者 192名 職員 59名
R3.07.07	七夕レクリエーション	寸劇、レクリエーション	利用者 40名 職員 13名
R3.07.26	ふれあいカフェ	カフェ6日間実施	利用者 219名 職員 75名
R3.08.26	夏祭り	職員余興、出店、ビンゴ大会	利用者 38名 職員 15名
R3.09.17	長寿を祝う会	職員余興、年祝い紹介、祝い品贈呈	利用者 33名 職員 14名
R3.10.13	登米リンピック	2日間実施、運動会	利用者 72名 職員 29名
R3.12.22	ゆず湯	ゆず湯	利用者 35名 職員 14名
R3.12.24	クリスマス会	職員余興、クリスマスプレゼントくじ	利用者 34名 職員 13名
R4.01.04	新年会	お屠蘇配り、福笑いゲーム、職員余興、カフェ5日間実施	利用者 226名 職員 86名
R4.02.03	節分	豆まきゲーム、年男年女紹介	利用者 39名 職員 12名
R4.02.14	ふれあいカフェ	カフェ3日間実施	利用者 117名 職員 42名
R4.03.03	ひな祭り	ひな祭り人形作成・プレゼント、甘酒提供3日間	利用者 113名 職員 38名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 340 名
2. 年間稼働日数 310 日
3. 年間稼働率 2.44 %
4. 月別利用状況

( 延べ利用者数 )

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
生 イ き		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
身 障 デ イ	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分4	21	22	22	22	22	21	26	25	24	24	24	27	280
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	13	12	12	12	11	60
	計	21	22	22	22	22	21	26	38	36	36	36	38	340
合 計	21	22	22	22	22	21	26	38	36	36	36	38	340	

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師 (講演者)	参 加 者
R3. 07. 30	車椅子車輛操作研修	介護員	15 名
R3. 08. 24	中間浴, 特浴の操作方法について	介護員	7 名
R3. 09. 07	認知症研修	介護福祉士	9 名
R3. 10. 18	中重度者ケア体制加算及び個別機能訓練加算について	管理者	12 名
R3. 11. 08	介護技術研修(移乗, 着脱, 歩行)について	介護福祉士	7 名
R4. 03. 09	リスクマネジメント研修	介護員	9 名
R4. 03. 10	コンプライアンス研修	管理者	7 名
R4. 03. 14	コンプライアンス研修	管理者	8 名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 06. 24	LIFEシステム説明会	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員2名
R3. 07. 21	LIFEシステム説明会 (Web研修)	社会福祉法人恵泉会	遠山荘	職員2名
R3. 10. 07	人事考課者研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員2名
R3. 11. 24	東和・登米地区(合同)地域ネットワーク会議 (Web研修)	宮城県社会福祉協議会	遠山荘	職員1名
R3. 11. 30	感染者予防研修 (Web研修)	東和・登米包括支援センター	遠山荘	職員1名
R4. 02. 14	宮城県サービス管理責任者等更新研修 (Web研修)	宮城県	遠山荘	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	全職員参加し、業務や利用者についてなど全般にわたり検討	月1回	全職員
給食会議	委託業者を交えて給食についての検討	月1回	委託業者・栄養士・利用者・職員
デイサービス部会	恵泉会内デイサービスの検討	月1回～2ヶ月に1回	生活相談員
担当者会議	モニタリング、計画書の確認	随時	全職員、生活相談員

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束廃止に向けての検討	必要時	全職員
褥瘡予防検討委員会	褥瘡発生予防、高リスク利用者分析・評価	定期	全職員
感染症対策検討委員会	感染症対策に関すること	月1回程度	全職員
リスクマネジメント委員会	施設のリスク全般について	月1回程度	全職員
防災委員会	防災についての検討	随時	防災委員会

#### 【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況  
(1) ボランティア・視察・見学  
※コロナの状況により受け入れていません。
2. 認知症カフェ プチ・ルポ「えん」開催  
※コロナの状況により開催していません。

#### 【今後の取り組み】

1. 住み慣れた地域で在宅生活の継続ができるよう、状態の維持向上に向けた活動や集団リハビリ等を提供します。
2. オレンジカフェの開催、地域行事への参加を通し地域との共生を目指します。
3. 隣接するサービス付き高齢者向け住宅「恵はあと」、事業所内保育所「キッズつぼみ」、地域住民との交流を通じ生きがい作りの場を提供します。
4. 介護・交通事故「ゼロ」に向けた取り組みを行います。
5. 利用者確保を目指すと共に、経費削減に努め、安定経営につなげます。

# 令和3年度 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市中田町宝江黒沼字十文字 2 1 1 - 5
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成21年 3月15日
5. 利 用 定 員	10 名

地域に密着した小規模事業所の特性を活かし、一人ひとりに寄り添った家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりが安心してその人らしい生活が送れることを意識しながら支援することができました。住み慣れた地域や家庭での生活が継続できるように、個々の状況に合わせた支援を考慮し、一日を満足して過ごしていただく環境作りに取り組みました。

創作活動では、利用者同士協力し作品を仕上げ、皆で達成感を味わい喜ぶ姿が見られました。ゲームやレクリエーション、軽運動では、楽しそうな笑顔や声が飛び交い充実した時間を過ごして頂きました。季節の移り変わりを感じていただくために、季節毎の花々の見学やりんご狩りに出掛け、気分転換の場が提供できました。交流面においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施できませんでした。また、運営推進会議の開催が一回出来、委員の方々より直接話を聞くことが出来ました。誕生会ではホールケーキと手作りの誕生カードでお祝い大変喜んでいただくと共に、昔話をしたり、語りの場と交流を図る時間の提供ができました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者さんの安定した利用とまでは言えず、年間稼働率98.13%と予算執行稼働率達成は出来たものの前年度を下回る結果でした。一年を通してスタッフ一人ひとりが質の高いサービス提供を目指し内部研修等で、技術の向上に努めました。

## 【 重 点 項 目 】

1. 利用者本人の思いを汲み取り在宅で快適な生活が送れるように、一人ひとりのニーズをとらえ、又利用者の状態を常に把握し、安心して過ごせる環境で、スタッフ全員が意識統一を図り最適なサービス提供ができました。
2. サービス会議やモニタリング等で利用者の状況について話し合い、小さな変化も見逃さず、ニーズに適した介護計画の見直しを行い、一人ひとりの状態にあったサービス提供ができました。
3. 担当者会議において利用者の幸せや家族の要望に配慮し、ケアマネージャーや各サービス担当者や情報の共有を密に行い、利用者本人が在宅でより快適に暮らすことが出来るような支援を心掛けることができました。
4. デイサービス連絡手帳にバイタルや利用状況を記載し、体調面や一日の様子について細かく伝えることができました。変化のあった際は家族やケアマネージャーに迅速に連絡して対応することができました。
5. 病状の変化や状態に応じ食事形態等を考慮した食事提供ができました。おやつは健康状態に配慮し、できる限りバラエティーに富んだ手作りおやつを提供して喜んで頂くことができました。
6. クッキングやタオルたたみ等の生活リハビリを行い日常の生活動作に結びつける事ができました。また、レクリエーション等を多く取り入れたり、個別リハビリ（柔道整復師によるマッサージ）の実施で身体機能の維持を図りました。
7. 新型コロナウイルス感染症の為、地域のボランティアさんを招いて交流は提供できませんでした。又、運営推進会議で一回開催することが出来、ほんわかの様子を伝え地域の方々や御家族様にも伝える事が出来ました。
8. 担当者会議等で情報の共有化を図り連携を深め、ケアプランに基づいたより良いサービス提供に努めました。
9. 研修計画に基づき毎月内部研修を実施し、職員一人ひとりの資質向上と専門性の向上に努め職員の意識改革に取り組むことができました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 3,042 名  
 2. 年間稼働日数 310 日  
 3. 年間稼働率 98.13 % (通所介護・総合事業)  
 91.52 % (通所介護)  
 6.61 % (総合事業)  
 4. 年間平均介護度 2.84 (通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	41	45	40	38	29	31	31	36	39	34	30	39	433
要介護 2	57	61	52	69	68	66	69	70	70	74	77	84	817
要介護 3	66	64	66	70	43	40	41	43	37	33	32	43	578
要介護 4	52	45	50	48	69	78	70	76	78	66	72	80	784
要介護 5	22	23	23	23	23	21	23	24	23	20	0	0	225
計	238	238	231	248	232	236	234	249	247	227	211	246	2,837
事業対象者	22	20	21	22	21	22	20	11	12	10	12	12	205
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	20	21	22	21	22	20	11	12	10	12	12	205
合計	260	258	252	270	253	258	254	260	259	237	223	258	3,042

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	4
契約終了者数	0	0	0	0	3	0	1	0	0	2	0	1	7
月末契約者数	25	25	25	25	22	23	22	23	24	22	22	22	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
R3.05.05	菖蒲湯	無病息災を祈って菖蒲湯に浸り、邪気を払うといわれる昔ながらの風習を味わって頂きました。	利用者 11名 職員 5名
R3.07.05 R3.07.06 R3.07.07	七夕会	手作りの七夕飾りをホールに飾り短冊に願いを込めました。	利用者 31名 職員 13名
R3.09.28 R3.09.29 R3.09.30	長寿を祝う会	利用者に敬意を表し、長寿と健康を祈念しました。敬老祝い膳で御祝い行っています。(3日間)	利用者 35名 職員 12名
R3.12.21 R3.12.23 R3.12.25	クリスマス会	三日間会に参加された利用者様が三日間違った景品をもらうことが出来、楽しめる内容にてクリスマス会を行いました。クリスマスソングに合わせて合奏も楽しんでいます。	利用者 30名 職員 10名
R4.01.05 R4.01.08	新年会	「新年御祝い御膳」を提供。喜んで召し上がっていただきました。(2日間)	利用者 20名 職員 8名
R4.02.01	節分	一年間の無病息災を願い、豆まきを行いました。	利用者 9名 職員 5名
R4.03.02	ひな祭り会	午後の活動でひなまつりにちなんだレクリエーション活動を行い桃の節句を祝う。持ち帰り作品としてひな人形の壁面作りを行い持ち帰っていただきました。	利用者 8名 職員 3名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参 加 者
R3. 08. 11	法令遵守研修	管理者兼生活相談員	職員4名
R3. 09. 07	身体拘束廃止・プライバシーに関する研修	生活相談員兼介護員	職員2名
R3. 10. 07	リスクマネジメント研修	生活相談員兼介護員	職員2名
R3. 11. 05	緊急時対応について	管理者兼生活相談員	職員2名
R3. 12. 08	食中毒予防研修	介護員	職員2名
R3. 12. 13	新任職員研修	管理者兼生活相談員	職員1名
R4. 03. 09	介護実践研修（体位交換・移乗）	介護福祉士	職員2名
R4. 03. 09	身体拘束廃止	介護福祉士	職員2名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3. 10. 14	自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市福祉事務所	南方町	職員1名
R3. 11. 26	宮城県認知症介護基礎研修	宮城県介護研修センター	大崎市	職員1名
R3. 11. 30	令和3年度感染予防WEB研修	宮城県社会福祉協議会	ほんわか	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	2ヶ月に1回	生活相談員1名
サービス会議	利用者の利用状況や行事予定について	月1回	全職員
給食会議	食事に関する事項等	月1回	全職員
運営推進会議	事業報告等	年2回	管理者・生活相談員・事務員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災委員会	通報順位や通報訓練について	R3. 04. 06	全職員
	通報訓練の振り返り・総合防災訓練について	R3. 05. 07	全職員
	総合防災訓練について	R3. 06. 07	全職員
	不審者対応訓練について	R3. 09. 07	全職員
	防災教室（火災想定）について	R3. 10. 07	全職員
	非常通報訓練について	R3. 12. 05	全職員
	避難訓練について	R4. 01. 07	全職員
	防災教室（地震想定）について	R4. 02. 07	全職員
研修委員会	令和3年度年間施設内外研修計画について	R3. 04. 02	管理者・生活相談員
	法令遵守研修について	R3. 08. 11	管理者・生活相談員
	身体拘束廃止・プライバシーに関する研修について	R3. 09. 07	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月のリスクマネジメント研修について	R3. 10. 07	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の緊急時対応について	R3. 11. 05	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の食中毒予防研修について	R3. 12. 08	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の新任職員研修について	R4. 01. 07	管理者・生活相談員
	今月の反省及び次月の介護実践研修について	R4. 02. 07	管理者・生活相談員
リスクマネジメント委員会	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3. 05. 07	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3. 06. 07	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3. 07. 06	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3. 08. 11	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3. 09. 07	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3. 10. 07	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3. 11. 05	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R3. 12. 08	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4. 01. 07	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4. 02. 07	全職員
前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	R4. 03. 09	全職員	



サービス向上委員会	タイムテーブルと研修計画について	R3.05.07	全職員
	タイムテーブルと研修計画について	R3.06.07	全職員
	サービス評価について	R3.07.06	全職員
	タイムテーブルの見直しについて	R3.08.11	全職員
	タイムテーブルの見直しとサービス評価について	R3.09.07	全職員
	タイムテーブルとほのぼのの入力について	R3.10.07	全職員
	活動内容と連絡手帳の変更について	R3.11.05	全職員
	利用者様の担当割り地域貢献について	R3.12.08	全職員
	タイムテーブルの見直しについて	R4.01.07	全職員
	厚生労働省のアンケート協力について	R4.02.07	全職員
	新年度からのタイムテーブル改正について	R4.03.09	全職員
	褥瘡予防検討委員会	状況確認と対応について	R3.05.07
状況確認と対応について		R3.06.07	全職員
状況確認と対応について		R3.07.06	全職員
状況確認と対応について		R3.08.11	全職員
状況確認と対応について		R3.09.07	全職員
状況確認と対応について		R3.10.07	全職員
状況確認と対応について		R3.11.05	全職員
状況確認と対応について		R3.12.08	全職員
状況確認と対応について		R4.01.07	全職員
状況確認と対応について		R4.02.07	全職員
状況確認と対応について		R4.03.09	全職員
感染症対策検討委員会	感染症予防対策について	R3.05.07	全職員
	感染症予防対策とバルサン散布について	R3.06.07	全職員
	感染症予防対策について	R3.07.06	全職員
	感染症予防対策について	R3.08.11	全職員
	感染症予防対策について	R3.09.07	全職員
	感染症予防対策とインフルエンザ予防接種について	R3.10.07	全職員
	感染症予防対策と寝具洗濯について	R3.11.05	全職員
	感染症予防対策改善点について	R3.12.08	全職員
	感染症予防対策について	R4.01.07	全職員
	感染症予防対策と利用者状況について	R4.02.07	全職員
介護職員の為の感染対策マニュアルについて	R4.03.09	全職員	
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の現状について	R3.09.07	全職員
	身体拘束の現状について (内部研修実施)	R4.02.28	全職員

#### 【今後の取り組み】

1. 利用者一人ひとりのニーズをとらえ、安全で快適に過ごせる最適なサービスを提供し、選ばれる事業所となります。
2. 地域の方々やボランティアの方々を招き、地域に根ざしたサービス提供を展開し、家族や地域の方々を含めた援助が行えるように努め、地域に貢献出来る事業所を目指します。
3. 家族やケアマネージャーとの連携を密に行い、情報の共有を図り、利用者のしあわせを考えた支援を目指します。
4. 各種研修会や内部研修で専門性を高め、適切な支援を実践に活かし質の高いサービスを提供します。
5. 目標稼働率98%以上を達成します。

# 令和3年度 恵泉会ヘルパーステーション 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成17年4月15日

利用者個々の持っている能力と、それぞれの要望を尊重した上で適切なサービスを提供し、安心した日常生活を営む事が出来るよう支援しました。在宅医療を受ける人が多くなり、在宅医療・介護に携わる大きなチームの一員として、介護支援専門員や訪問看護師などの職種とも連携を図り、質の高いサービス提供が行えるよう努めました。

障害者サービスにおいて、在宅で日常生活をより良く営むことができるよう、自立に向け一人ひとりにあわせた援助を行いました。

## 【 重 点 項 目 】

1. 良質なサービスを提供するために、サービス提供責任者が職員・登録ヘルパーの技術面・意識面においてサービスの質の向上を図るため指導しました。また、現在行っている業務内容等の見直しを行いました。
2. 利用者が満足するサービスを提供するため、介護支援専門員を通して各サービス事業所と連携し、利用者・家族の意向や介護生活の状況などをアセスメントを行い、計画に沿ったサービスを適確に行いました。
3. 外部研修へ参加するほか、施設内研修を毎月実施し、職員の意識改革と専門性の向上に努めました。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 5,610 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 年間平均介護度 2.65 (訪問介護)
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	79	74	80	66	67	85	76	78	78	69	55	62	869
要介護 2	148	123	131	131	140	151	138	140	133	104	103	112	1,554
要介護 3	95	115	112	132	111	114	135	124	135	148	119	139	1,479
要介護 4	52	51	46	49	44	48	50	59	62	61	61	23	606
要介護 5	53	58	61	55	25	18	20	23	21	19	29	86	468
計	427	421	430	433	387	416	419	424	429	401	367	422	4,976
要支援1	31	28	29	31	27	23	25	26	30	26	25	23	324
要支援2	27	28	24	22	20	21	23	25	24	23	23	26	286
事業対象者	3	4	5	3	5	4	0	0	0	0	0	0	24
計	61	60	58	56	52	48	48	51	54	49	48	49	634
合 計	488	481	488	489	439	464	467	475	483	450	415	471	5,610

### 5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	5	6	2	3	4	3	1	1	0	2	1	32
契約終了者数	2	2	2	4	5	1	1	2	1	0	4	2	26
月末契約者数	69	72	76	74	72	75	77	76	76	76	74	73	+ 6

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,009 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 月別利用状況

( 延べ利用者数 )

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
居宅介護	区分1	4	4	5	4	5	4	4	5	3	4	4	5	51
	区分2	18	15	17	15	14	14	14	12	15	7	8	10	159
	区分3	2	2	2	1	2	2	2	2	2	0	0	0	17
	区分4	12	10	10	11	12	15	14	12	15	16	17	16	160
	区分5	9	8	9	9	9	9	8	9	9	8	8	10	105
	区分6	12	13	20	17	16	16	24	57	87	87	82	86	517
	計	57	52	63	57	58	60	66	97	131	122	119	127	1,009
合計	57	52	63	57	58	60	66	97	131	122	119	127	1,009	

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3.04.22	法令遵守（ハラスメント）について	管理者	職員4名
R3.05.27	事故発生時及び緊急時対応マニュアルについて	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員4名
R3.06.28	食中毒の予防・蔓延防止、コロナウイルス感染症について	介護福祉士	職員4名
R3.06.28	登録ヘルパー・初任者研修会	管理者	登録ヘルパー8名
R3.07.19	介護職にとっての接遇とは	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員4名
R3.08.27	高齢者・障害者虐待防止について	介護福祉士	職員4名
R3.09.24	認知症のケアについて	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員4名
R3.10.28	プライバシー保護	介護福祉士	登録ヘルパー10名
R3.11.29	感染症の予防について	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員5名
R3.12.21	リスクマネジメントについて	管理者	職員5名
R4.01.25	介護予防・要介護進行予防について	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員5名
R4.02.14	登録ヘルパー研修会	管理者	登録ヘルパー7名
R4.02.28	事故発生及び再発防止について	介護福祉士	職員5名
R4.03.23	身体拘束排除への取り組みについて	介護福祉士兼サービス提供責任者	職員5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R3.06.29	新型コロナウイルス感染症拡大防止研修	東部保険福祉事務所	登米市民病院	職員2名
R3.09.28	令和3年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.10.14	令和3年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.10.26	令和3年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.11.29	令和3年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	社会福祉協議会	オンライン	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議・委員会

会議名	内容	開催日	参加職員
ケアカンファレンス	契約利用者のサービス状況について	随時	介護福祉士
職員会議	業務に関する課題への対応方策について話し合う	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー
スタッフ会議	訪問介護員の技術指導を目的とする	月末	介護福祉士・登録ヘルパー
伝達会議	サービス提供責任者と訪問介護員の情報伝達および報告	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー
感染症対策委員会	各感染について理解し、予防・対応策について周知する。	4・6・11月 随時	介護福祉士

### 【今後の取り組み】

1. 感染症対策を強化し、他の職種及び事業所との連携を図り、利用者の必要としているサービスと自立を目指し、満足していただけるサービスが提供できるよう努めます。
2. サービス計画書と連動した訪問介護計画書を作成のうえ、訪問介護員にはサービス提供責任者による同行訪問にてより良い指導を行います。また、手順書を作成することで、適切で統一されたサービス提供ができるようにします。
3. サービス提供状況の確認を強化し、質の高いサービスが提供できるように積極的に研修会に参加し、訪問介護員のキャリアアップに努めます。また、登録ヘルパーを確保・育成し、サービス提供の現場に送り出せるようにします。

# 令和3年度 恵泉会介護支援センターいきいき 事業報告

## 【 施設概要 】

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人恵泉会             |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人恵泉会             |
| 4. 開設年月日 | 平成19年4月1日             |

## 【 重点項目 】

- ・職員一人ひとりが心身共に良好で気持ち良く働ける職場環境づくりに関しては、ストレスの多い中で、互いにフォローしながら、また、適宜面談をするなどメンタルケアに取り組み、離職者を出さずに業務を行えました。
- ・アセスメント、課題分析の充実に関しては、今年度3名が主任介護支援専門員の更新研修を受講しました。主任介護支援専門員のケアプランチェックや助言でスキルアップを図り、利用者の自立に向けた固有のニーズの引き出しができるようになっていきます。各自の力量も概ね平均化しています。
- ・各地域包括支援センター、医療機関とも連携を図り、トラブルなく円滑な関係を継続することができました。また、週1回の伝達会議などで、研修内容の復命を行い各職員の知識向上につながりました。
- ・医療依存度の高い利用者を特定事業所Ⅰの事業所として積極的に受け入れ、早期のマネジメントにつなげました。また、ターミナル期、退院時の支援も積極的に行ったことで、次年度の加算算定（特定事業所医療介護連携加算）要件を今年度も満たすことが出来ました。
- ・コロナ禍の中、WEBを使って他事業所との合同研修会を実施し、体不調者も出すことがありませんでした。
- ・困難事例については数件ありましたが、担当のみで抱えることが無いように情報を共有し支援を行うことが出来ました。
- ・初任者研修、介護支援専門員試験対策の講師を派遣し、職員の資格取得へ協力することができました。
- ・令和3年4月の介護保険改定において、高齢者虐待防止の推進、業務継続に向けた取組の強化の改定があったが、虐待防止委員会、感染症・災害対策委員会を発足し、基本指針の策定、研修会の開催にて各職員の意識向上をはかることができました。

## 【 利用状況 】

### 1. 月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	86	81	75	84	77	82	83	83	81	83	77	78	970
女	178	179	173	180	183	188	185	184	178	180	172	169	2,149
計	264	260	248	264	260	270	268	267	259	263	249	247	3,119

### 2. 月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	54	52	50	52	52	51	49	51	49	48	47	48	603
要介護2	63	63	60	62	61	65	68	71	75	78	74	74	814
要介護3	67	67	66	69	71	67	69	65	62	66	57	57	783
要介護4	54	53	47	53	49	56	51	50	46	46	49	44	598
要介護5	26	25	25	28	27	31	31	30	27	25	22	24	321
計	264	260	248	264	260	270	268	267	259	263	249	247	3,119

### 3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	11	2	5	6	12	8	6	8	8	6	7	4	83
契約終了者数	7	9	6	1	6	7	3	6	15	9	6	17	92

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	48	46	44	47	45	49	47	46	50	48	48	49	567
訪問入浴	18	15	14	14	15	18	17	17	18	16	16	17	195
訪問看護	46	42	42	43	46	46	46	44	42	42	42	44	525
通所介護	166	158	155	159	161	171	167	163	151	154	155	154	1,914
通所リハ	24	26	25	26	25	27	25	24	23	23	23	22	293
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具	179	174	176	181	184	188	187	179	180	171	173	171	2143
短期生活	50	55	53	54	58	54	52	51	51	49	50	44	621
短期療養	5	4	4	4	3	2	2	2	3	3	3	3	38
認知通所介護	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	34
地密通所介護	31	33	32	33	32	34	34	35	35	34	34	31	398
計	570	556	548	564	572	592	580	563	556	543	547	537	6,728

【認定調査状況】

1. 認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	14	7	9	7	12	8	12	10	11	16	12	16	134

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	18
要支援2	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	50
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
計	7	7	7	7	6	7	6	6	5	5	5	8	76

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	中田町	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	16
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	3	20
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	南方町	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	24
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
計	7	7	7	7	6	7	6	6	5	5	5	8	76	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4	10
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	6	18

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス	6	6	6	6	5	5	5	5	4	4	4	4	60
計	6	6	6	6	5	5	5	5	4	4	4	4	60

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師・事例提供者	参加者
R3.04.07	令和3年度新任職員研修	介護支援センター施設長	2名
R3.06.11	個人情報保護について	東和介護支援センター 介護支援専門員	7名
R3.07.12	コンプライアンスについて	介護支援センター施設長	9名
R3.09.10	感染症対策指針・高齢者のかかりやすい感染症	感染症・災害対策委員会 介護支援専門員	22名
R3.10.12	登米市の高齢者虐待の現状と包括支援センターの関わりについて	迫地域包括支援センター 管理者・社会福祉士	22名
R3.11.11	「居宅介護サービス計画書標準様式及び記載要領」について	介護支援センターいきいき・東和 介護支援専門員	24名
R3.12.10	事例検討「食事摂取量の低下により、体重減少している利用者への支援について」	介護支援センターいきいき 介護支援専門員	19名
R4.01.11	災害対策について	介護支援センターらくらく・とよま 介護支援専門員	21名
R4.02.14	認知症について	介護支援センターらくらく 介護支援専門員	20名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
R3.04.13	認知症のアセスメントについて	宮城県 ケアマネジャー協会 登米支部	事業内 (WEB)	職員1名
R3.05.15 ～06.14	令和3年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県 ケアマネジャー協会	事業内 (WEB)	職員3名
R3.06.17	新任介護認定調査員研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R3.06.29	令和3年度クレーム対応研修 (基本編)	宮城県社会福祉協議会	事業所内 (WEB)	職員1名
R3.07.02	情報収集の目的と視点を学ぶ	宮城県 ケアマネジャー協会 登米支部	事業内 (WEB)	職員1名
R3.07.21	経管栄養関連の新規コネクタ切り替えに係る説明会	登米市民病院	登米市民病院 地域医療連携センター 多目的ホール	職員2名
R3.07.28	令和3年度登米市地域包括支援センター等職員研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R3.08.18	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策報告会	宮城県	事業内 (WEB)	職員1名
R3.08.25	令和3年度登米市地域包括支援センター等職員研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R3.09.29	令和3年度登米市地域包括支援センター等職員研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R3.10.15	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県 ケアマネジャー協会	J Aみやぎ登米 本店	職員1名
R3.11.18	令和3年度自立支援型ケア会議に資する人材育成講座	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R3.12.02	令和3年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県 ケアマネジャー協会	事業所内 (WEB)	職員3名

R3.12.17	令和3年度成年後見制度研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	職員1名
R4.01.19	地域での看取りを考える研修会	宮城県	事業所内 (WEB)	職員6名
R4.02.01	介護認定調査員現任研修	登米市福祉事務所	事業所内 (WEB)	職員6名
R4.02.02	介護事業者のための業務継続計画作成セミナー	厚生労働省	事業所内 (WEB)	職員1名
R4.03.04	令和3年度 登米市在宅医療・介護連携研修会 (登米市民病院)	登米市福祉事務所	事業所内 (WEB)	職員1名

(3) その他の研修

年月日	内容	主催者 講師	開催地	参加者
R3.04.19	令和3年度 人事考課者研修	恵泉会	恵泉会研修室	職員1名
R3.10.06	恵泉会人事考課規定改定研修	恵泉会 合同会社 CSアビリティィー 鈴木真一氏	恵泉会研修室	職員2名
R3.10.08	恵泉会人事考課規定改定研修		恵泉会研修室	職員1名
R3.10.22	第42回恵泉会職員研修大会 (研修発表)	恵泉会	各PCより	職員9名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内容	開催日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週月曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内容	開催地	出席者
R3.07.09	登米・東和高齢者ネットワーク会議	登米公民館	職員1名

3. 委員会開催状況

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

居宅介護支援事業所として年度を通して大きなトラブルもなく、支援業務を行うことができました。給付管理件数については、年度当初と比べ横ばいでした。新規依頼も多くありましたが、重度者や悪性腫瘍末期の利用者を多く担当していることもあって新規依頼件数以上に死亡結算が多く見られています。その中で、特定事業所医療介護連携加算の要件は今年度も満たせたため、令和4年度も加算算定可能となっていることは収益にも大きく影響します。

令和4年度は制度改正もなく、現状と大きな変わりはないため、件数を伸ばすことが重要です。依頼元は、家族から直接相談を受けることは少なくなっており、地域包括支援センターが関わるケースが多くなっているため、良好な関係作りを続けることで件数を伸ばしていきます。また、特定事業所医療介護連携加算算定のためには、医療機関との関りは必須のため、在宅診療・市立病院などの医療機関との関係づくりに力を入れていきたいと考えています。



# 令和3年度 恵泉会介護支援センターらくらく 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会            |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会            |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成19年4月1日             |

## 【 重 点 項 目 】

- ・互いの業務遂行状況に配慮し、業務調整や相談対応が行えたことで、一人ひとり責任感を持って意欲的に仕事に取り組むことが出来ました。
- ・対人援助技術の研修の開催や、常にバイステックの原則を意識し、利用者・家族との信頼関係の構築に努めました。アンケート結果の満足度や苦情等もないことから良好な関係作りが行えていると思われまます。
- ・主任介護支援専門員によるケアプランチェックを継続して行うことにより、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで適切に行えています。モニタリングを通して利用者の身体機能維持向上に向けた支援を継続的に行っています。
- ・高齢者虐待防止委員会、感染症・災害対策委員会を発足。地域包括支援センターを講師に迎え、高齢者虐待に関する研修を開催、知識理解を深めることができました。感染症対策指針を策定し感染症対策強化を図ることができました。
- ・在宅緩和ケア、難病等の各疾患の知識については、主治医を含め、各関係機関との連携に配慮し利用者個々に対応ができています。認知症については、施設入所を希望するケースが増え課題となっています。介護者のケアも必要となる場合も多く、専門職として今後もさらなる研鑽が必要です。
- ・少人数での新規対応、毎週の情報伝達会議等課題はありますが、主任介護支援専門員を中心に困難ケースの受け入れ、特定事業所加算Ⅱの算定を継続することができました。
- ・ICTを活用し定期的な施設内研修実施、外部事例検討会への参加、他事業所との研修会を実施することで、マネジメント機能の向上を図ることができたと思われまます。

## 【 利 用 状 況 】

### 1. 月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	39	41	41	41	40	42	42	43	41	41	37	39	487
女	99	94	97	94	92	96	99	92	96	93	94	92	1,138
計	138	135	138	135	132	138	141	135	137	134	131	131	1,625

### 2. 月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	43	46	43	45	43	43	42	39	43	42	42	41	512
要介護2	63	59	57	57	54	58	60	63	60	58	55	53	697
要介護3	24	24	25	23	23	25	25	21	19	20	23	24	276
要介護4	6	4	9	7	9	9	8	7	8	8	9	10	94
要介護5	2	2	4	3	3	3	6	5	7	6	2	3	46
計	138	135	138	135	132	138	141	135	137	134	131	131	1,625

### 3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	8	4	6	2	6	5	2	4	5	4	5	7	58
契約終了者数	1	9	2	2	1	4	3	7	6	4	2	1	42

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	26	27	26	24	25	30	31	26	27	29	27	28	326
訪問入浴	4	5	5	4	5	5	3	3	4	4	4	4	50
訪問看護	6	5	4	4	5	7	9	9	6	7	7	7	76
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	89	80	81	89	85	87	88	87	85	79	74	75	999
通所リハ	6	6	6	6	7	7	7	7	5	6	6	6	75
短期生活	15	16	14	15	17	15	16	21	26	16	16	16	203
短期療養	1	1	1	1	2	2	3	1	2	2	2	0	18
福祉用具	84	86	83	85	83	89	89	86	8	85	85	90	953
地域密着通所	21	21	22	22	23	26	27	26	26	27	28	26	295
認知通所介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	253	248	243	251	253	269	274	267	190	256	250	253	3,007

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	6	7	5	6	7	5	6	11	5	10	10	6	84

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	10
要支援2	4	2	2	2	3	3	1	1	1	1	1	7	28
事業対象者	1	4	4	4	2	3	4	4	4	4	4	1	39
計	7	7	7	7	6	7	6	6	5	5	5	9	77

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	1	1	1	2	3	3	3	4	5	5	5	3	36
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	2	13
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	南方町	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	2	2	19
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	2	2	4	6	6	6	6	8	8	8	10	9

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	2	3	3	3	4	5	5	6	6	40
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	2	3	3	3	4	5	5	7	7	42

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	19
通所型サービス	0	0	0	1	2	3	3	4	3	4	4	4	28
計	1	1	1	2	4	5	5	6	5	6	6	5	47

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R3.06.11	個人情報について	東和介護支援センター 管理者	全職員
R3.07.12	法令遵守について	介護支援センターいきいき 施設長	全職員
R3.09.10	感染症対策について	感染症災害対策委員会 介護支援専門員	全職員
R3.10.12	登米市の高齢者虐待の現状他について	迫地域包括支援センター 管理者・社会福祉士	全職員
R3.11.11	他事業所との合同研修	介護支援センターいきいき 介護支援専門員 東和介護支援センター 介護支援専門員	全職員
R3.12.10	事例検討会	介護支援センターいきいき 介護支援専門員	全職員
R4.01.11	災害対策について	介護支援センターらくらく 介護支援専門員 とよま介護支援センター 介護支援専門員	全職員
R4.02.14	認知症研修	介護支援センターらくらく 管理者	全職員

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3.04.13	認知症のアセスメントについて	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	リモート	職員1名
R3.05.12 他7日間	令和3年度主任介護支援専門員更新研 修	宮城県 ケアマネジャー協会	リモート	職員2名
R3.06.29	令和3年度クレーム対応研修（基本 編）	宮城県社会 福祉協議会	リモート	職員1名
R3.07.28 他2日間	令和3年度登米市地域包括支援セン ター職員等研修会	登米市	登米市役所 南方庁舎	職員1名
R3.08.10 他3日間	令和3年度介護支援専門員Ⅱ研修	宮城県 ケアマネジャー協会	リモート	職員1名
R3.09.24	要介護高齢者支援の多職種協働セミ ナー	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	リモート	職員1名
R3.11.18	令和3年度自立支援型ケアマネジメン トに資する人材育成講座	登米市	登米市役所 南方庁舎	職員1名
R3.11.30	令和3年度介護支援専門員実務研修実 習指導者研修	宮城県社会 福祉協議会	リモート	職員1名
R3.12.01	令和3年度介護支援専門員実務研修実 習指導者研修	宮城県 ケアマネジャー協会	リモート	職員1名
R3.12.17	令和3年度成年後見制度研修会	登米市	登米市役所 南方庁舎	職員1名
R4.02.01	令和3年度介護認定調査員現任研修	宮城県東部 保健福祉事務所 登米地域事務所	動画学習	職員4名

## (3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開 催 地	参 加 者
R3.04.19	令和3年度人事考課研修	恵泉会本部	恵泉会在宅サービス 支援棟2階研修室	1名
R3.10.22	恵泉会職員研修大会	恵泉会研修大会 実行委員会	映像視聴	4名

## 2. 会議開催状況

## 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い 事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図 る	毎月1回

## 3. 委員会開催状況

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合 同研修について	毎月1回開催	施設長、管理 者、委員
マニュアル検討委 員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の 整備	毎月1回開催	施設長、管理 者、委員
サービス向上委員 会	自己評価、満足度調査の実施。サービス 情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理 者、委員
感染症・災害対策 委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回開催	施設長、管理 者、委員
高齢者虐待防止委 員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関 する事	毎月1回開催	施設長、管理 者、委員

## 【今後の取り組み】

ケアマネジメント契約数、給付管理件数については、前年度の業績を更に伸ばすことができいま  
す。コロナ禍でのケアマネジメントに対しても柔軟な対応を行い感染対策を強化し業務を遂行できまし  
た。今後も一層、感染対策を行い、各関係機関連携を図りながら、利用者・家族の安定した生活を支え  
られるよう努めます。今後も主任介護支援専門員を中心に、利用者の身体機能の維持向上に向けた支援  
を継続し、重度化の予防を目標とし、取り組んでいきます。

# 令和3年度 恵泉会東和介護支援センター 事業報告

## 【 施設概要 】

- |          |                   |
|----------|-------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人恵泉会         |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人恵泉会         |
| 4. 開設年月日 | 平成24年4月1日         |

## 【 重点項目 】

- ・職員が各々健康管理に努めると共に、働きやすい職場環境を作り努め万全の体調で職務を遂行することができました。
- ・ケアプランチェックや情報伝達会議等をとおして利用者個々の抱える問題を検討したり、アセスメント、課題分析のスキルを向上させ、利用者の自立を支援する事ができました。
- ・地域包括支援センターやサービス事業所と利用者の情報を共有、相談し利用者支援にあたってきました。また、医療機関とは利用者入院時の情報提供、退院時の情報収集に努め利用者が地域での生活を継続できるように連携強化してきました。
- ・感染症の影響によりリモート研修が多くなりましたが、積極的に研修会に参加し事業所内での伝達研修を実施し専門的な知識の習得に努めてきました。
- ・今年度から新たに感染症・災害対策委員会、高齢者虐待防止委員会を設け、指針の策定や研修会を実施し必要な知識の習得と理解を深めることができました。
- ・特定事業所として他事業所との研修会を開催し地域の事業所と一緒に資質向上を図り、特定事業所としてのリーダー的役割を果たすことができました。
- ・ケース支援に対して随時相談・支援体制をとり事業所全体で利用者支援をしてきました。事業所だけでは解決できない事例は地域包括支援センターに随時相談し、年度内に2ケースの地域ケア会議が開催されています。

## 【 利用者状況 】

### 1. 月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	39	41	40	38	36	38	39	39	41	40	42	44	477
女	125	128	124	125	128	126	126	128	127	118	118	118	1,491
計	164	169	164	163	164	164	165	167	168	158	160	162	1,968

### 2. 月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	47	46	46	42	44	38	35	37	37	33	36	34	475
要介護2	51	54	53	56	57	59	57	59	59	57	55	52	669
要介護3	35	36	35	32	34	30	33	37	37	35	33	38	415
要介護4	18	19	19	19	17	25	28	23	23	22	25	27	265
要介護5	13	14	11	14	12	12	12	11	12	11	11	11	144
計	164	169	164	163	164	164	165	167	168	158	160	162	1,968

### 3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	31	5	2	3	6	4	8	5	1	3	5	4	77
契約終了者数	2	3	3	2	3	3	3	2	4	1	4	38	68

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	31	33	33	34	36	38	39	36	34	29	32	30	405
訪問入浴	10	12	11	10	11	11	11	11	11	11	12	13	134
訪問看護	17	17	17	16	13	13	15	15	16	15	17	19	190
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	96	97	94	93	93	92	92	95	93	86	84	81	1,096
通所リハ	13	13	14	15	16	17	17	18	16	16	17	14	186
福祉用具	92	98	98	97	96	97	100	98	96	92	96	96	1156
短期生活	26	18	22	23	19	23	24	21	27	25	23	29	280
短期療養	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
認知通所介護	4	5	4	4	4	5	4	4	3	4	4	5	50
地域密着型通所介護	29	27	28	25	25	27	26	29	28	27	28	28	327
計	319	321	322	318	313	323	328	327	324	305	313	315	3,828

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	9	4	4	6	7	6	6	7	7	9	4	8	77

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	13
要支援2	5	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	47
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	5	4	5	5	5	5	5	6	5	5	4	60

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予防 対象 件数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	東和町	5	4	4	5	5	5	5	5	6	5	5	4	58
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	5	4	5	5	5	5	5	6	5	5	4	60	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	37
通所型サービス	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	21
計	5	4	4	5	5	5	5	5	6	5	5	4	58

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R3.06.11	個人情報について	東和介護支援センター 管理者	5名
R3.07.12	法令遵守について	介護支援センターいきいき 施設長	5名
R3.09.10	感染症対策について	感染症災害対策委員会 介護支援専門員	5名
R3.10.12	登米市の高齢者虐待の現状他について	迫地域包括支援センター 管理者・社会福祉士	5名
R3.11.11	他事業所との合同研修	介護支援センターいきいき 介護支援専門員 東和介護支援センター 介護支援専門員	5名
R3.12.10	事例検討会	介護支援センターいきいき 介護支援専門員	3名
R4.01.11	災害対策について	介護支援センターらくらく 介護支援専門員 とよま介護支援センター 介護支援専門員	5名
R4.02.14	認知症研修	介護支援センターらくらく 管理者	5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3.05.12 ～8日間	主任介護支援専門員更新研修	宮城県 ケアマネジャー協会	リモート	職員1名
R3.07.02	宮城県ケアマネジャー協会登米支部 研修	宮城県 ケアマネジャー協会 登米支部	リモート	職員1名
R3.07.28 ～3回	令和3年度登米市地域包括支援セン ター職員研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.08.10 ～4日間	令和3年度介護支援専門員Ⅱ研修	宮城県 ケアマネジャー協会	リモート	職員1名
R3.12.03	令和3年度介護支援専門員実務研修 実習指導者研修	宮城県 ケアマネジャー協会	リモート	職員2名
R3.12.17	令和3年度成年後見制度研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.01.14 ～ R4.02.14	令和3年度介護認定調査員現任研修	登米市	動画学習	職員4名
R4.03.04	令和3年度登米市在宅医療・介護連 携研修会	登米市	リモート	職員1名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主 催 者 ・ 講 師	開 催 地	参 加 者
R3.10.22	恵泉会職員研修大会	恵泉会	動画開催	5名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

### (2) その他の会議

開催日	内容	開催地	出席者
R3. 11. 24	令和3年度東和・登米地区地域ネットワーク会議	リモート	1名
R4. 02. 04	地域ケア会議	東和総合支所	2名
R4. 02. 28	地域ケア会議	東和総合支所	2名

## 3. 委員会開催状況

委員会名	内容	開催日	参加職員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
マニュアル委員会	マニュアル・災害時要援護者台帳の作成・見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施・サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	月1回	施設長、管理者、委員
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	月1回	施設長、管理者、委員

### 【今後の取り組み】

令和3年度は5名体制となり包括支援センターをはじめ、家族、医療機関から順調に新規紹介ありすべて受け入れることができました。今年度は4名体制に減りましたが、他事業所と連携し新規利用者紹介に対してすべて受け入れできる体制をとっていきます。

コロナウイルス感染症対策を講じケアマネジメントにあたってきましたが、引き続き感染症対策を徹底し利用者支援にあたります。また、研修会に参加し専門的知識を習得し利用者の多様なニーズに対応できるよう努めていきます。

職員間のコミュニケーションを大切にし、お互いに協力し合える関係を築き、効率よく仕事ができる、働きやすい職場環境づくりに努めていきます。

マニュアル委員会を改善委員会に変更、マニュアル作成・要援護者台帳の整備に加え業務全般の改善にあたり効率よく業務ができるよう進めていきます。



# 令和3年度 恵泉会とよま介護支援センター 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777番地 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人恵泉会           |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人恵泉会           |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成25年5月1日           |

## 【 重 点 項 目 】

・意欲を持って仕事に取り組める職場作りについては、職員一人ひとりがお互いの人格を尊重し、介護支援専門員特有のストレスを溜め込まないよう、話しやすい職場環境作りに心がけました。

・人材育成については、今年度新たに1名の新任介護支援専門員が配属となったことから、主任介護支援専門員が中心となり、ケアプランチェックや法令に基づいたきめ細かい助言を行うことにより、利用者の自立に向けた質の高い支援を提供することができました。

・各関係機関や団体との連携については、登米市福祉事務所や地域包括支援センター、各サービス事業者等と連携を図り、利用者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう地域包括ケアシステム構築に努めました。

・専門職としての資質向上については、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多くの外部研修が中止となりましたが、感染対策を図りながら可能な限り参加に努めました。内部研修については、リモートによる各種研修会や事例検討会を開催し、各職員のスキルアップにつなげることができました。また、特定事業所加算取得事業所として、介護支援専門員実務研修の実習生1名の受け入れを行いました。

・各種委員会については、新たに発足した感染症・災害対策委員会や高齢者虐待防止委員会を含め、毎月定期的に開催することができました。

・地域包括支援センターや他事業所との連携については、地域ネットワーク会議への出席や合同研修会を開催することにより、連携を強化するとともにお互いの資質向上を図ることができました。

・困難事例への対応については、一人の介護支援専門員に負担がかからないように随時状況の把握に務めながら、主任介護支援専門員を中心としたスーパービジョンにより、問題解決に努めることができました。

## 【 利 用 状 況 】

### 1. 月別給付管理件数（男女別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	33	36	35	35	34	33	30	33	32	32	32	34	399
女	95	102	97	96	97	103	104	102	100	101	102	101	1,200
計	128	138	132	131	131	136	134	135	132	133	134	135	1,599

### 2. 月別給付管理件数（介護度別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	35	38	37	38	42	44	43	42	43	40	43	41	486
要介護2	56	60	58	62	59	62	61	62	59	60	56	53	708
要介護3	20	16	17	14	11	12	14	17	17	18	18	24	198
要介護4	14	17	14	13	15	14	12	10	9	11	10	12	151
要介護5	3	7	6	4	4	4	4	4	4	4	7	5	56
計	128	138	132	131	131	136	134	135	132	133	134	135	1,599

### 3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	8	1	3	5	8	1	4	2	3	2	5	3	45
契約終了者数	7	4	4	3	3	2	6	0	5	1	1	17	53

【 利用者サービスの状況 】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	24	23	21	20	18	19	21	20	19	20	19	17	241
訪問入浴	2	2	2	1	2	3	1	0	0	1	2	3	19
訪問看護	27	28	30	31	27	27	27	26	27	27	29	28	334
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	99	98	94	100	98	101	102	101	101	97	98	98	1,187
通所リハ	7	8	8	8	10	9	9	10	10	10	10	10	109
短期生活	19	20	17	16	17	17	12	16	15	15	14	14	192
短期療養	3	5	4	5	4	4	4	2	3	4	3	2	43
福祉用具	89	87	84	85	83	86	85	86	88	88	88	89	1,038
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地密通所介護	10	13	12	12	12	12	12	14	16	17	17	17	164
計	280	284	272	278	271	278	273	275	279	279	280	278	3,327

【 認定調査状況 】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	9	4	4	4	6	8	7	8	4	11	12	5	82

【 介護予防支援利用状況 】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	10
要支援1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
要支援2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	29
計	2	4	4	5	5	4	3	3	3	3	3	3	42

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予防 対象 件数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	27
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気仙沼市	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
計	2	4	4	5	5	4	3	3	3	3	3	3	31	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	26
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	3	3	4	4	3	2	2	2	2	2	2	31

4. 総合事業サービス種別給付管理件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問型サービス	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	10
通所型サービス	0	1	1	2	2	2	1	0	0	1	0	2	12
計	0	2	2	3	3	3	2	1	1	2	1	2	22

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師 ・ 事 例 提 供 者	参 加 者
R3.04.08	新任職員研修	恵泉会介護支援センター 施設長・管理者	1名
R3.06.11	個人情報保護について	恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	3名
R3.07.12	コンプライアンスについて	恵泉会介護支援センターいきいき 施設長	4名
R3.09.10	感染症対策指針・高齢者のかかりやすい 感染症について	恵泉会介護支援センター 介護支援専門員	4名
R3.10.12	登米市の高齢者虐待の現状と包括支援セ ンターの関わりについて	迫地域包括支援センター 管理者・社会福祉士	4名
R3.11.11	居宅介護サービス計画書標準様式及び記載要領	恵泉会介護支援センター 介護支援専門員	3名
R3.12.10	事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名
R4.01.11	災害対策について	恵泉会介護支援センター 介護支援専門員	4名
R4.02.14	認知症研修	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
R3.04.13	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県 ケアマネジャー協会 登米支部	リモート開催	職員1名
R3.05.14 ～ R3.06.14	令和3年度主任介護支援専門員更新 研修	宮城県	リモート開催	職員1名
R3.06.17	令和3年度介護認定調査員新任研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R3.07.28 R3.08.25 R3.09.29	令和3年度登米市地域包括支援セン ター職員等研修会	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R3.08.10 ～ R3.08.26	令和3年度介護支援専門員専門研修Ⅱ	宮城県	リモート開催	職員1名
R3.10.05	包括的・継続的ケアマネジメント支援	東和・登米地域 包括支援センター	東和高齢者福祉施設	職員2名
R3.10.15	宮城県ケアマネジャー協会登米支 部新任研修	宮城県 ケアマネジャー協会 登米支部	JAみやぎ登米本店	職員1名
R3.11.18	令和3年度自立支援型ケアマネジメ ントに資する人材育成講座	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R3.12.17	令和3年度成年後見制度研修	登米市	登米市南方庁舎	職員1名
R4.01.14 ～ R4.02.21	令和3年度介護認定調査員現任研修	宮城県東部 保健福祉事務所 登米市	自己学習	職員4名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開 催 地	参加者
R3.10.07	人事考課規定改正研修	(株)CSアビリティ 鈴木真一氏ほか	恵泉会在宅サービス 支援棟研修室	職員1名
R3.10.22	令和3年度第42回恵泉会職員研修大会	恵泉会	動画開催	職員4名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	開 催 地	出席者
R3.11.24	東和・登米地区合同地域ネットワーク会議	リモート開催	職員1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	出席者
研修委員会	施設内研修開催に向けた企画立案と調整	毎月1回	2名
マニュアル検討委員会	業務標準化に向けたマニュアルの作成と見直し	毎月1回	1名
サービス向上委員会	サービス向上に向けた自己評価と改善の検討	毎月1回	1名
感染症・災害対策委員会	感染・災害発生時の対応等に関する事	毎月1回	2名
高齢者虐待防止委員会	虐待発生又は再発防止への取り組みに関する事	毎月1回	1名

【今後の取り組み】

居宅介護支援事業所としては、大きな苦情や事故等なく1年間業務を遂行することができました。今後も介護支援専門員一人ひとりの資質向上に努めながら、引き続き良質なサービス提供を行い、地域の利用者から選ばれる事業所作りに努めます。

給付管理は昨年度と比べ、延べ件数で16件増加し、月平均でも目標値である130件を今年度もクリアすることができました。しかしながら、新規利用者の獲得については、月によって大きなバラツキが見られているため、各関係機関との連携をより一層強化し、安定的に経営が継続できるように努めます。

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする最大震度6強の地震以降、全国各地において震度4以上の地震が相次いでおり、新型コロナウイルス感染症については、未だに終息の気配が見られない状況が続いています。そのような状況の中、BCP（事業継続計画）の策定が急務とされていることから、委員会を中心として令和4年度中の完成を目指します。

# 令和3年度 登米市迫地域包括支援センター 事業報告

## 【 施設概要 】

1. 所在地 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
2. 設置主体 登米市
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成18年4月1日

## 【 利用状況 】

### 1. 相談事業

#### (1) 形態別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	81	139	80	70	91	98	93	103	113	102	131	211	1,312
来所	31	17	20	20	28	21	29	28	26	35	18	33	306
訪問	207	111	188	195	183	197	156	167	167	196	146	115	2,028
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	319	267	288	285	302	316	278	298	306	333	295	359	3,646

#### (2) 相談者別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	247	208	227	229	225	227	214	234	230	245	218	276	2,780
家族	27	28	32	27	39	36	37	26	40	46	31	37	406
ケアマネ	14	17	7	10	14	13	9	4	12	10	25	17	152
サービス事業所	2	1	2	3	2	4	4	1	3	1	3	0	26
医療機関	12	3	7	2	8	9	6	9	5	15	1	9	86
民生委員・区長	6	4	0	7	5	10	2	6	4	3	2	2	51
社協	1	0	0	1	1	1	2	1	3	2	8	3	23
行政関係	6	4	8	3	1	10	3	10	4	6	3	9	67
その他	4	2	5	3	9	6	3	11	5	5	4	6	63
計	319	267	288	285	304	316	280	302	306	333	295	359	3,654

#### (3) 内容別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談	サービス利用	65	37	53	51	64	76	67	60	73	98	76	71	791
	実態把握	4	8	8	0	3	17	2	8	2	5	1	7	65
	認知症関係	8	6	2	4	7	3	5	6	9	7	3	2	62
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
権利擁護	虐待関係	3	1	10	3	6	6	0	0	0	1	2	8	40
	成年後見関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防 メンタル ネット	要支援・事業対象者	233	203	212	218	217	208	203	219	210	213	206	260	2,602
	福祉サービス	2	3	0	5	1	3	0	3	6	4	5	3	35
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続的 包括的 ケア・ メンタル ケア	ケアマネジメント支援	4	9	3	4	4	3	1	1	2	0	2	7	40
	困難事例	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	0	0	10
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		319	255	288	285	302	316	278	298	306	333	295	359	3,646
予防 給付 関係	給付管理件数	183	178	187	182	183	184	185	191	185	188	197	178	2,221
	(内委託件数)	14	16	16	15	16	16	18	21	19	22	25	19	217
計		183	178	187	182	183	184	185	191	185	188	197	178	2,221

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3.08.31	法令遵守研修	阿部真理	高橋・佐々木・横澤・阿部（悠）
R3.08.31	高齢者虐待防止研修	阿部真理	高橋・佐々木・横澤・阿部（悠）

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開催地	参加者
R3.04.13	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	ZOOM	職員1名
R3.05.12	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	e-ラーニング	職員1名
R3.05.14	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	e-ラーニング	職員1名
R3.05.18	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	e-ラーニング	職員1名
R3.05.20	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	e-ラーニング	職員1名
R3.05.23	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	e-ラーニング	職員1名
R3.05.27	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	e-ラーニング	職員1名
R3.06.01	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	e-ラーニング	職員1名
R3.06.07	主任介護支援専門員更新研修	宮城県ケアマネジャー協会	e-ラーニング	職員1名
R3.07.02	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	ZOOM	職員1名
R3.07.08	自立支援個別ケア会議実施推進事業	宮城県	宮城県登米合同庁舎	職員1名
R3.07.08	令和3年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	宮城県	宮城県登米合同庁舎	職員1名
R3.07.28	令和3年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.08.12	自立支援個別ケア会議実施推進事業	宮城県	宮城県登米合同庁舎	職員1名
R3.08.12	自立支援推進研修会（地域リハビリテーション人材育成研修）	宮城県	宮城県登米合同庁舎	職員1名
R3.08.25	令和3年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.09.29	令和3年度登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.10.01	認知症カフェ研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
R3.10.14	令和3年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.10.27	認知症地域支援推進員新任者研修	認知症介護研修・研修東京センター	web型	職員1名
R3.10.28	認知症地域支援推進員現任者研修	認知症介護研修・研修東京センター	web型	職員1名
R3.10.29	認知症地域支援推進員現任者研修	認知症介護研修・研修東京センター	web型	職員1名
R3.11.12	認知症高齢者の意思決定支援について	宮城県ケアマネジャー協会	ZOOM	職員1名
R3.11.18	令和3年度自立支援型ケアマネジメントに資する人材育成講座	登米市	南方庁舎	職員1名
R3.12.17	令和3年度成年後見制度研修	登米市	南方庁舎	職員1名
R4.03.04	令和3年度登米市在宅医療・介護連携研修会	登米市	web型	職員1名
R4.03.10	令和3年度宮城県成年後見制度に関する普及啓発研修	宮城県	ZOOM	職員1名
R4.03.22	令和3年度地域包括ケア担当職員セミナー	宮城県	web型	職員1名
R4.03.23	令和3年度地域包括ケア担当職員セミナー	宮城県	web型	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
登米市地域包括支援センター会議	業務連絡・確認、活動状況報告、研修	第3水曜日	管理者他2名輪番による
追地区民生委員児童委員協議会定例会	業務連絡・確認、活動状況報告、相談	第3木曜日	管理者他1名輪番による

(2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
R3.04.20	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R3.04.26	関係者調整会議（ケース検討）	登米市民病院	職員1名
R3.04.28	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R3.04.28	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.05.25	はさま元気応援研修会打ち合わせ	迫保健センター	職員2名
R3.05.26	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.06.14	関係者調整会議（ケース検討）	登米市民病院	職員1名
R3.06.15	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R3.06.23	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.06.24	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R3.06.25	令和3年度宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議	迫老人福祉センター	職員1名

R3.07.09	出前講座（長寿大学）	森公民館	職員3名
R3.07.09	認知症サポーター養成講座	佐沼中央商工会館	職員2名
R3.07.13	出前講座（川東友楽会）	錦東区集会所	職員2名
R3.07.15	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R3.07.28	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.08.10	迫圏域高齢者ネットワーク会議	迫保健センター	職員3名
R3.08.17	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R3.08.25	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.08.26	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R3.08.26	出前講座（シニアサロン笑話会）	坂戸生活センター	職員2名
R3.09.10	認知症カフェ打ち合わせ	登米市迫地域包括支援センター内	職員1名
R3.09.21	オレンジカフェ	長沼ボート場クラブハウス	職員2名
R3.09.21	オレンジカフェ ライトアップ	長沼風車	職員1名
R3.09.21	認知症初期集中支援事業チーム員会議	南方庁舎	職員1名
R3.09.28	実態把握・体力測定	坂戸生活支援センター	職員3名
R3.10.07	生活圏域地域ケア会議	登米市民病院地域医療センター	職員2名
R3.10.08	令和3年度宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議	迫老人福祉センター	職員1名
R3.10.13	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
R3.10.14	管理者会議	南方庁舎	職員1名
R3.10.14	出前講座（光ヶ丘東地区ふれあいサロンコスモス会）	迫にぎわいセンター	職員2名
R3.10.18	和話輪事前打ち合わせ	迫公民館	職員2名
R3.10.18	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
R3.10.19	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R3.10.20	認知症サポーター養成講座	迫公民館	職員2名
R3.10.20	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
R3.10.21	恵泉会居宅介護支援事業所虐待防止研修	恵泉会研修室	職員2名
R3.10.28	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.10.28	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
R3.11.04	認知症初期集中支援事業チーム員会議	南方庁舎	職員2名
R3.11.09	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
R3.11.10	生活圏域地域ケア会議	登米市民病院	職員2名
R3.11.10	関係者調整会議	南方庁舎	職員1名
R3.11.17	出前講座（川東友楽会）	佐沼錦西区集会所	職員2名
R3.11.18	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
R3.11.22	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
R3.11.24	自立支援型個別ケア会議事前打ち合わせ	登米市迫地域包括支援センター内	職員3名
R3.11.25	きらり運営推進会議	なごみの家きらり	職員1名
R3.12.01	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
R3.12.07	出前講座（配食サービス配達ボランティア）	迫公民館	職員2名
R3.12.07	北方小学校講話打ち合わせ	北方小学校	職員2名
R3.12.09	北方小学校講話	北方小学校	職員2名
R3.12.10	自立支援型個別ケア会議	迫公民館	職員3名
R3.12.14	新田中学校キャリアセミナー	新田中学校	職員1名
R3.12.16	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
R3.12.17	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R3.12.20	認知症サポーター養成講座	迫保健センター	職員2名
R3.12.21	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R4.01.14	佐沼中学校キャリアセミナー	佐沼中学校	職員1名
R4.01.25	佐沼小学校4年生福祉学習	佐沼中学校	職員1名
R4.01.28	認知症カフェ	米山保健センター	職員1名
R4.02.08	認知症初期集中支援事業チーム員会議	南方庁舎	職員1名
R4.02.15	認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
R4.02.21	関係者調整会議	登米市迫地域包括支援センター内	職員1名
R4.03.04	自立支援会議マニュアル検討会	南方庁舎	職員1名
R4.03.11	認知症サポーターステップアップ研修	南方庁舎	職員1名
R4.03.15	関係者調整会議	登米市迫地域包括支援センター内	職員1名
R4.03.24	関係者調整会議	迫保健センター	職員2名
R4.03.25	令和3年度宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議	迫老人福祉センター	職員1名

# 令和3年度 サービス付き高齢者向け住宅恵はあと 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1) 所 在 地     | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777 |
| 2) 設 置 主 体   | 社会福祉法人恵泉会         |
| 3) 経 営 主 体   | 社会福祉法人恵泉会         |
| 4) 開 設 年 月 日 | 平成28年2月1日         |
| 5) 事業・利用定員   |                   |

事 業	利 用 定 員
サービス付き高齢者向け住宅	36 名
計	36 名

新型コロナウイルス感染症では、市内でもクラスター発生が多くみられ、恵はあとにおいても入居者が濃厚接触者になるなどし、感染防止対策にあたる日々でした。入居者は個々に様々な外部サービスを利用しており、感染リスクは高いことが予想される中、感染者が出ないことは幸いでした。濃厚接触者になった場合の待機期間等の対応についても、日頃より入居者に事前の説明が必要だと感じました。

コロナ禍ですが入居者が明るく安心して生活が出来るよう、入居者間や家族との交流、笑顔を大切に業務にあたってきました。入居者・家族のご理解・ご協力のもと感染症対策を行いながらの面会・外出・外泊などの交流を通して、充実した生活に繋がっていると実感する毎日でした。

開設して6年が経過し、入居者の皆様も年齢を重ね、身体機能低下等により、入院・健康不安などから介護付きの施設へ転居された入居者も複数名いました。体調不良が続く入居者には家族の部屋までの面会のほか、職員も出来る限り訪室し、入居者に寄り添った声掛けや体調確認に努めてまいりました。

令和3年度は退去者が10名、新規入居者が5名と経営的に厳しい状況となりました。県内の地域包括支援センターや居宅介護事業所へパンフレットや料金表を送付するなどし、宣伝に努めてきましたが、なかなか入居までに至っていない現状です。

## 【 重 点 項 目 】

1. 入居者の自主性の尊重  
入居者ひとりひとりのライフスタイルが確立しており、その生活スタイルを把握しながら、個々に応じた距離感を持ち自宅と同じように周囲に気を使わず自由な生活を送って頂くように配慮した支援に努めてきました。
2. 新型コロナウイルス等感染症対策  
入居者においては通院・外出・面会等外部との接触の機会が多く、感染症が避けがたい状況にあるため、食事の時間を利用し、感染防止の啓発に努めてきました。マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンス、部屋の換気などを呼び掛けました。食事前はアルコール手指消毒、朝・夕食時には検温、食堂は低濃度オゾン発生装置とテーブルに飛沫防止パネルを設置しています。共有スペースと各部屋の手の触れる部分の消毒の実施、面会では健康チェック表に記載いただき、短時間で1階ホールでの面会を中心をお願いをしてきました。外出・外泊では感染対策の徹底と外出先の記録、健康チェック表での確認をご本人・ご家族をお願いしてきました。新規入居者は入居前の抗原検査等の協力をいただきました。
3. 健康の保持  
入居者より体調不調の訴えがあった場合は、バイタルを測定し、ご家族へ連絡、迅速な対応を心がけました。また、訪問看護・訪問診療への連絡のほか、遠山荘看護師にも体調不良の相談や対応をお願いしています。コロナ禍で面会の機会が少ないため、身体状況の変化など気が付いたことは、ご家族や関係機関に連絡、情報の共有をし、安心に繋がるように努めました。



【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 10,388 名
2. 年間稼働率 79.06 %

3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自 立	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	112	124	1,460
要支援 1	120	124	126	155	155	150	129	60	54	31	28	31	1,163
要支援 2	120	124	120	124	124	120	124	48	31	31	28	62	1,056
要介護 1	330	322	326	340	310	300	310	360	372	372	311	372	4,025
要介護 2	179	143	150	146	176	191	216	210	217	217	204	139	2,188
要介護 3	60	62	60	62	31	30	31	30	31	31	28	40	496
計	929	899	902	951	920	911	934	828	829	806	711	768	10,388

4. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	30	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	35
退所者数	1	0	0	2	0	0	3	1	1	0	1	1	10
月末入所者数	29	29	31	29	30	31	28	27	26	26	25	25	+ 25

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

- (1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
R3.09.03	コンプライアンスについて	管理者	職員 2名
R3.12.10	キッズつばみ内部研修会：刺股の使い方	登米警察署	職員 1名
R4.01.08	感染症対策訓練：個人防護具の着脱	宮城県動画視聴	職員 2名
R4.01.10	感染症対策訓練：個人防護具の着脱	宮城県動画視聴	職員 3名
R4.03.07	認知症・虐待について	佐藤清香生活相談員	職員 1名

2. 会議開催状況

- (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
スタッフ会議	入居者の状況、業務内容の検討	月 1回	管理者・生活相談員

- (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
R3.05.14	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R3.07.21	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R3.08.25	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R3.11.09	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R4.02.04	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R4.02.25	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員
R4.03.15	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	管理者・看護師・生活相談員

R3.09.15	運営懇談会(書面にて実施)	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員
R4.02.14	運営懇談会(書面にて実施)	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員

3. 委員会開催状況

- (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
マニュアル検討委員会	各種マニュアルの整備	年 2回	管理者・生活相談員
研修委員会	内部研修の計画と実施	年 2回	管理者・生活相談員
サービス向上委員会	入居者アンケートの実施	年 2回	管理者・生活相談員

## 【今後の取り組み】

1. 住み慣れた思い出深い自宅を離れ「恵はあと」での生活を始められた方々に、これからの人生を「恵はあと」に入居して良かったと思っただけのような支援を目指していきます。
2. 入居者、ご家族、担当ケアマネジャーと相談をし、必要に応じて外部サービスとも連携をするなど、安心して長期間住むことができるようにすすめてまいります。
3. 地震や火災などの災害に備えた避難訓練や防災教室開催などにより、自助・共助・公助の仕組みづくりなど、サービス付き高齢者向け住宅の防災・避難について実践していきます。
4. 感染症防止について、国や県からの情報や指示のもと、職員は対応し、入居者・家族・関係期間にご理解をいただけるように説明し、感染対策を行っていきます。
5. コロナ禍のため広報活動は難しい現状ですが、広報活動の工夫をし、入居率のアップ・安定した経営を目指します。職員の配置についても必要な時間帯にパート職員を配置し、効率的な業務を行い経営の改善に努めます。

# 令和3年度 ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告

## 【法人総括】

### ①ヒヤリハット・軽微・事故

事故分類	ヒヤリハット	軽微	事故	合計	割合
件数	218	945	131	1294	100.0%
転倒	37	153	27	217	16.8%
転落	52	133	8	193	14.9%
誤嚥	1	5	2	8	0.6%
異食	10	24	0	34	2.6%
加害行為	9	24	3	36	2.8%
器物破壊	6	7	10	23	1.8%
投薬ミス	13	34	18	65	5.0%
施設外飛び出し	3	13	7	23	1.8%
送迎・訪問	0	6	6	12	0.9%
設備不良	0	1	0	1	0.1%
連絡ミス	5	0	14	19	1.5%
自傷	2	53	1	56	4.3%
介護・支援ミス	19	226	7	252	19.5%
食事提供ミス	23	7	0	30	2.3%
その他	38	259	28	325	25.1%
(内出血)	(10)	(114)	(1)	(125)	(9.6%)
(擦過傷)	(0)	(65)	(1)	(66)	(5.1%)
(私物返し忘れ)	(2)	(31)	(8)	(41)	(3.2%)
(上記以外)	(26)	(49)	(18)	(93)	(7.2%)
原因不明	0	0	0	0	0.0%
合計	218	945	131	1294	100.0%

### ②苦情処理

	苦情処理
合計	2

#### I. 受付方法

来所	0
電話	2
訪問	0
文書	0
その他	0
計	2

#### II. 苦情の分類

ケアの内容	0
個人の嗜好・選択に係わる事項	0
財産管理(遺産・遺言)	0
その他	2
(職員の対応に関する苦情)	(1)
(職員の喫煙マナーに関する苦情)	(1)
計	2

#### III. 第三者委員関連(申出人の希望)

	要	否
第三者委員への報告の要否	0	2
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会い要否	0	2